
新見市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

令和6年6月
岡山県 新見市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
III 調査結果	5
【1】親族等からの支援の状況	5
1 子どもを預けられる親族、友人の有無	5
【2】保護者の就労状況について	6
1 保護者の就労形態	6
2 保護者の就労日数、就労時間	7
3 フルタイムへの転換希望	8
4 今後の就労意向	9
5 希望する就労形態	10
【3】保育所や認定こども園などの平日の利用について	11
1 施設やサービスの利用状況	11
2 利用していない理由	11
3 利用している施設やサービス	12
4 施設やサービスの平日の利用希望	13
5 預かり保育の利用希望	16
6 保育所や認定こども園などを選ぶ際に重視すること	17
7 夜間保育の必要性	18
【4】子育て広場などの利用について	19
1 地域子育て支援拠点事業の利用状況	19
2 利用していない理由	20
3 地域子育て支援拠点事業の利用意向	21
【5】土・日・祝日や長期休業中の子育て支援施設等の利用意向について	22
1 土・日・祝日の子育て支援施設やサービスの利用意向	22
2 長期休業中の子育て支援施設等の利用意向	26
【6】放課後児童クラブの利用について	27
1 放課後児童クラブの利用有無	27
2 放課後児童クラブの利用状況	28
3 放課後児童クラブに対する満足度	29
4 放課後児童クラブへの要望	30
5 放課後児童クラブを利用していない理由	31
6 放課後児童クラブの利用意向	32
7 放課後児童クラブを利用したい学年	32

8 平日・土・日・祝日や長期休業中などの利用意向 -----	33
9 放課後児童クラブを利用したい理由 -----	35
【7】 病気の時の対応について -----	36
1 就学前児童の病気の時の対応について -----	36
2 小学生の病気の時の対応について -----	37
3 病児・病後児のための保育施設等の利用意向 -----	38
4 病児・病後児のための保育施設等に預ける場合に希望する事業形態 -----	39
5 子どもが病気やケガの時、仕事を休むことの難易度 -----	39
【8】 一時預かりなどについて -----	40
1 一時預かりなどの利用状況 -----	40
2 一時預かりなどを利用していない理由 -----	41
3 一時預かり事業の利用意向 -----	42
4 小学生の宿泊をとまなう一時預かりの利用状況 -----	43
5 短期入所生活援助事業の利用意向 -----	44
【9】 就学前児童の小学校入学後の放課後の過ごし方について -----	45
1 小学校入学後に希望する放課後の過ごし方 -----	45
2 放課後児童クラブの利用意向 -----	47
【10】 小学生の放課後の過ごし方について -----	49
1 放課後の時間を過ごす場所 -----	49
2 放課後の時間を過ごさせたい場所 -----	50
【11】 育児休業について -----	51
1 育児休業取得状況 -----	51
2 育児休業取得後の職場復帰状況 -----	52
3 育児休業を取得しなかった理由 -----	53
4 仕事と子育てを両立させるために必要なこと -----	54
【12】 子育て全般について -----	55
1 妊娠・出産に関する新見市の情報提供や相談体制の満足度 -----	55
2 就学前児童保護者の子育てに関する相談先 -----	56
3 小学生保護者の日常生活に関する相談先 -----	57
4 子育てに関する不安や負担感 -----	58
5 就学前児童保護者の子育てに関する悩み -----	59
6 小学生保護者の子どもに関する悩み -----	60
7 子ども同士で過ごさせたい場所 -----	61

8	子どもへの不適切な言動の経験	63
9	児童虐待の認知状況	64
10	ヤングケアラーの認知状況	65
11	経済的なゆとり	66
12	年間収入	66
13	経済的な不安を感じること	67
14	理想とする子どもの最終進路	68
15	現在必要としている支援	69
16	近所の人との付き合い程度	70
17	地域の人や社会からの支援意識	73
18	子育てのしやすさ	75
19	新見市での子育て継続意向	77
20	子育てしやすい社会にするために必要だと思う支援	79
資料	調査票	80
1	就学前児童	80
2	小学生	100

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「第3期新見市子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、市内の就学前の子ども及び小学生を持つ保護者に対し、現在の就労状況や教育・保育事業の利用状況及び今後の利用希望や子育てニーズ等を調査し、子育て支援施策の検討に資することを目的として実施しました。

アンケートの調査内容については、「国のモデル調査票」を踏まえ、それに本市独自の設問を加えて設計しています。

【調査設計】

調査地域：新見市全域

調査対象：就学前児童／市内に居住する0歳から小学校入学前までの子どもがいる家庭
小学生／市内に居住する小学1年生～3年生の子どもがいる家庭

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：令和6年2～3月

【回収結果】

	標本数(配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	586	487	83.1
小学生	450	358	79.6
合計	1,036	845	81.6

【地区（小学校区）別回収結果】（問1 回答結果より）

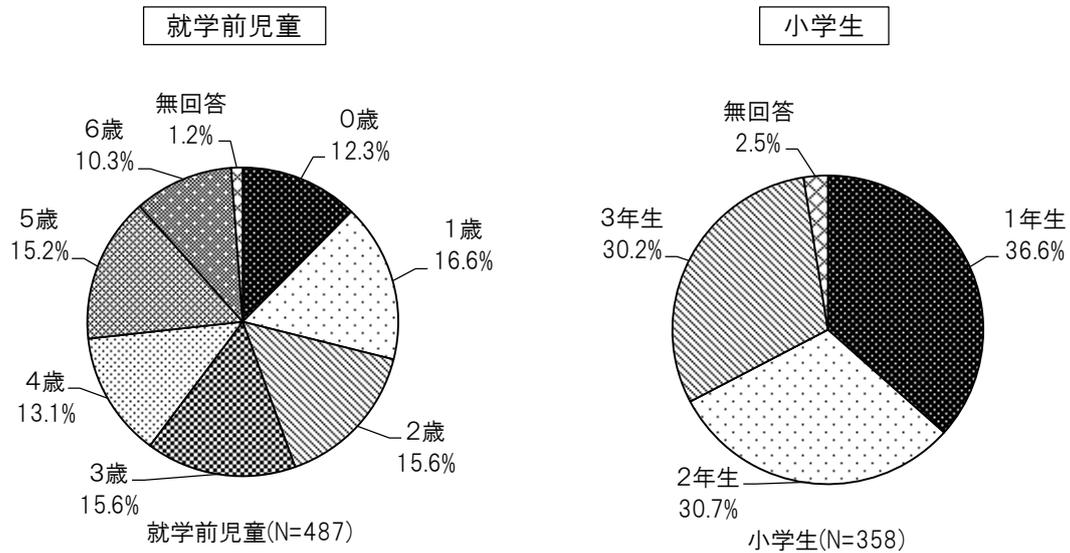
	就学前児童		小学生	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
思誠	128	26.3	105	29.3
高尾	30	6.2	16	4.5
新見南	79	16.2	55	15.4
草間台	11	2.3	11	3.1
塩城	16	3.3	11	3.1
上市	28	5.7	24	6.7
西方	36	7.4	23	6.4
千屋	6	1.2	3	0.8
刑部	35	7.2	29	8.1
神郷北	6	1.2	6	1.7
神代	14	2.9	5	1.4
本郷	40	8.2	27	7.5
新砥	7	1.4	9	2.5
矢神	13	2.7	11	3.1
野馳	19	3.9	14	3.9
無回答	19	3.9	9	2.5
合計	487	100.0	358	100.0

【報告書の見方について】

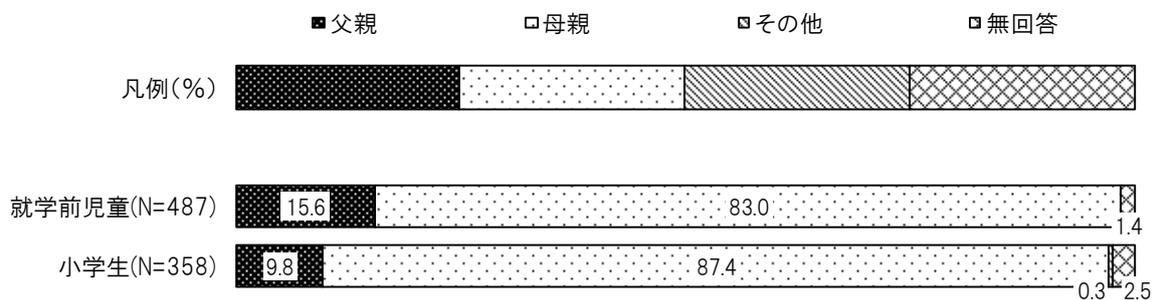
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数（n）の合計と全体の基数（N）は一致しない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて（就学前児童を基準に）表記している場合がある。
- (6) 設問番号の「就」は就学前児童の設問番号、「小」は小学生の設問番号を示している。
- (7) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載している。

II 回答者の属性

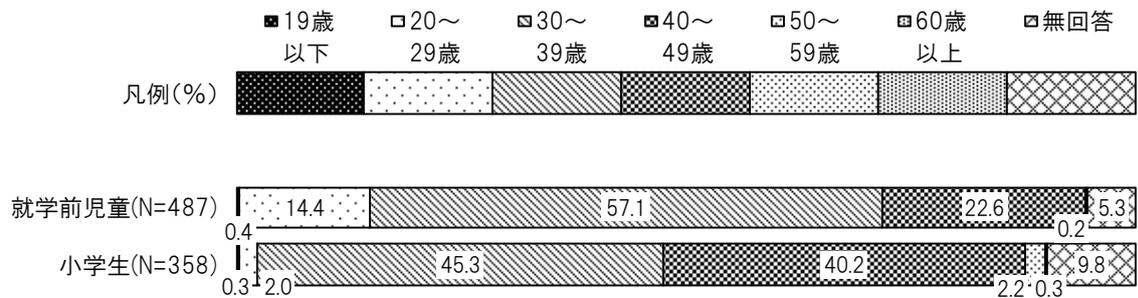
1 子どもの年齢・学年



2 回答者の続柄



3 回答者の年齢

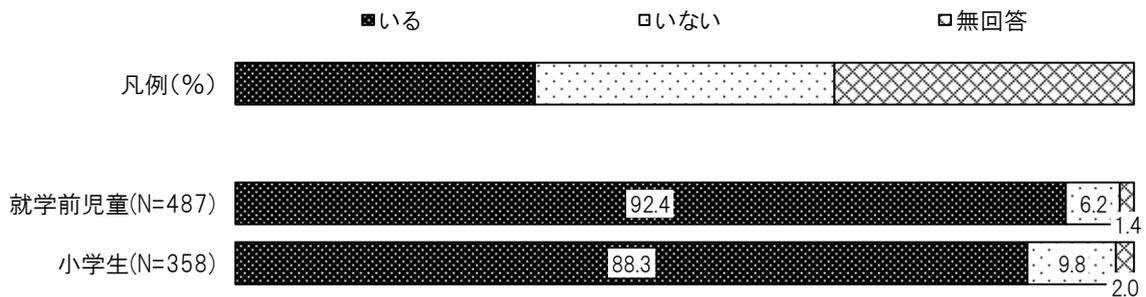


4 きょうだいの人数

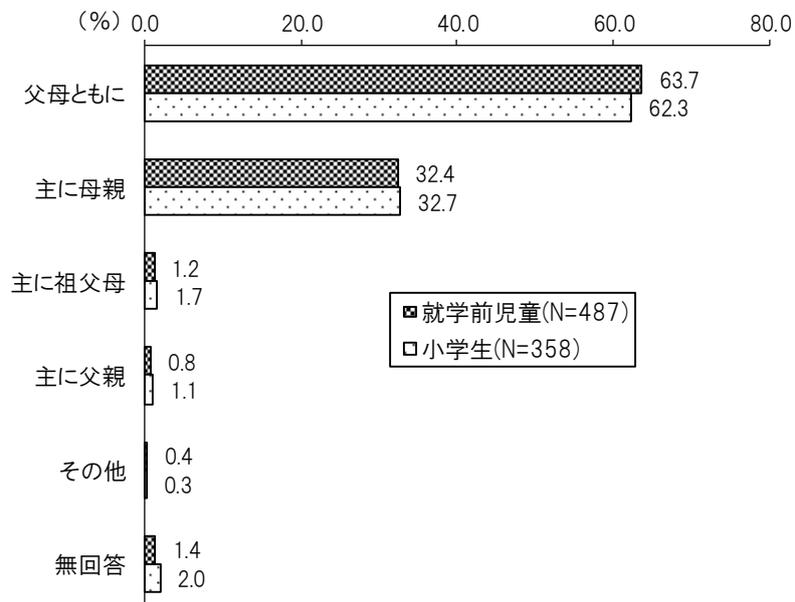
【きょうだいの人数】

単位(人)	件数(n=)	平均	最小値	最大値
就学前児童	482	2.2	1.0	6.0

5 配偶者・パートナーの有無



6 主に子育てをしている人（教育を含む）



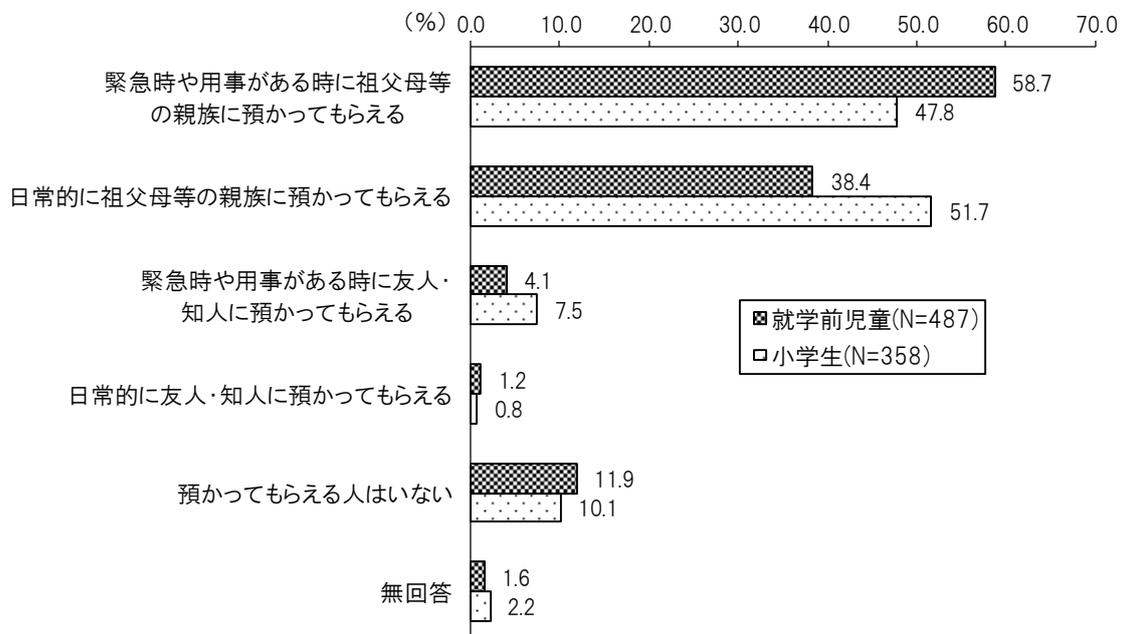
Ⅲ 調査結果

【1】親族等からの支援の状況

1 子どもを預けられる親族、友人の有無

就問7（小問6） 日頃、お子さんを預けられる人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

就学前児童で「緊急時や用事がある時に祖父母等の親族に預かってもらえる」（58.7%）、小学生で「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」（51.7%）の割合が、それぞれ最も高くなっている。一方、「預かってもらえる人はいない」の割合は、就学前児童で11.9%、小学生で10.1%となっている。



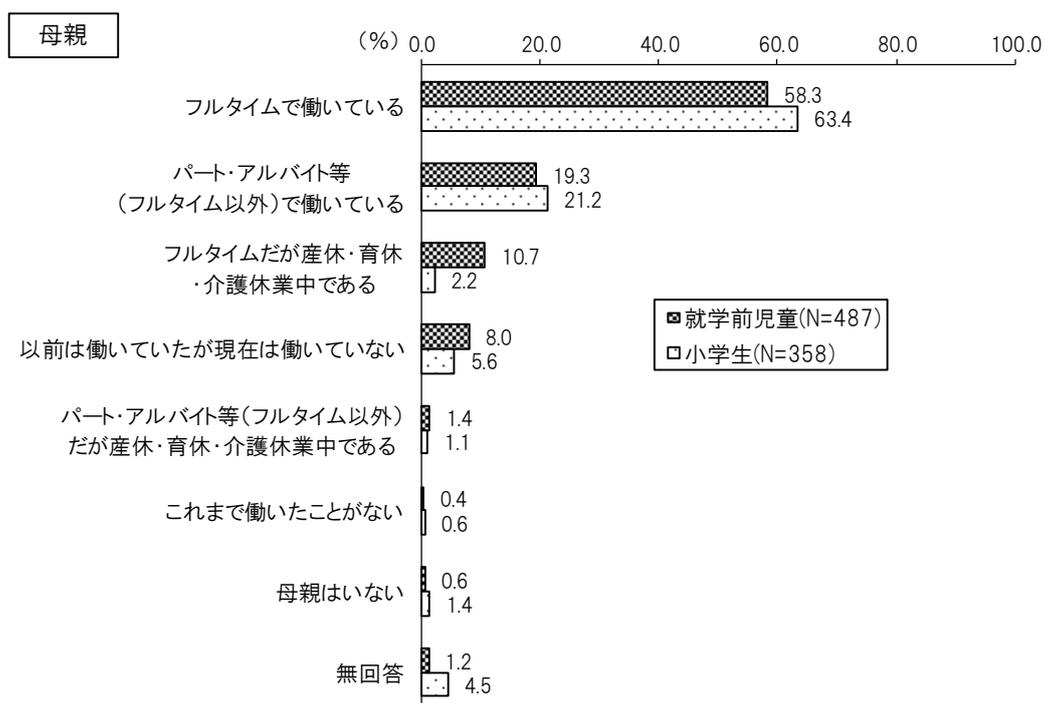
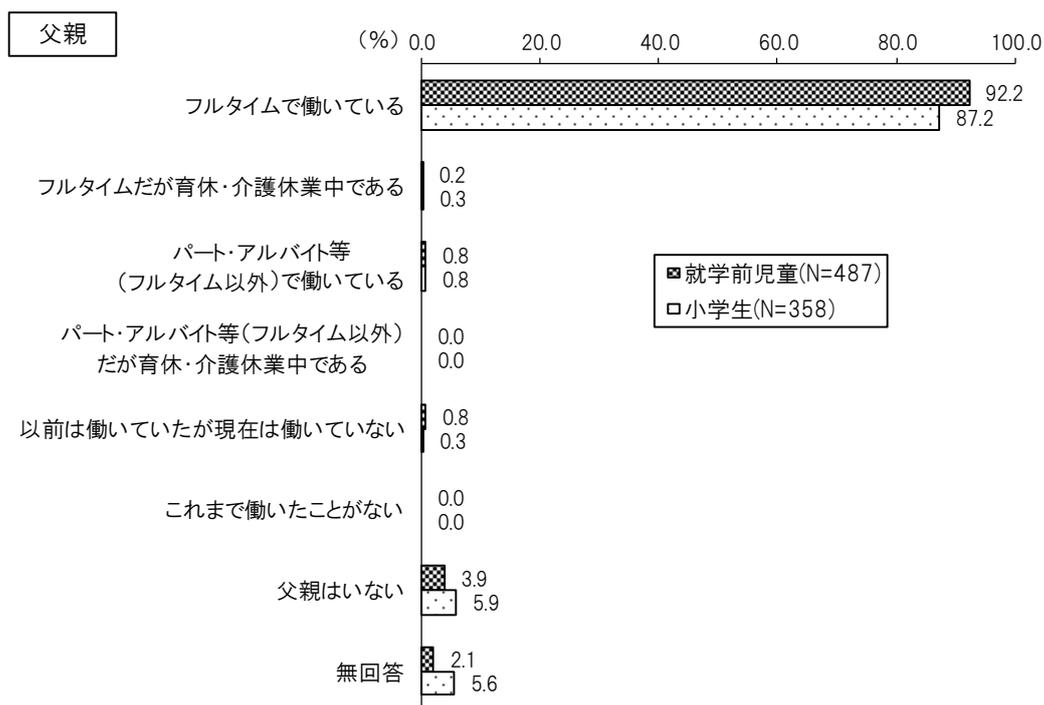
【2】保護者の就労状況について

1 保護者の就労形態

就問 8 (小問 7) お子さんの父親は、現在働いていますか。(○は1つ)

就問 13 (小問 10) お子さんの母親は、現在働いていますか。(○は1つ)

父親の大半がフルタイムで勤務している。母親については、フルタイムが6割前後、パート・アルバイト等が約2割となっている。また、就学前児童の母親は「フルタイムだが産休・育休・介護休業中である」の割合が1割程度(10.7%)みられる。



2 保護者の就労日数、就労時間

【就労している方におたずねします。】

就問9（就問14）（小問8）（小問11） 働いている日数や時間などについておうかがいします。

保護者の就労日数、就労時間、出勤・帰宅時間については、以下のとおりとなっている。

【週当たり就労日数】

単位（日）		件数(n=)	平均	最小値	最大値
父親	就学前児童	445	5.3	3.0	7.0
	小学生	308	5.3	3.0	7.0
母親	就学前児童	431	5.0	2.0	7.0
	小学生	313	5.0	2.0	7.0

【1日当たり就労時間】

単位（時間）		件数(n=)	平均	最小値	最大値
父親	就学前児童	445	9.0	4.0	24.0
	小学生	307	9.1	4.0	24.0
母親	就学前児童	432	7.6	2.0	24.0
	小学生	312	7.4	2.0	24.0

【家を出る時間】

単位(%)		件数(n=)	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降
父親	就学前児童	454	71.8	20.9	2.6	0.4		0.2	0.2		0.2	0.2				0.4
	小学生	316	70.3	20.6	2.2	0.9		0.6	0.6		0.3	0.3				
母親	就学前児童	437	51.5	38.4	6.2	1.1		0.5	0.2		0.2		0.2			
	小学生	315	47.9	41.0	5.7	2.5		0.3			0.3	0.6				

【帰宅時間】

単位(%)		件数(n=)	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降
父親	就学前児童	454	0.4		2.4	1.1	0.4				0.7	4.2	23.1	34.6	14.3	15.9
	小学生	316	0.6	0.3	2.2	0.3	0.3		0.6	0.3	0.6	4.4	21.5	33.9	16.5	14.2
母親	就学前児童	437						1.6	0.9	1.8	6.4	5.9	32.0	37.8	8.9	3.0
	小学生	315						3.2	2.9	2.5	4.8	7.0	23.5	39.7	11.7	3.2

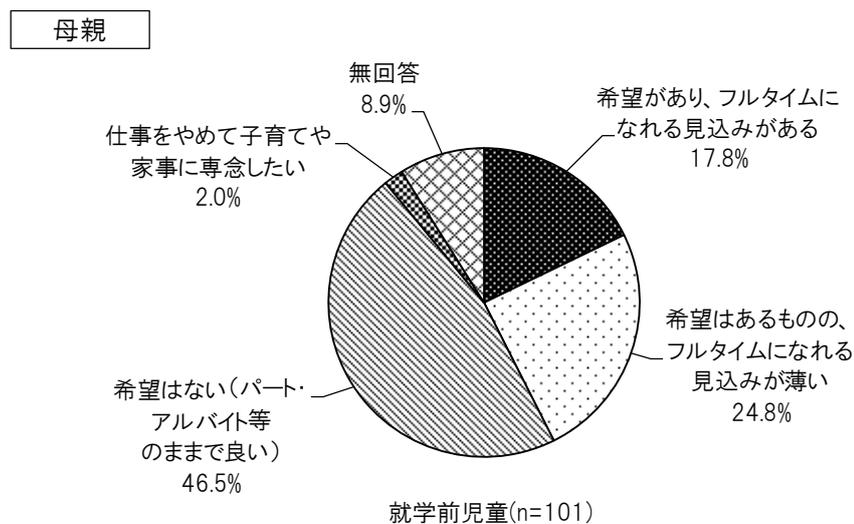
注1：空欄は0のため、表記から省略している。

注2：「無回答」は表記から省略している。

3 フルタイムへの転換希望

【パート・アルバイト等で就労している方におたずねします。】
就問 10（就問 15） 今後、パート・アルバイト等から、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）へ転換したいですか。（○は1つ）

現在、パート・アルバイト等で就労している就学前児童の母親のフルタイムへの転換希望（「希望があり、フルタイムになれる見込みがある」「希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い」の合計）については、42.6%となっている^注。



注：就学前児童の父親については、「希望があり、フルタイムになれる見込みがある」が1件、「希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い」が1件、「希望はない（パート・アルバイト等のままで良い）」が1件みられた。

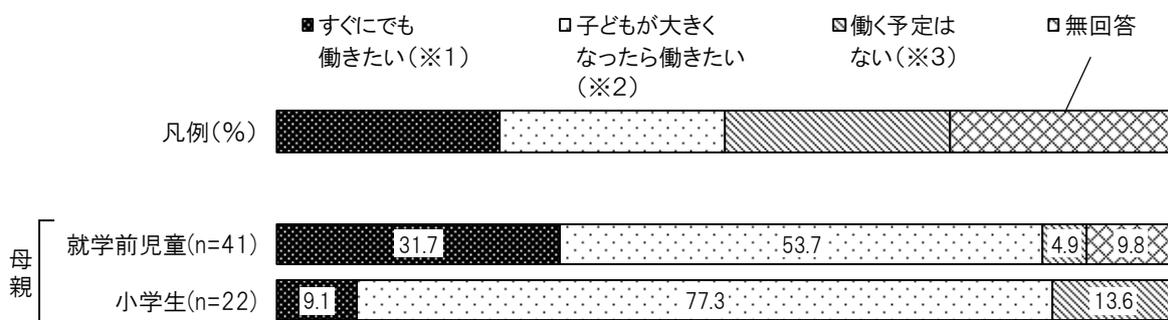
4 今後の就労意向

【現在、就労していない方におたずねします。】

就問 11 (就問 16) (小問 9) (小問 12) 今後、働きたいとお考えですか。(○は1つ)

現在、就労していない母親の就労意向については、就学前児童の母親で「すぐにでも、または1年以内には働きたい」が31.7%、「子どもがある程度大きくなったら(1年以上先)働きたい」が53.7%となっており、合計で就労意向は85.4%となっている。一方、小学生の母親では、8割近く(77.3%)が「子どもがある程度大きくなったら(1年以上先)働きたい」と回答している^注。

母親が就労を開始するときに希望する末子の年齢は、就学前児童で平均6.7歳となっている。



※1：すぐにでも、または1年以内には働きたい

※2：子どもがある程度大きくなったら(1年以上先)働きたい

※3：働く予定はない(子育てや家事などに専念したい)

注1：就学前児童の父親については、「すぐにでも、または1年以内には働きたい」が3件、「働く予定はない(子育てや家事などに専念したい)」が1件みられた。

注2：小学生の父親については、「働く予定はない(子育てや家事などに専念したい)」が1件みられた。

【末子が何歳になったところに就労したいか】

単位(歳)		件数(n=)	平均	最小値	最大値
母親	就学前児童	11	6.7	2.0	12.0

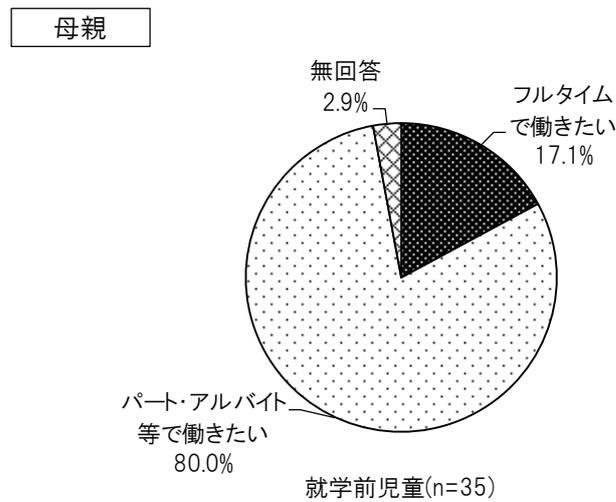
5 希望する就労形態

【就労希望のある方におたずねします。】

就問 12（就問 17） どのような形態で働きたいとお考えですか。（○は1つ）

現在就労していない母親の希望する就労形態については、「フルタイムで働きたい」が17.1%、「パート・アルバイト等で働きたい」が80.0%となっている。

また、パート・アルバイト等で就労する際に希望する週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間について、就学前児童で平均4.4日、平均5.2時間となっている。



注：就学前児童の父親については、「フルタイムで働きたい」が2件みられた。

【パート・アルバイト等で希望する週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間】

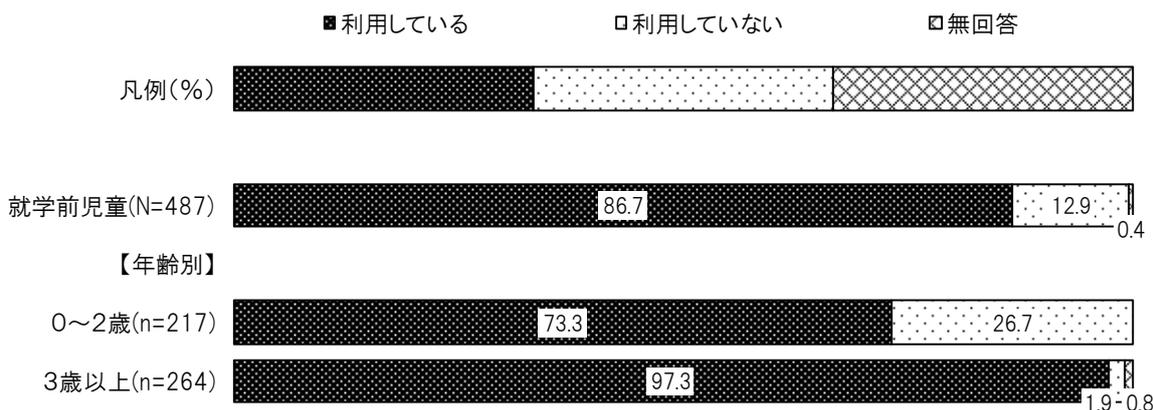
		週当たりの就労日数（日）				1日当たりの就労時間（時間）			
		件数(n=)	平均	最小値	最大値	件数(n=)	平均	最小値	最大値
母親	就学前児童	24	4.4	3.0	5.0	23	5.2	4.0	8.0

【3】 保育所や認定こども園などの平日の利用について

1 施設やサービスの利用状況

就問 18 お子さんは、平日、保育所や認定こども園などの子育て支援施設や一時預かりなどの事業を定期的にご利用していますか。（○は1つ）

大半（86.7%）の子どもが保育所や認定こども園などの施設やサービスを利用しており、3歳以上になると、ほとんどの子どもが利用している。

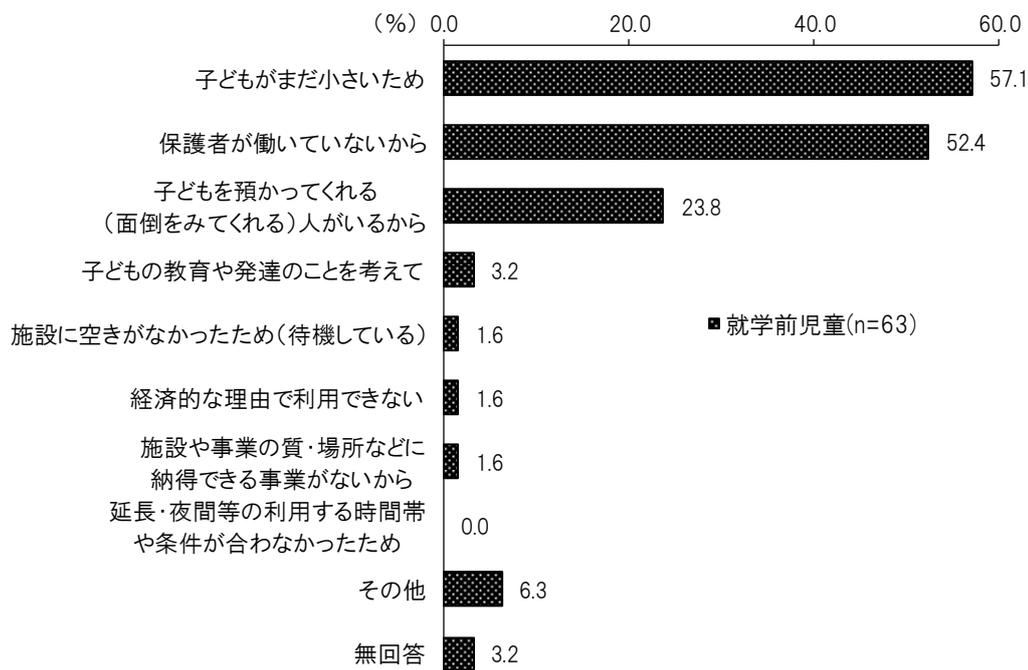


2 利用していない理由

【施設やサービスを利用していない方におたずねします。】

就問 19 現在、子育て支援施設や一時預かりなどの事業を利用していないのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」の割合が57.1%と最も高く、ほぼ並んで「保護者が働いていないから」（52.4%）が続いており、以下「子どもを預かってくれる（面倒をみってくれる）人がいるから」（23.8%）が続いている。



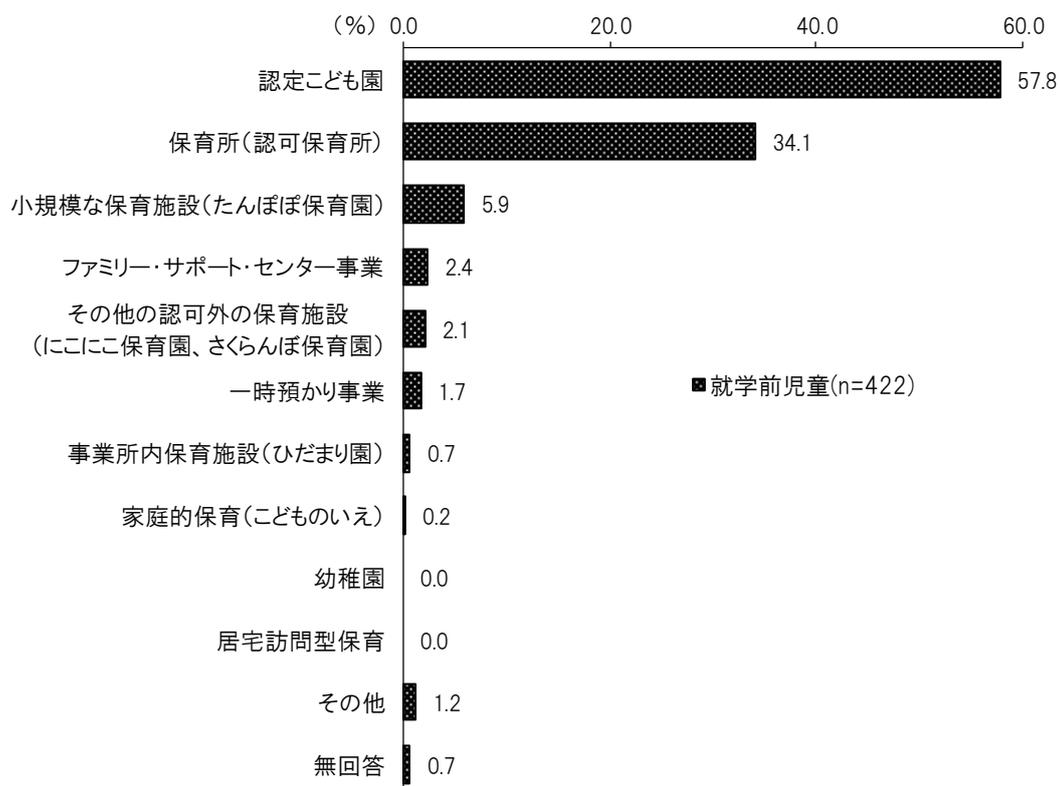
3 利用している施設やサービス

【施設やサービスを利用している方におたずねします。】

就問 20 現在、どの子育て支援サービスを利用していますか。

(あてはまるものすべてに○)

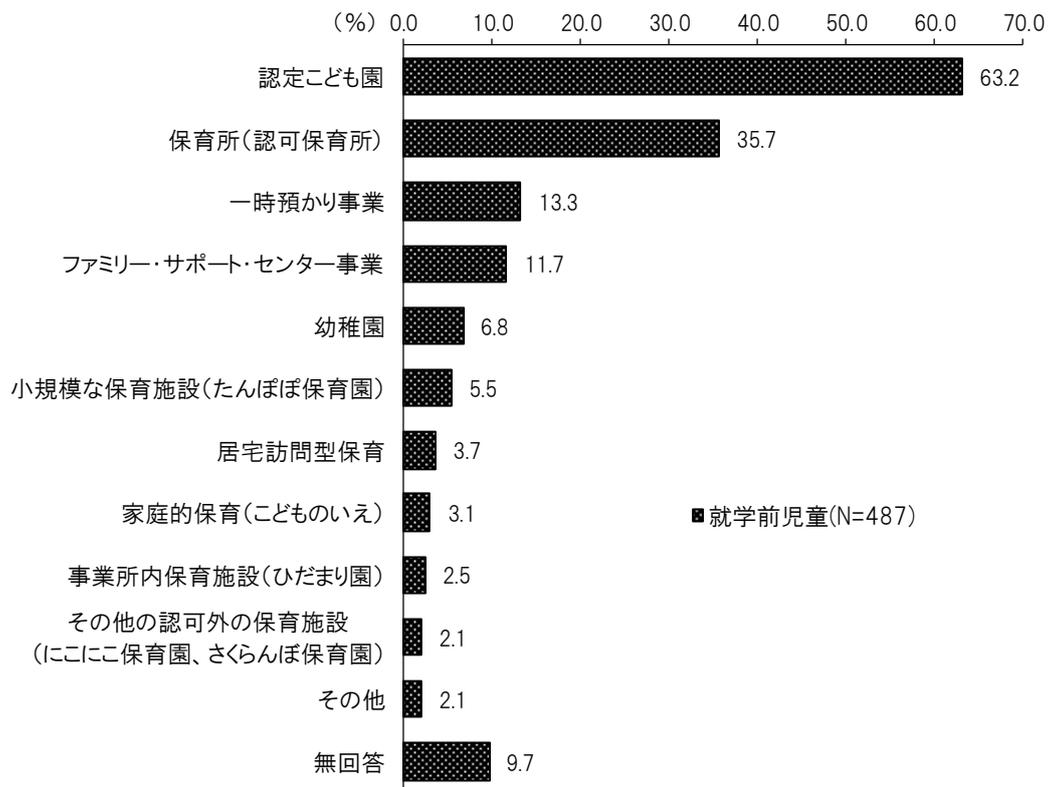
「認定こども園」の割合が57.8%と最も高く、次いで「保育所(認可保育所)」(34.1%)、「小規模な保育施設(たんぽぽ保育園)」(5.9%)、「ファミリー・サポート・センター事業」(2.4%)、「その他の認可外の保育施設(にこにこ保育園、さくらんぼ保育園)」(2.1%)の順となっている。



4 施設やサービスの平日の利用希望

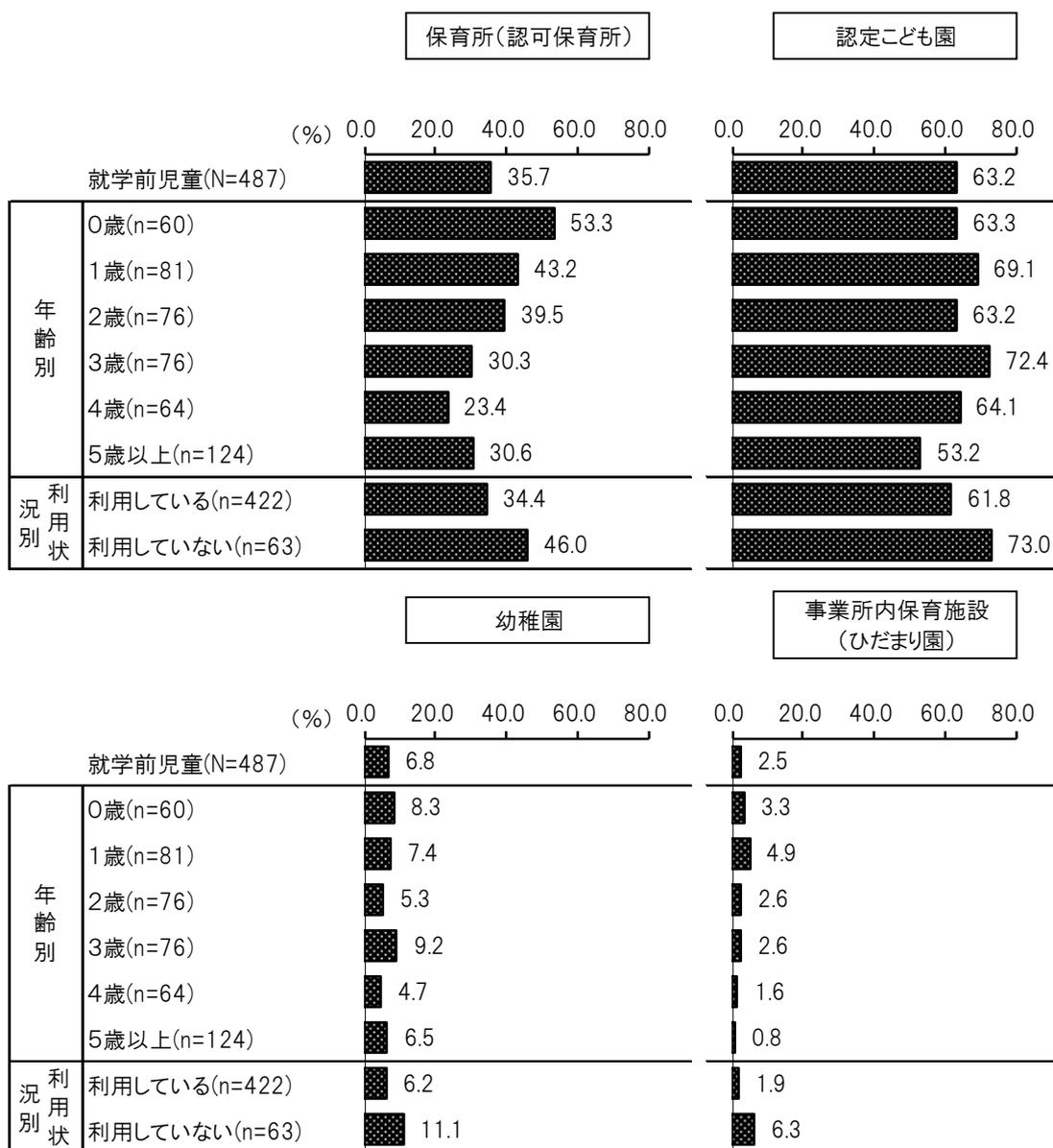
就問 21 現在、利用している、利用していないにかかわらず、今後、平日に定期的にご利用してみたい子育て支援施設や一時預かりなどの事業をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

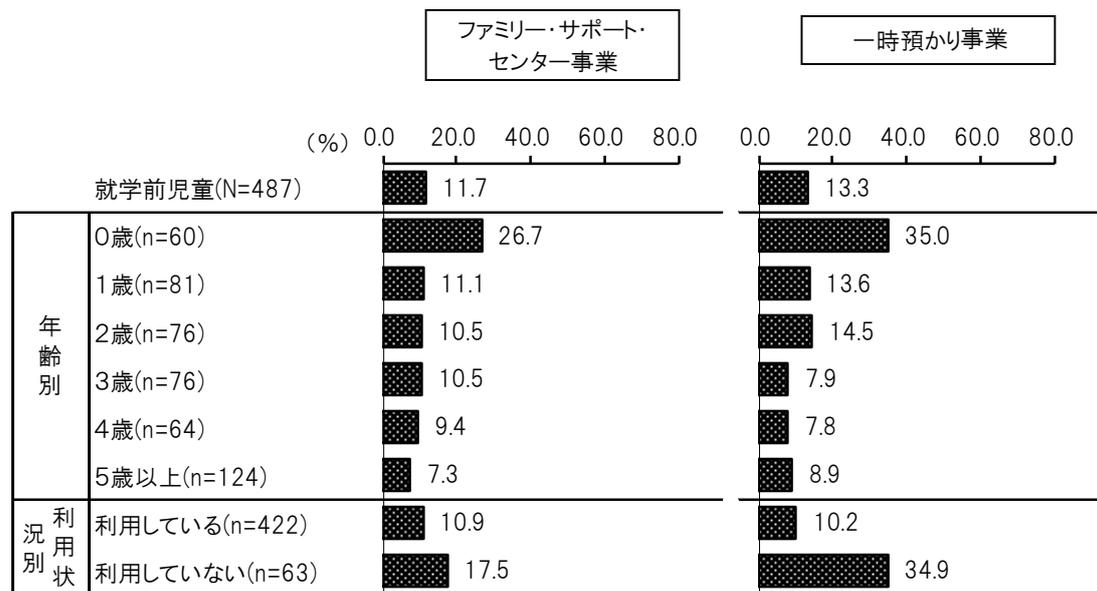
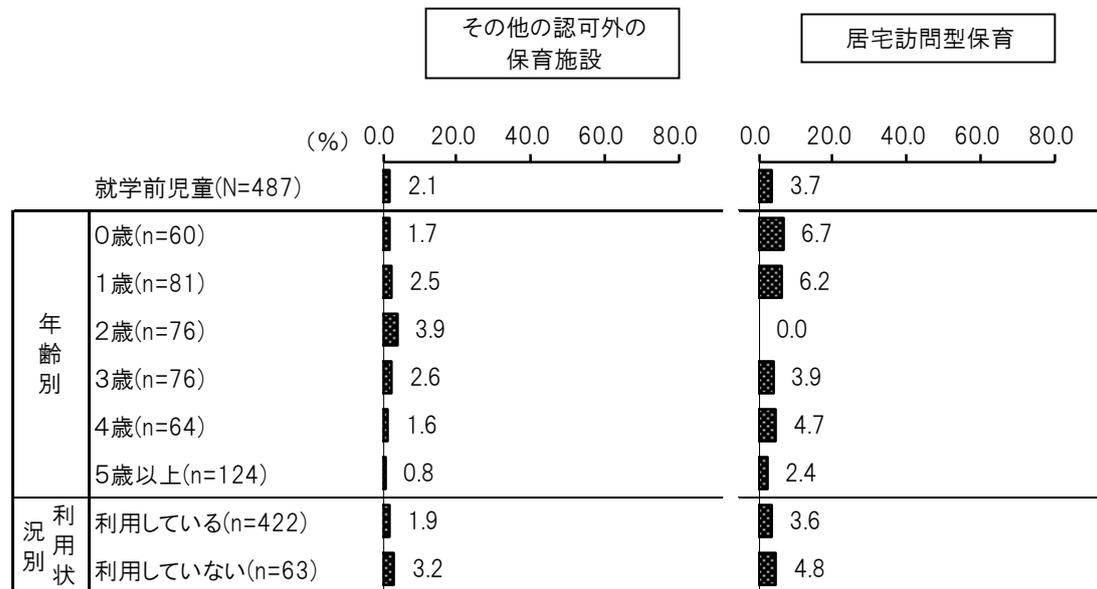
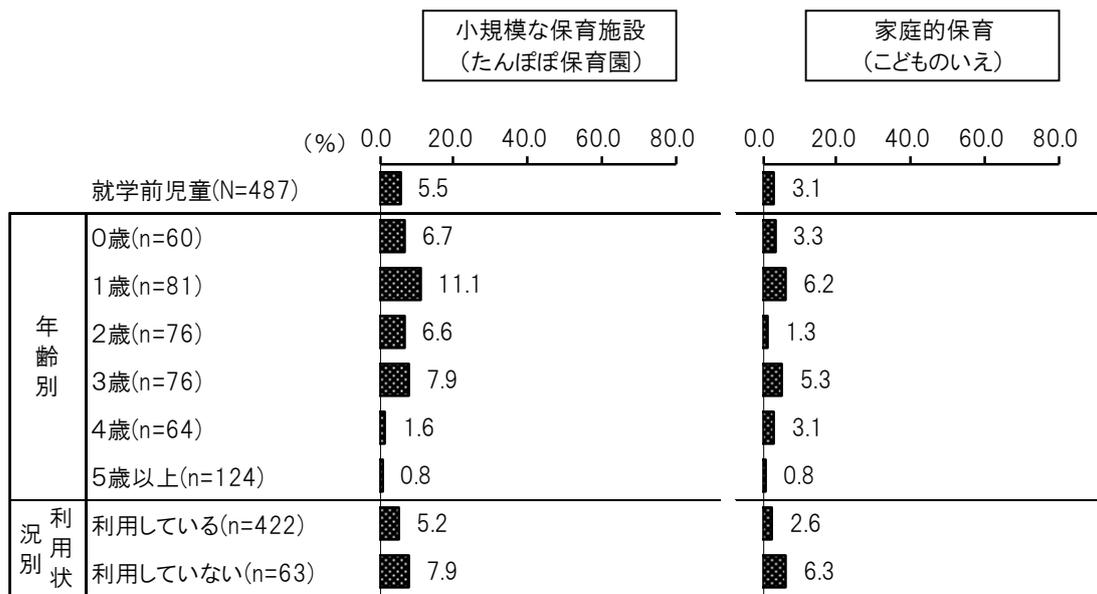
施設やサービスの平日の利用希望については、「認定こども園」の割合が63.2%と最も高く、次いで「保育所（認可保育所）」（35.7%）、「一時預かり事業」（13.3%）、「ファミリー・サポート・センター事業」（11.7%）の順となっている。

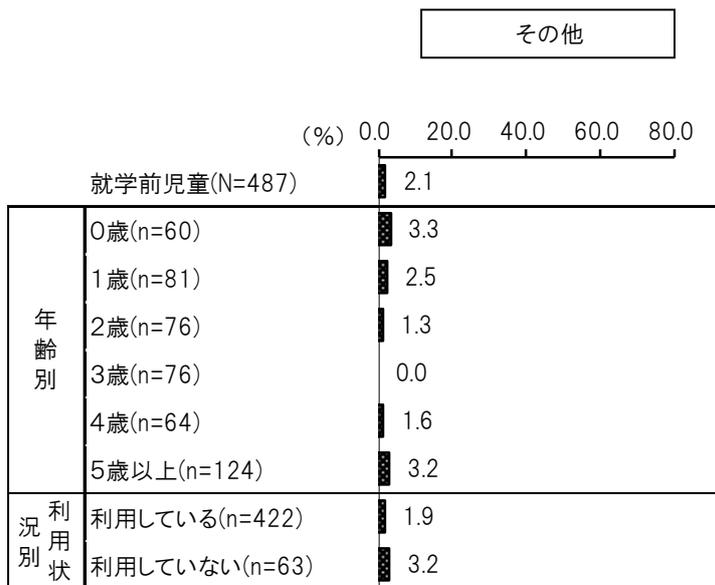


子どもの年齢別では、0歳で「保育所（認可保育所）」「ファミリー・サポート・センター事業」「一時預かり事業」、1歳や3歳で「認定こども園」などのニーズが高くなっている。

利用状況別では、利用していない層で「保育所（認可保育所）」「認定こども園」「一時預かり事業」のニーズが高くなっている。





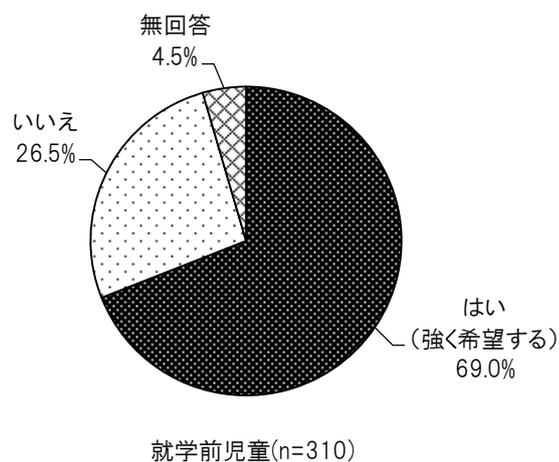


5 預かり保育の利用希望

【認定こども園や幼稚園を利用したい方におたずねします。】

就問 22 特に認定こども園（短時間保育）や幼稚園の預かり保育の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

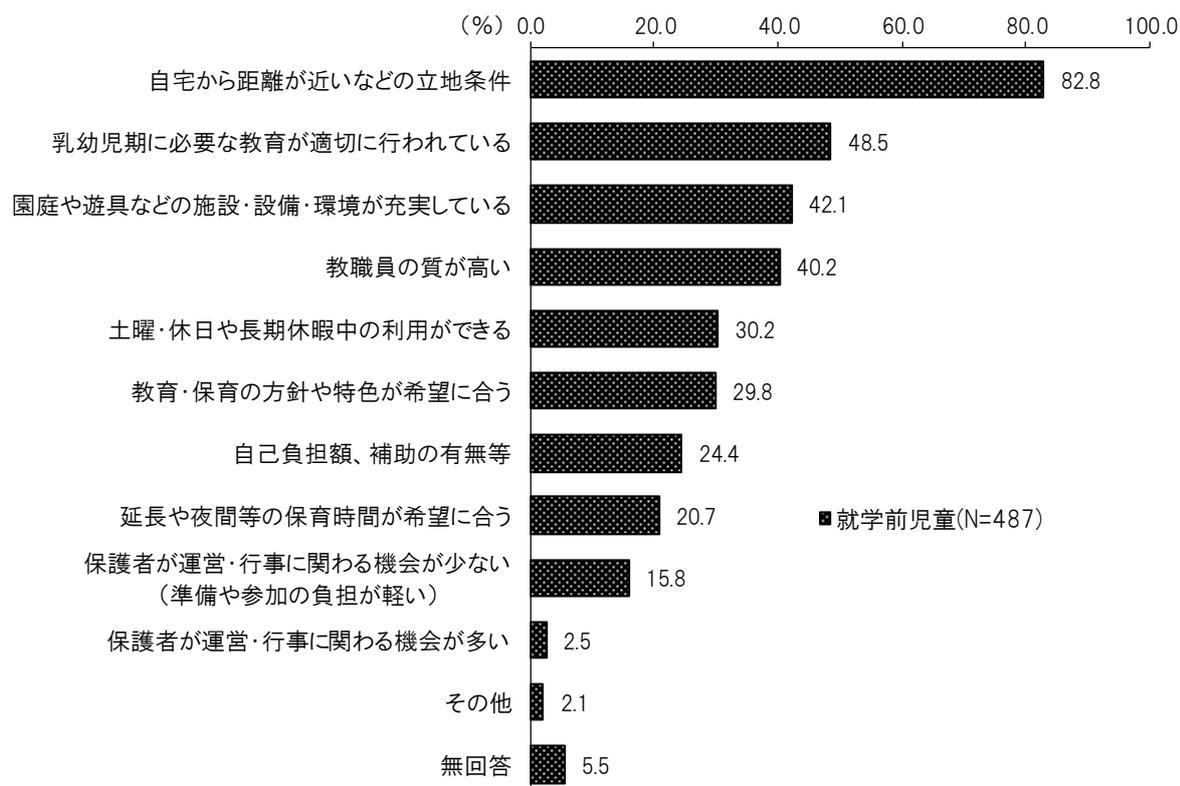
預かり保育の利用希望については、「はい（強く希望する）」の割合が69.0%、「いいえ」が26.5%となっている。



6 保育所や認定こども園などを選ぶ際に重視すること

就問 23 保育所や認定こども園などを選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。
(あてはまるものすべてに○)

保育所や認定こども園などを選ぶ際に重視することについては、「自宅から距離が近いなどの立地条件」の割合が82.8%と最も高く、次いで「乳幼児期に必要な教育が適切に行われている」(48.5%)、「園庭や遊具などの施設・設備・環境が充実している」(42.1%)、「教職員の質が高い」(40.2%)、「土曜・休日や長期休暇中の利用ができる」(30.2%)、「教育・保育の方針や特色が希望に合う」(29.8%)の順となっている。



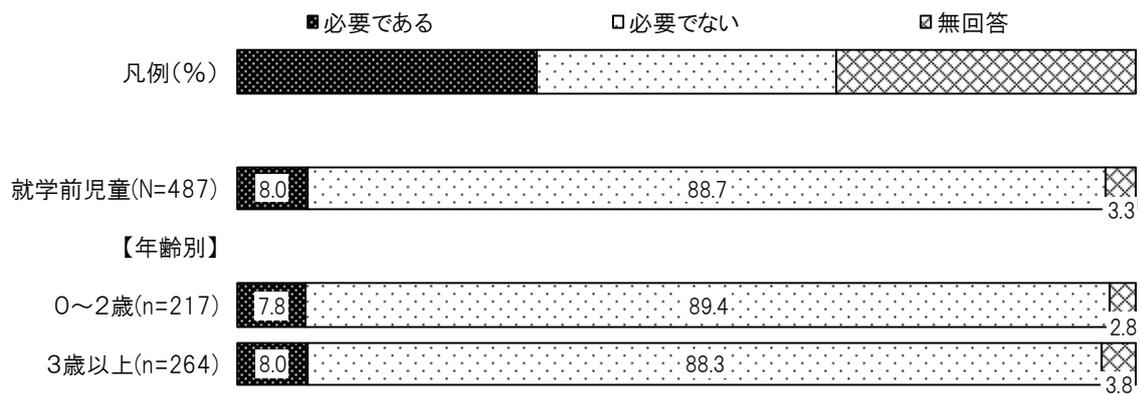
7 夜間保育の必要性

【施設やサービスを今後利用してみたいと回答した方におたずねします。】

就問 24 あなたのご家庭では、保育所や認定こども園などでの夜間保育が必要ですか。

(○は1つ)

夜間保育の必要性については、9割近く(88.7%)が「必要でない」と回答しており、年齢別でも大きな差はみられない。



【利用希望回数】

単位(回)	週当たりの利用回数				月当たりの利用回数			
	件数(n=)	平均	最小値	最大値	件数(n=)	平均	最小値	最大値
必要である	31	4.5	1.0	6.0	12	6.6	1.0	20.0

【4】子育て広場などの利用について

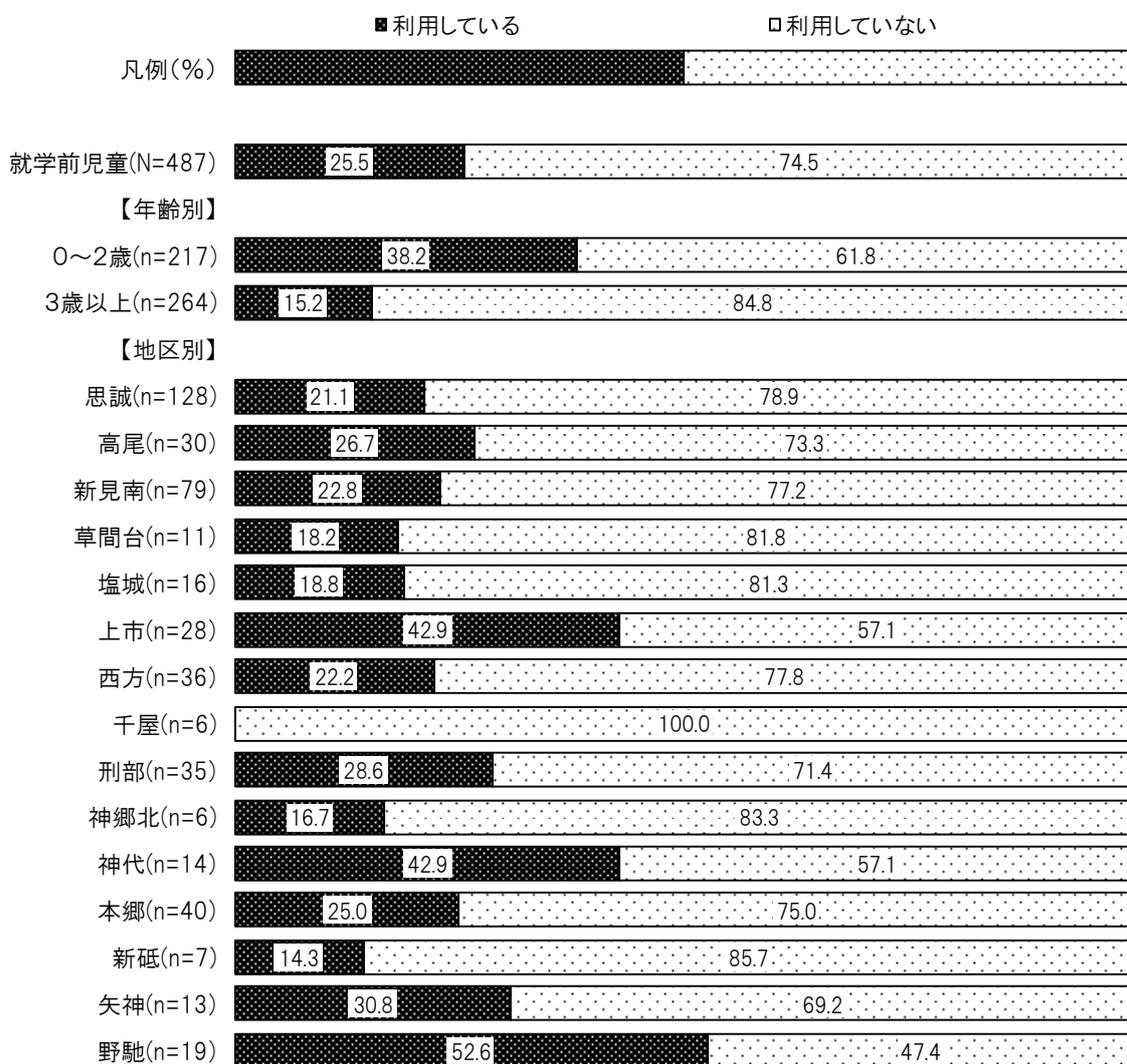
1 地域子育て支援拠点事業の利用状況

就問 25 お子さんは「市内の地域子育て支援拠点事業（「子育て広場」や「にこたん）」を利用してありますか。（○は1つ）

地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「利用している」が25.5%、「利用していない」が74.5%となっている。

年齢別では、0～2歳で「利用している」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

地区別では、上市、神代、野馳で「利用している」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。



注：地区別の「千屋」「神郷北」「新砥」については、件数（n）が少ないため参考値として参照

【利用回数】

単位（回）	週当たりの利用回数				月当たりの利用回数			
	件数(n=)	平均	最小値	最大値	件数(n=)	平均	最小値	最大値
利用している	38	2.2	1.0	5.0	83	1.6	1.0	10.0

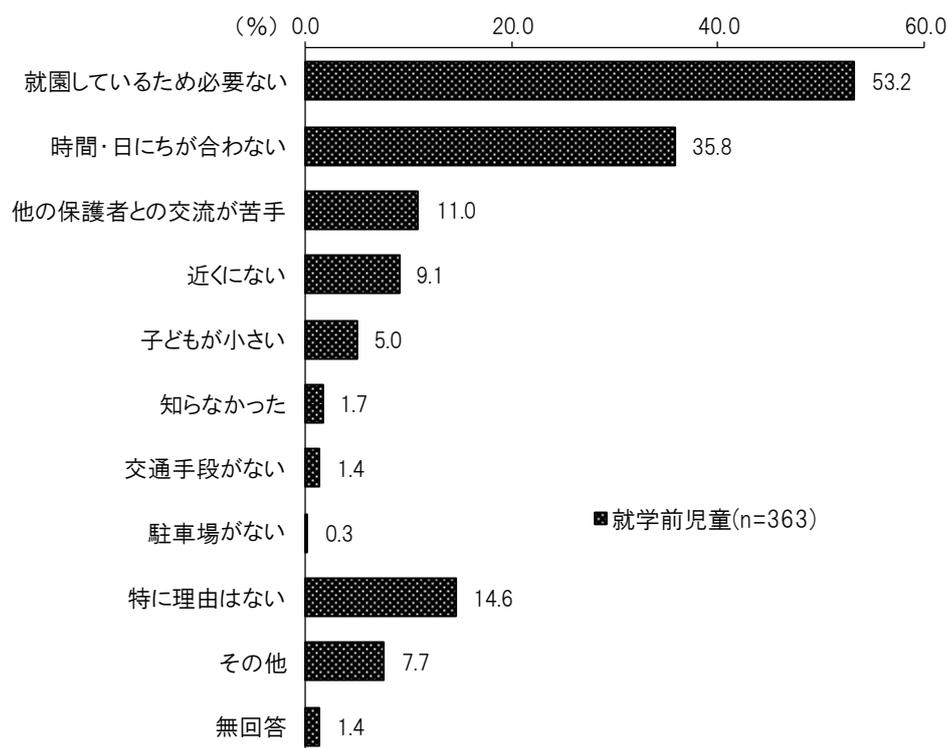
2 利用していない理由

【地域子育て支援拠点事業を利用していない方におたずねします。】

就問 26 利用していないのは、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

利用していない理由については、「就園しているため必要ない」の割合が53.2%と最も高く、次いで「時間・日にちが合わない」(35.8%)、「他の保護者との交流が苦手」(11.0%)、「近くにない」(9.1%)の順となっている。



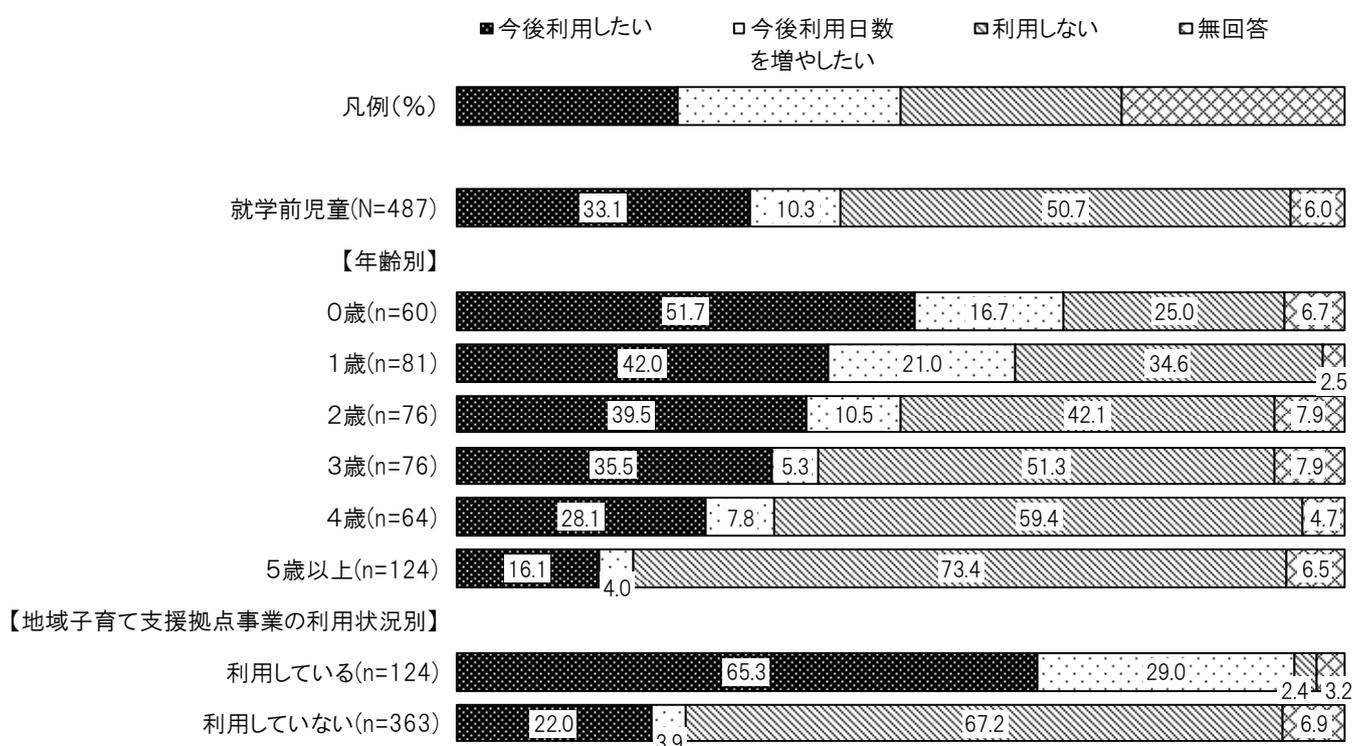
3 地域子育て支援拠点事業の利用意向

就問 27 今後「市内の地域子育て支援拠点事業（「子育て広場」や「にこたん」）」を利用してみたいと思いますか。（○は1つ）

地域子育て支援拠点事業の利用意向については、「今後利用したい」が33.1%、「今後利用日数を増やしたい」が10.3%となっている。一方、半数（50.7%）が「利用しない」と回答している。

年齢別では、年齢が低くなるほど利用意向は高くなっている。

地域子育て支援拠点事業の利用状況別（就問 25）で見ると、利用している層で6割以上が利用意向を示しており、約3割が「今後利用日数を増やしたい」と回答している。



【利用希望回数】

単位（回）	週当たりの利用回数				月当たりの利用回数			
	件数(n=)	平均	最小値	最大値	件数(n=)	平均	最小値	最大値
今後利用したい	48	1.7	1.0	5.0	115	1.8	1.0	10.0
今後利用回数を増やしたい	20	1.8	1.0	4.0	33	2.1	1.0	4.0

【5】土・日・祝日や長期休業中の子育て支援施設等の利用意向について

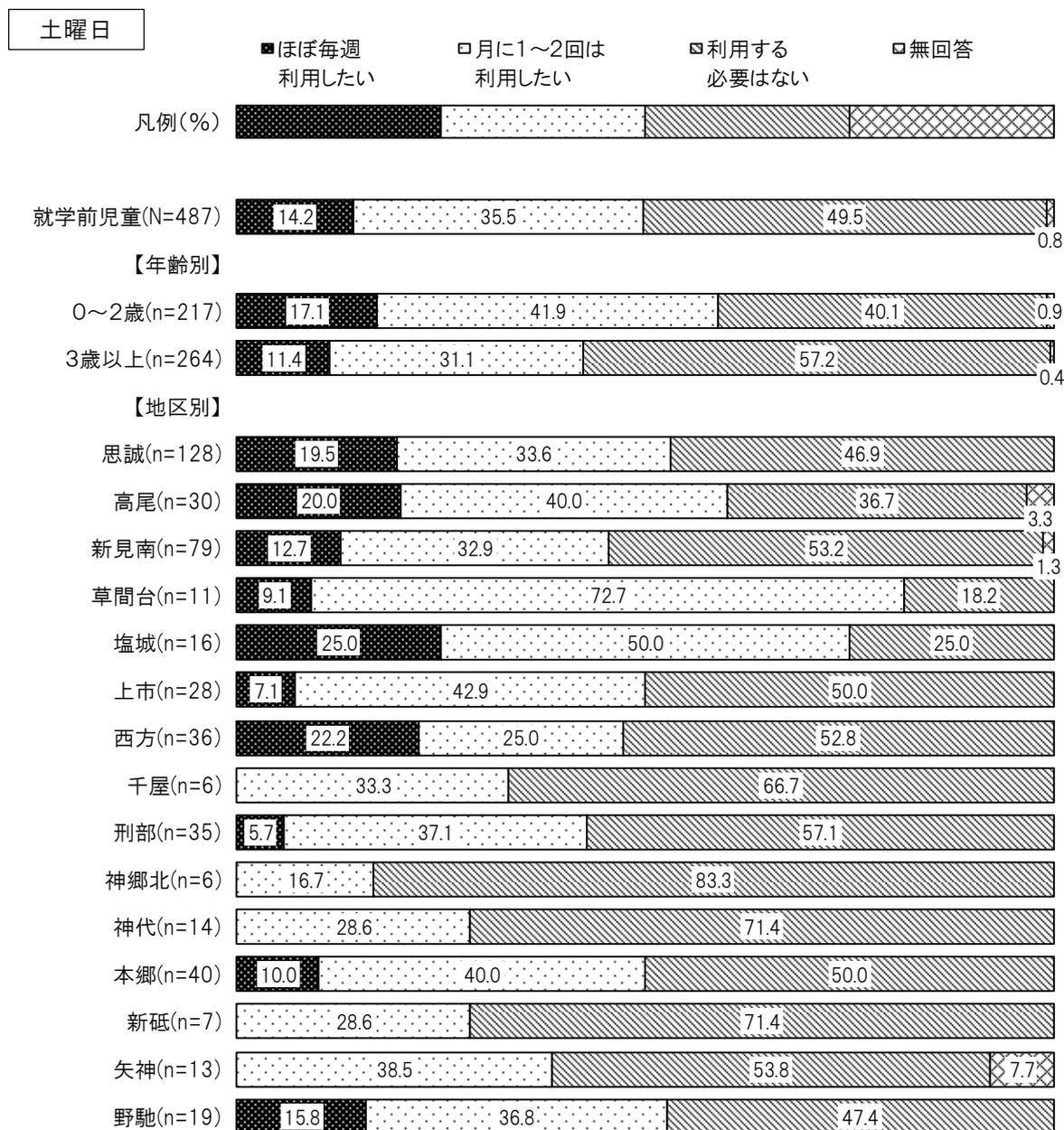
1 土・日・祝日の子育て支援施設やサービスの利用意向

就問 28 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、保育所や認定こども園などの子育て支援施設や、一時保育などの事業を利用したいと思いますか。(○は1つずつ)

土曜日の利用意向については、「ほぼ毎週利用したい」が14.2%、「月に1～2回は利用したい」が35.5%、合計で49.7%が『利用したい』と回答している。

年齢別では、0～2歳で「月に1～2回は利用したい」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

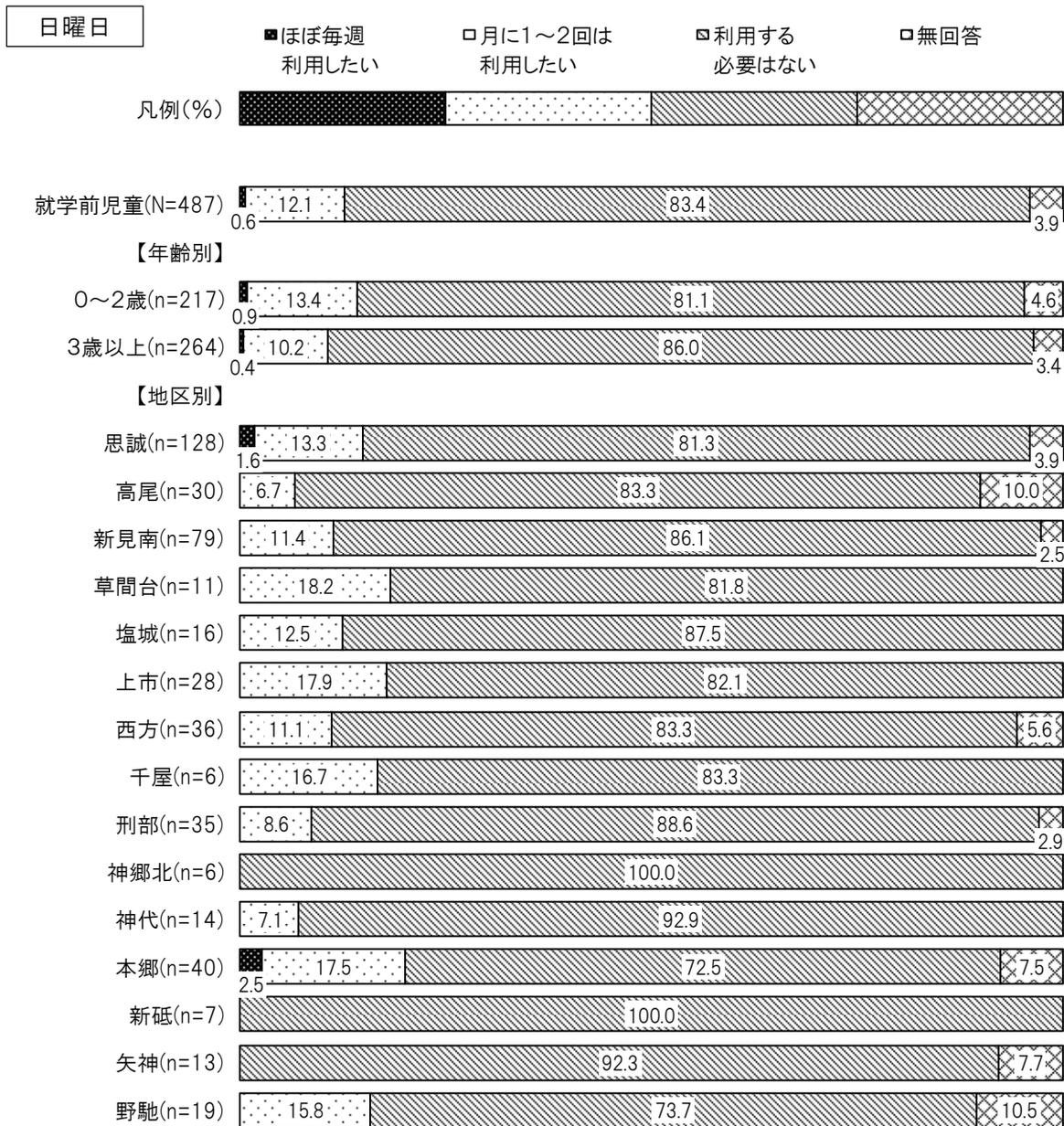
地区別では、塩城や西方で「ほぼ毎週利用したい」、草間台で「月に1～2回は利用したい」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。



注：地区別の「千屋」「神郷北」「新砥」については、件数(n)が少ないため参考値として参照

日曜日の利用意向については、「ほぼ毎週利用したい」が0.6%、「月に1～2回は利用したい」が12.1%、合計で12.7%が『利用したい』と回答している。一方、8割以上(83.4%)は「利用する必要はない」と回答している。

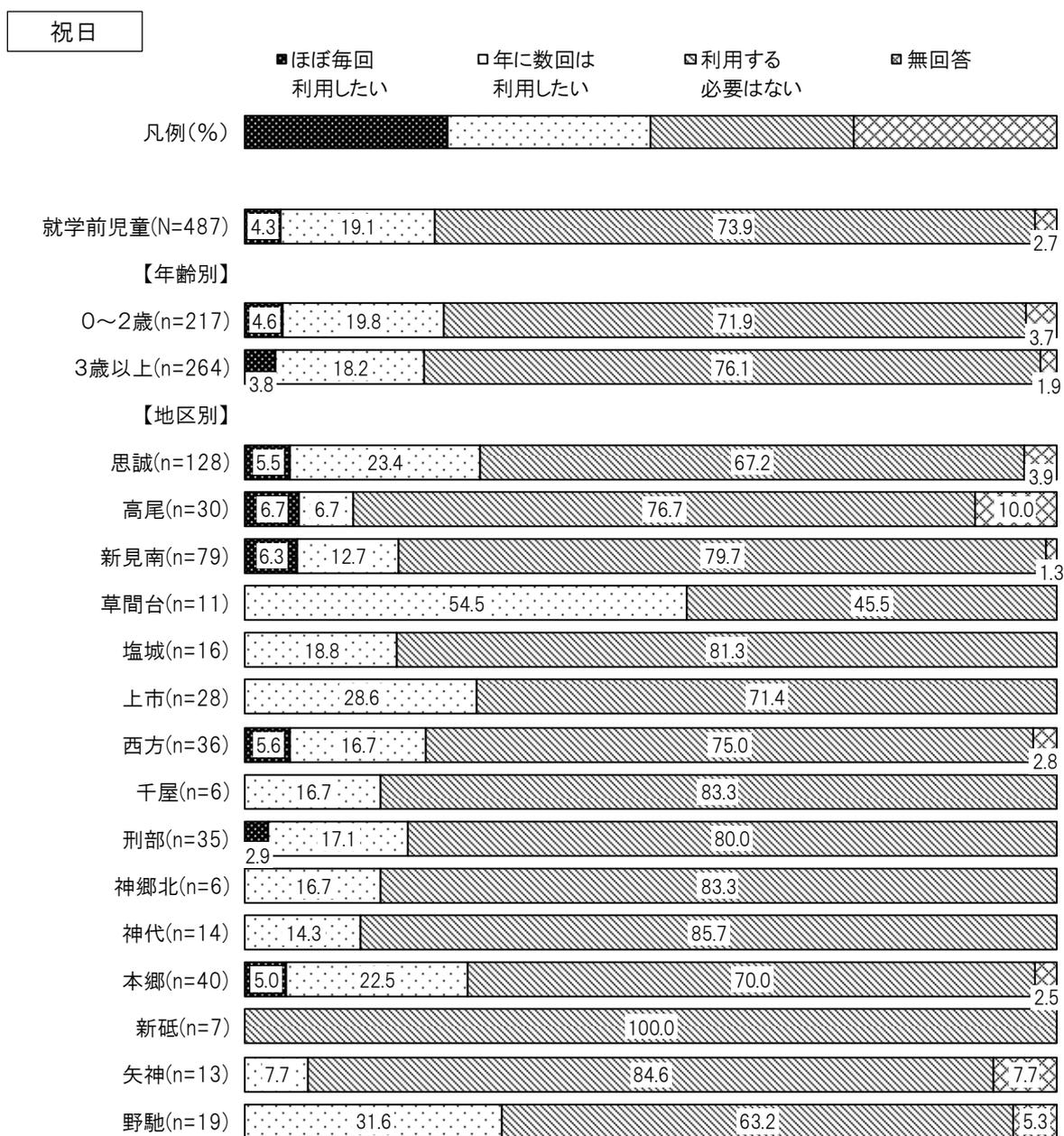
年齢別では大きな差はみられないが、地区別では本郷で利用意向が他の地区に比べてやや高くなっている。



注：地区別の「千屋」「神郷北」「新砥」については、件数(n=)が少ないため参考値として参照

祝日の利用意向については、「ほぼ毎回利用したい」が4.3%、「年に数回は利用したい」が19.1%、合計で23.4%が『利用したい』と回答している。一方、「利用する必要はない」は73.9%となっている。

年齢別では大きな差はみられないが、地区別では草間台で「年に数回は利用したい」の割合が他の地区に比べて高くなっている。



注：地区別の「千屋」「神郷北」「新砥」については、件数(n)が少ないため参考値として参照

土曜日、日曜日、祝日に子育て支援施設を利用したい時間帯については、以下のとおりとなっている。

【土曜日、日曜日、祝日に子育て支援施設を利用したい時間帯】

	利用時間帯		
	件数(n=)	何時から	何時まで
土曜日	242	～7時台 30.6% 8時台 52.9% 9時台 12.0%	12時台 4.1% 13時台 2.9% 14時台 1.2% 15時台 1.2% 16時台 13.2% 17時台 38.0% 18時台 35.1% 19時台 0.4%
日曜日	62	～7時台 29.0% 8時台 50.0% 9時台 16.1%	12時台 1.6% 13時台 3.2% 16時台 12.9% 17時台 30.6% 18時台 46.8%
祝日	114	～7時台 28.1% 8時台 56.1% 9時台 10.5%	13時台 3.5% 15時台 0.9% 16時台 11.4% 17時台 41.2% 18時台 38.6%

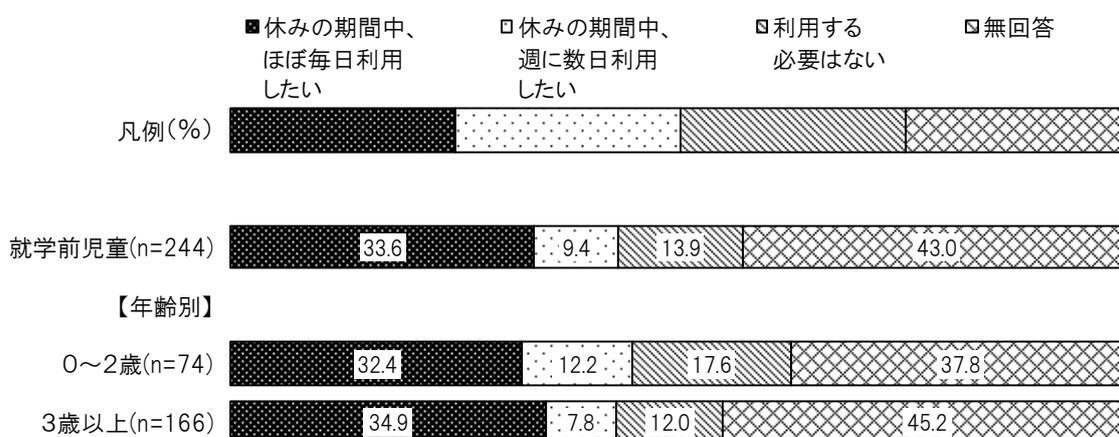
2 長期休業中の子育て支援施設等の利用意向

【現在「子育て支援施設や事業」を利用している方におうかがいします。】

就問 29 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休みの期間中に、認定こども園などの子育て支援施設や、預かり保育などの事業を利用したいと思いますか。
(○は1つ)

長期休業中の子育て支援施設等の利用意向については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が33.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が9.4%、合計で43.0%が『利用したい』と回答している。

年齢別では、0～2歳で「利用する必要はない」の割合が他の年齢層をやや上回っている。



【長期休業中に子育て支援施設を利用したい時間帯】

	利用時間帯		
	件数(n=)	何時から	何時まで
長期休業中	105	～7時台 16.2% 8時台 47.6% 9時台 7.6%	12時台 1.0% 13時台 1.0% 14時台 1.9% 15時台 1.0% 16時台 16.2% 17時台 21.9% 18時台 28.6%

【6】放課後児童クラブの利用について

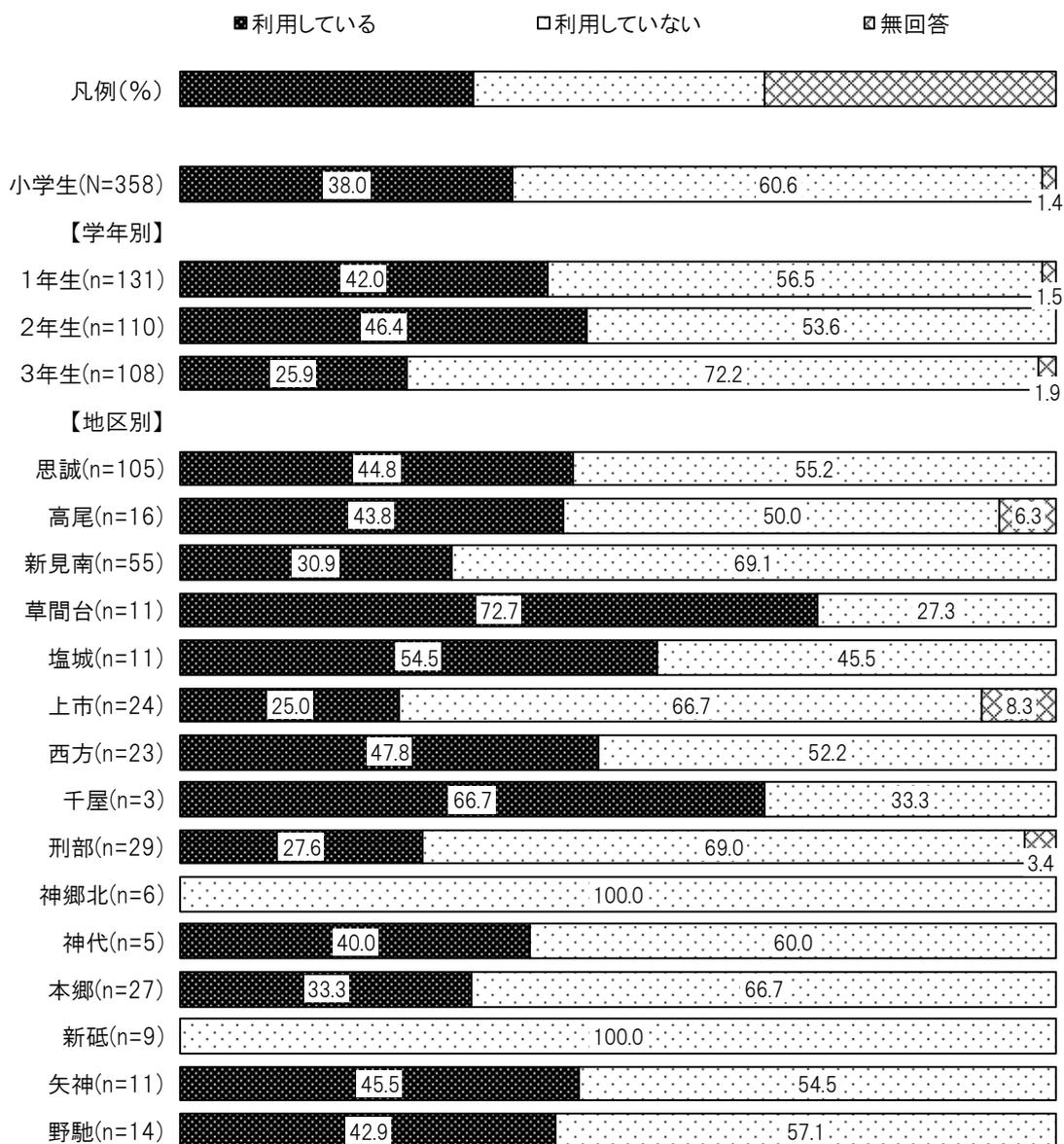
1 放課後児童クラブの利用有無

小問 13 お子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。（○は1つ）

放課後児童クラブの利用については、「利用している」が38.0%、「利用していない」が60.6%となっている。

学年別では、3年生で「利用していない」の割合が他の学年に比べて高くなっている。

地区別では、草間台や塩城などで「利用している」の割合が他の地区に比べて高くなっている。



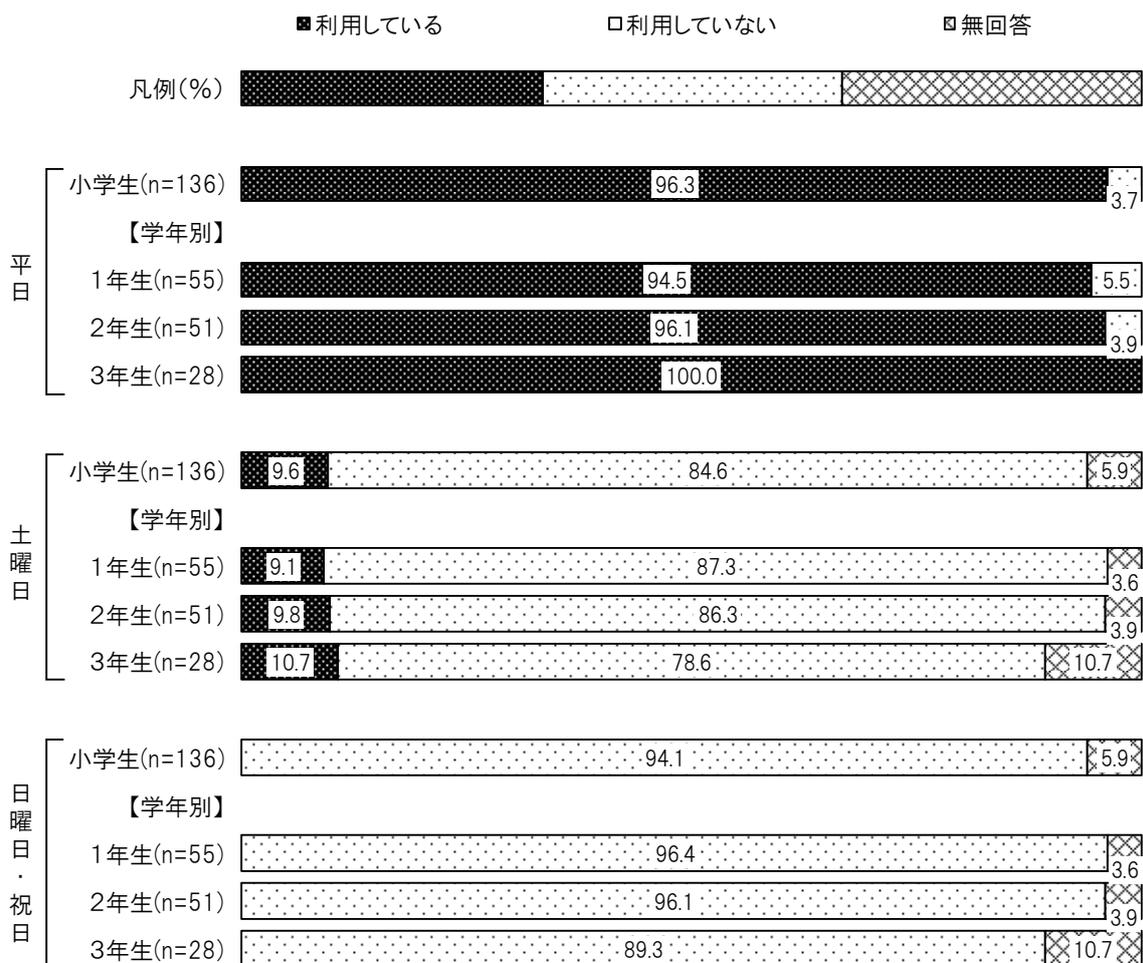
注：地区別の「千屋」「神郷北」「神代」「新砥」については、件数（n）が少ないため参考値として参照

2 放課後児童クラブの利用状況

【放課後児童クラブを利用している方におたずねします。】

小問 14 放課後児童クラブの利用状況についておうかがいします。(○は1つずつ)

放課後児童クラブの利用状況を見ると、大半が平日に利用しており、土曜日の利用は9.6%となっている。一方、日曜日・祝日の利用はみられない。



【利用日数・時間帯】

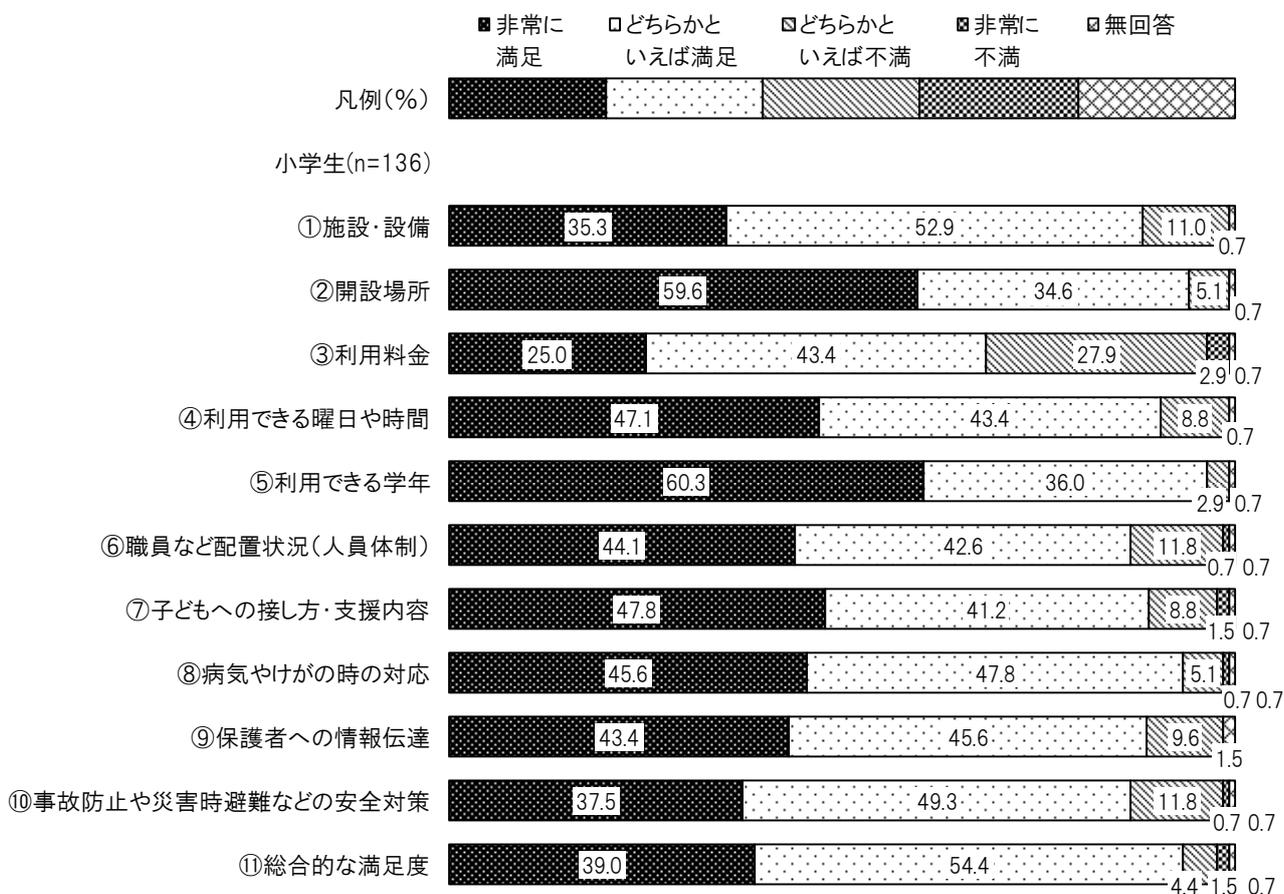
	週(月)に何日程度				利用時間帯	
	件数(n=)	平均	最小値	最大値	何時から	何時まで
平日の利用(週に)	131	4.2	1.0	5.0	下校時から	16時台 1.5% 17時台 40.5% 18時台 58.0%
土曜日の利用(月に)	13	1.9	1.0	4.0	~7時台 7.7% 8時台 84.6%	13時台 7.7% 14時台 7.7% 16時台 23.1% 17時台 30.8% 18時台 23.1%
日曜日・祝日の利用(月に)	0	-	-	-	-	-

3 放課後児童クラブに対する満足度

【放課後児童クラブを利用している方におたずねします。】

小問 15 現在利用している放課後児童クラブに対する満足度を、次にあげる項目ごとにお答えください。（○は1つずつ）

現在利用している放課後児童クラブの満足度については、いずれの項目も一定の満足度が得られているが、特に「②開設場所」「⑤利用できる学年」で「非常に満足」の割合が高くなっている。一方、「③利用料金」については「どちらかといえば不満」の割合が3割近く（27.9%）を占めている。

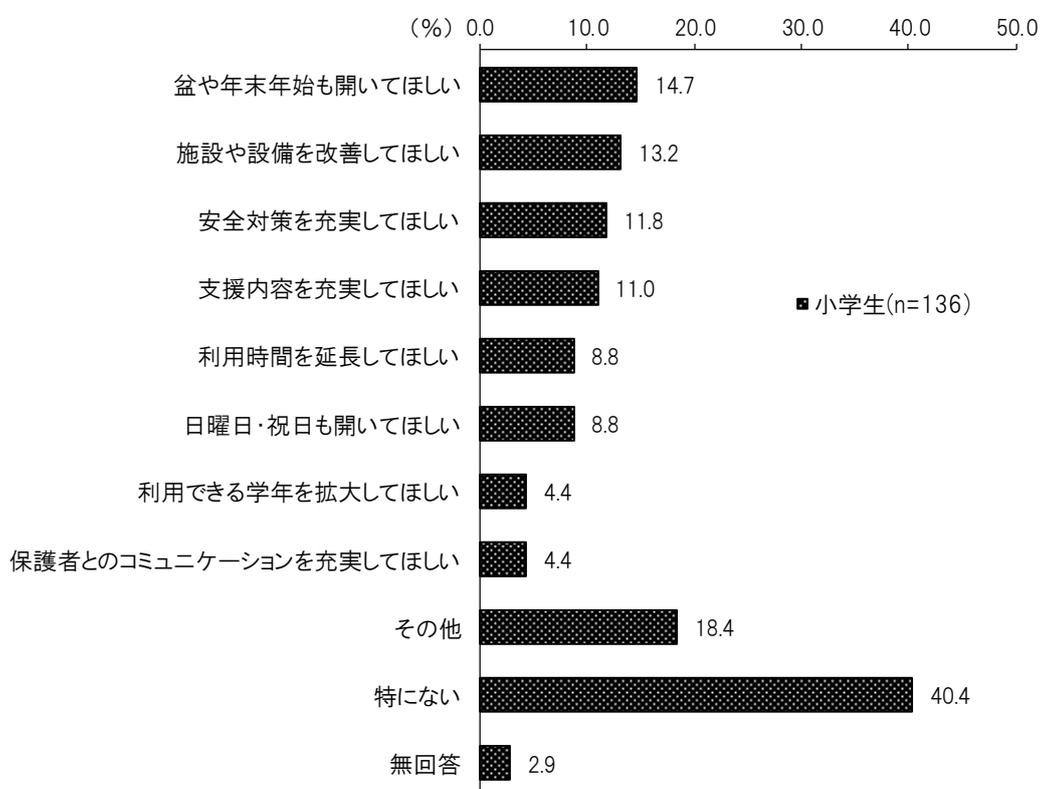


4 放課後児童クラブへの要望

【放課後児童クラブを利用している方におたずねします。】

小問 16 現在利用している放課後児童クラブに対して、どのようなことを充実してほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

放課後児童クラブへの要望については、「盆や年末年始も開いてほしい」（14.7%）、「施設や設備を改善してほしい」（13.2%）、「安全対策を充実してほしい」（11.8%）、「支援内容を充実してほしい」（11.0%）の順に高くなっている。一方、4割（40.4%）が「特にない」と回答している。また「その他」では、「土曜日も開けてほしい」「料金を安くしてほしい」「運営に関する保護者の負担を減らしてほしい」などの回答がみられた。



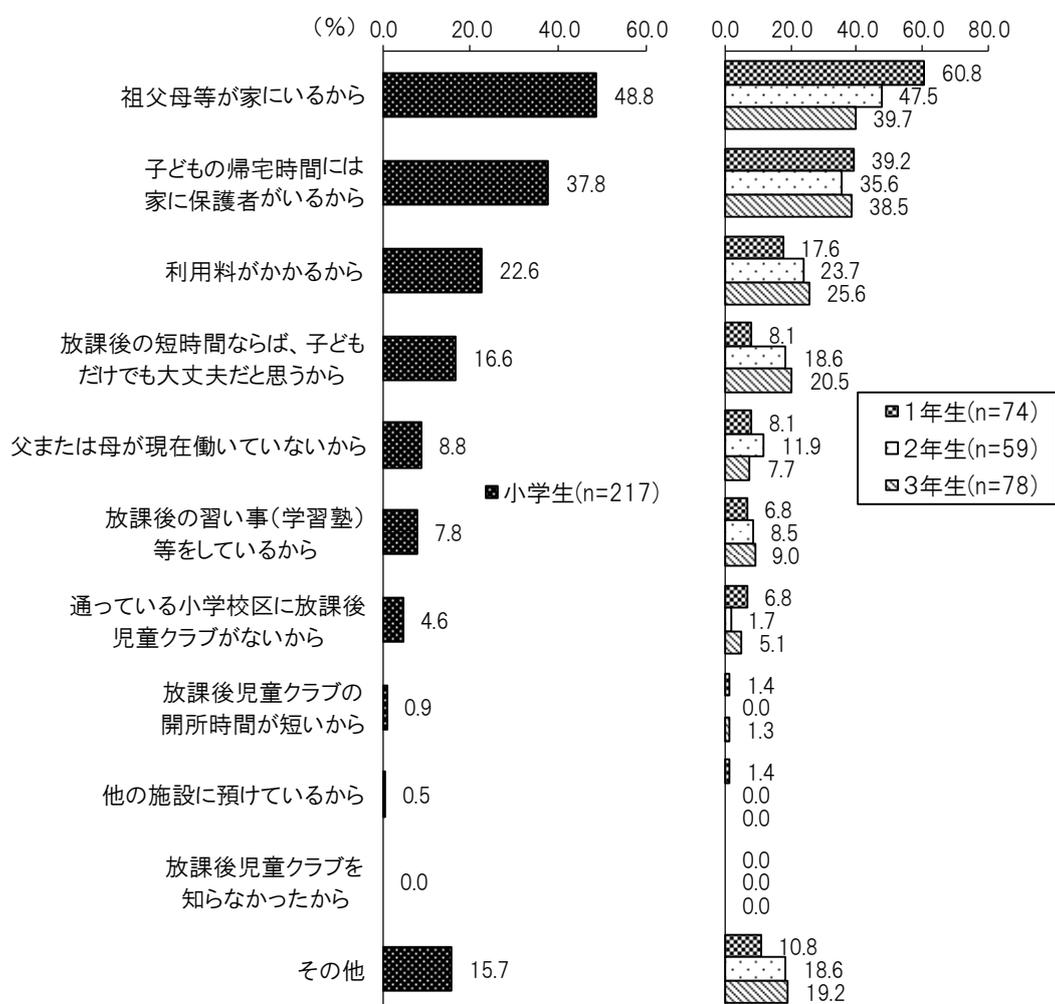
5 放課後児童クラブを利用していない理由

【放課後児童クラブを利用していない方におたずねします。】

小問 17 現在、放課後児童クラブを利用していないのは、どのような理由からですか。
(あてはまるものすべてに○)

放課後児童クラブを利用していない理由については、「祖父母等が家にいるから」の割合が48.8%と最も高く、次いで「子どもの帰宅時間には家に保護者がいるから」(37.8%)、「利用料がかかるから」(22.6%)、「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」(16.6%)の順となっている。また「その他」では、「兄や姉がいるから」「祖父母の所へ帰宅するから」「定員いっぱい利用できなかったから」などの回答がみられた。

学年別では、1年生で「祖父母等が家にいるから」、2年生以上で「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合がそれぞれ高くなっている。



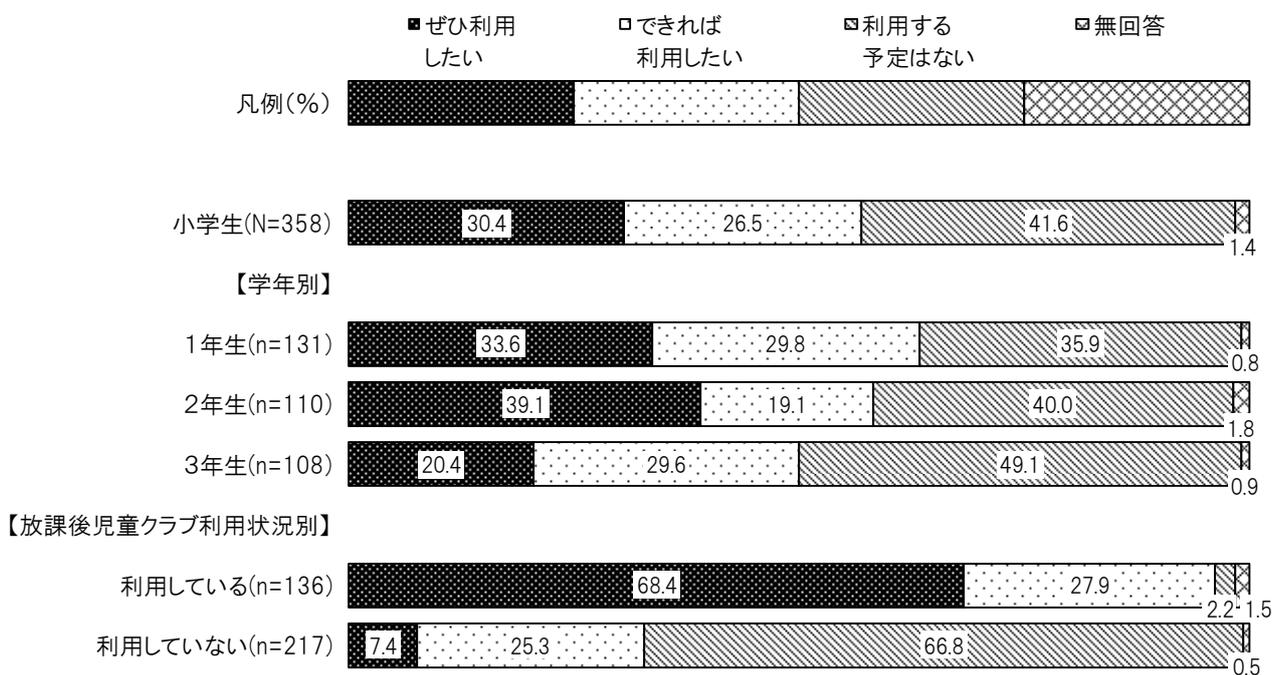
6 放課後児童クラブの利用意向

小問 18 お子さんについて、現在利用している、利用していないにかかわらず、今後、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。（○は1つ）

現在の利用にかかわらず、今後の放課後児童クラブの利用意向については、「ぜひ利用したい」が30.4%、「できれば利用したい」が26.5%、合計で56.9%が利用意向を示している。

学年別では、3年生で「利用する予定はない」の割合が高くなっている。

放課後児童クラブ利用状況別（小問 13）でみると、現在利用していない層の利用意向は3割以上となっている。

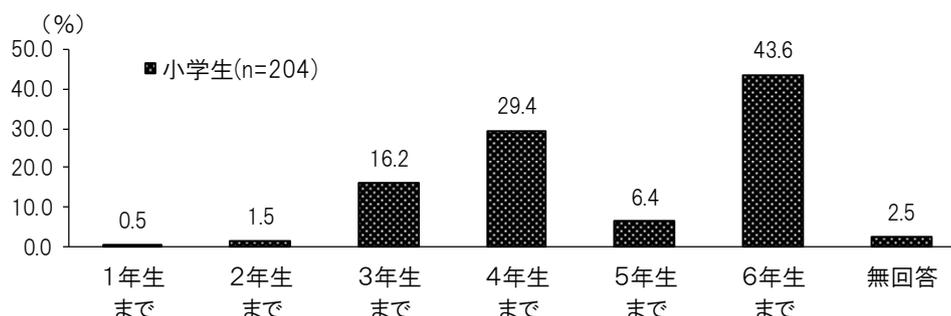


7 放課後児童クラブを利用したい学年

【放課後児童クラブを利用したいと回答した方におたずねします。】

小問 19 放課後児童クラブを何年生まで利用したいと思いますか。（○は1つ）

放課後児童クラブを利用したい学年については、「6年生まで」の割合が43.6%と最も高く、次いで「4年生まで」（29.4%）、「3年生まで」（16.2%）の順となっている。

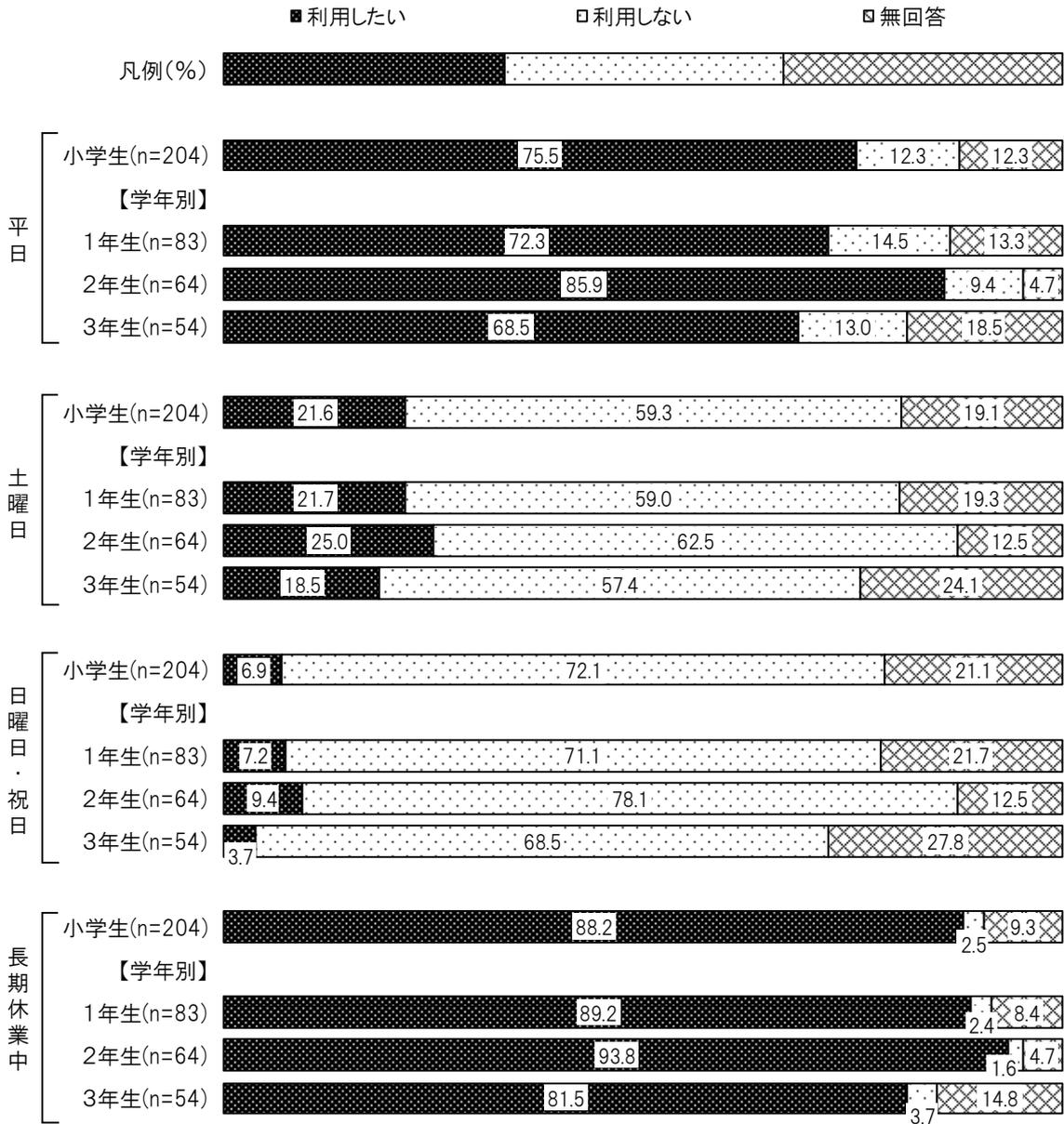


8 平日・土・日・祝日や長期休業中などの利用意向

【放課後児童クラブを利用したいと回答した方におたずねします。】

小問 20 今後の希望として、どの程度利用したいですか。(○は1つずつ)

平日・土・日・祝日や長期休業中などの利用意向については、大半が平日や長期休業中の利用を希望しており、土曜日の利用意向は21.6%、日曜日・祝日は6.9%となっている。



【利用希望日数・時間帯】

	週（月）に何日程度				利用時間帯	
	件数(n=)	平均	最小値	最大値	何時から	何時まで
平日の利用 （週に）	152	4.4	1.0	5.0	下校時から	16時台 1.3% 17時台 29.9% 18時台 59.1% 19時台 7.1% 20時以降 0.6%
土曜日の利用 （月に）	41	2.2	1.0	4.0	～7時台 20.5% 8時台 59.1% 9時台 11.4% 10時台 2.3%	12時台 2.3% 13時台 6.8% 14時台 4.5% 15時台 2.3% 16時台 9.1% 17時台 25.0% 18時台 38.6% 19時台 2.3% 20時以降 2.3%
日曜日・祝日の利用 （月に）	12	1.9	1.0	4.0	～7時台 14.3% 8時台 50.0% 9時台 14.3% 10時台 7.1%	12時台 14.3% 14時台 7.1% 15時台 7.1% 16時台 7.1% 17時台 28.6% 18時台 14.3% 20時以降 7.1%
長期休業中の利用 （月に）	155	14.7	1.0	31.0	～7時台 32.2% 8時台 52.8% 9時台 6.7% 10時台 0.6% 13時台 1.1%	12時台 0.6% 13時台 1.7% 14時台 1.1% 15時台 1.7% 16時台 6.7% 17時台 32.8% 18時台 45.6% 19時台 2.8% 20時以降 0.6%

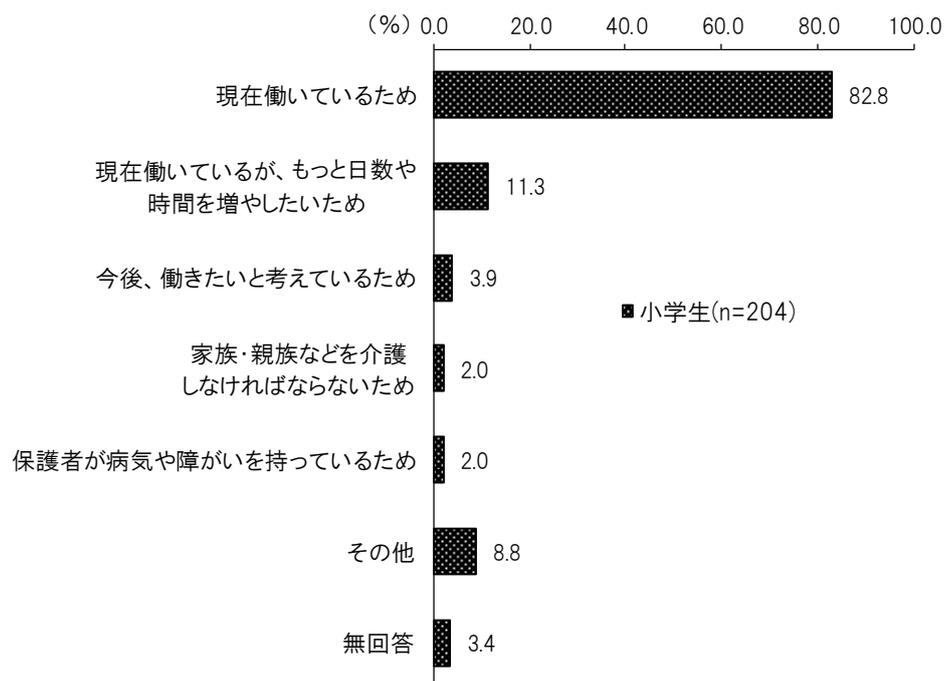
9 放課後児童クラブを利用したい理由

【放課後児童クラブを利用したいと回答した方におたずねします。】

小問 21 今後、放課後児童クラブを利用したいのは、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

放課後児童クラブを利用したい理由については、「現在働いているため」の割合が82.8%と突出して最も高く、次いで「現在働いているが、もっと日数や時間を増やしたいため」(11.3%)が続いている。



【7】 病気の時の対応について

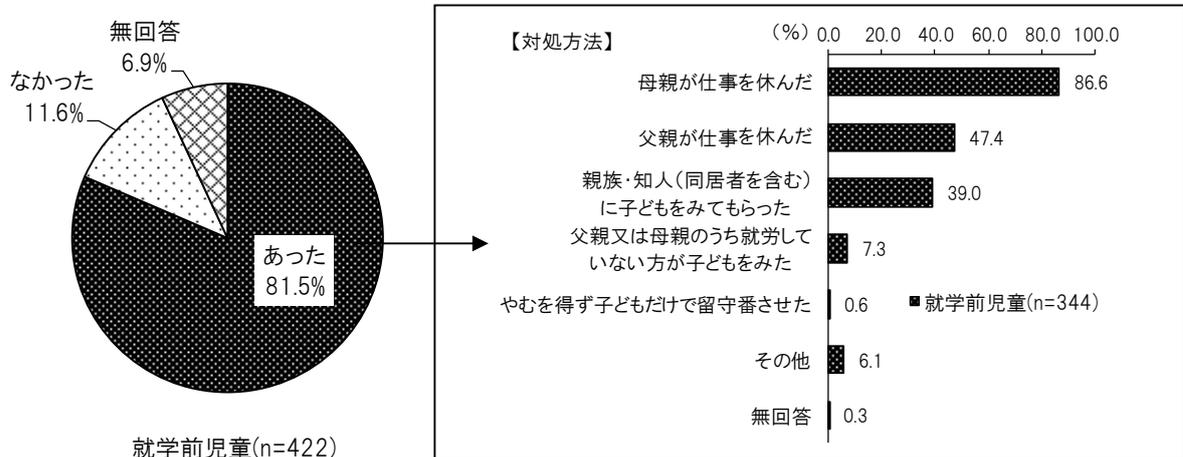
1 就学前児童の病気の時の対応について

【保育所や認定こども園などの施設やサービスを利用している方におたずねします。】

就問 30 最近1年間に、お子さんが病気やケガで保育所や認定こども園などを利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

就問 31 お子さんが、病気やケガで保育所や認定こども園などを利用できなかった時、どのように対処されましたか。また、その時の日数は何日くらいでしたか。(あてはまるものすべてに○)

最近1年間に、病気やケガで保育所や認定こども園などを利用できなかった割合は約8割(81.5%)を占めている。その時の対処方法として、8割以上(86.6%)が「母親が仕事を休んだ」と回答している。



【対処方法別日数】

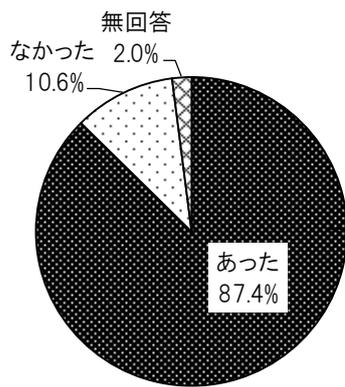
単位(日)	年当たりの日数			
	件数(n=)	平均	最小値	最大値
母親が仕事を休んだ	279	7.2	1.0	70.0
父親が仕事を休んだ	154	4.0	1.0	30.0
親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	124	4.2	1.0	30.0
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	23	8.5	1.0	40.0
やむを得ず子どもだけで留守番させた	2	2.5	2.0	3.0
その他	17	3.2	1.0	10.0

2 小学生の病気の時の対応について

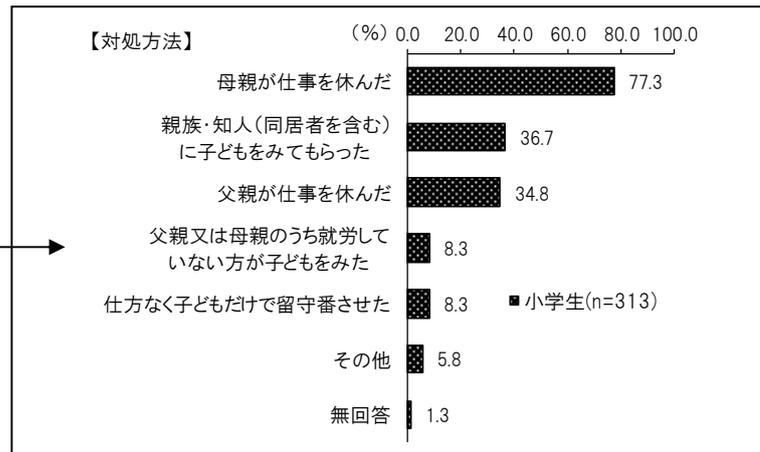
小問 22 最近1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)

小問 23 その時、どのように対処されましたか。(あてはまるものすべてに○)

最近1年間、病気やケガで子どもが学校を休んだ割合は9割近く(87.4%)を占めている。その時の対処方法として、8割近く(77.3%)が「母親が仕事を休んだ」と回答している。



小学生(N=358)



【学校を休んだ日数】

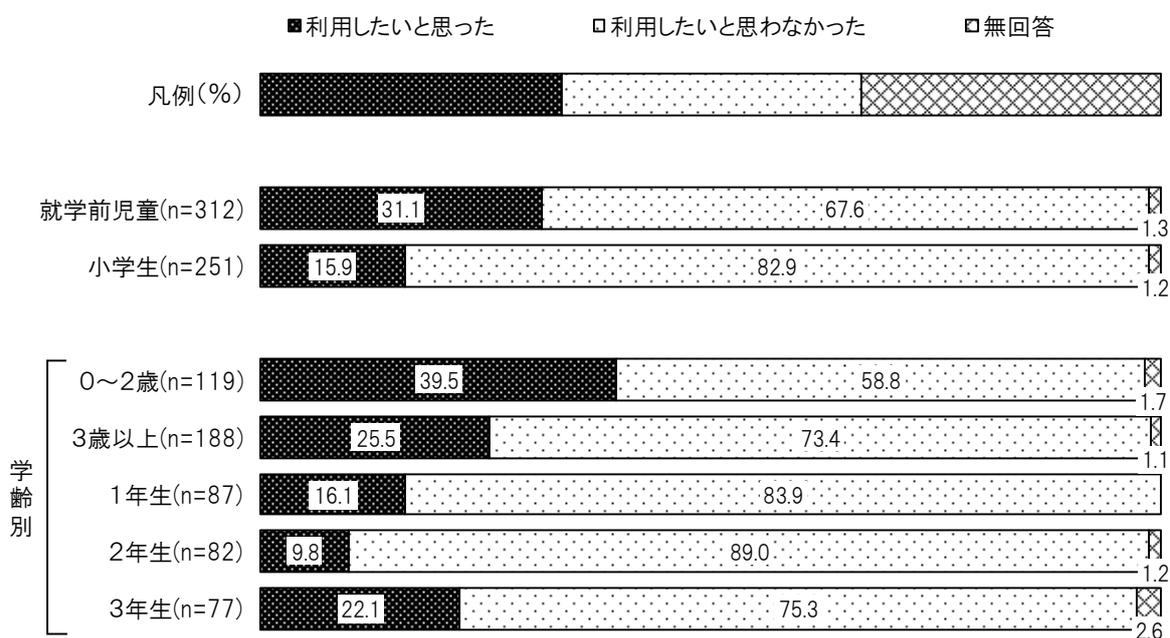
単位(日)		年当たりの日数			
		件数(n=)	平均	最小値	最大値
あった	小学生	303	6.7	1.0	60.0

3 病児・病後児のための保育施設等の利用意向

【保育所や認定こども園、学校等を休むことがあったと回答した方におたずねします。】
 就問 32 (小問 24) 保護者が仕事を休んだとき、『病児・病後児のための保育施設等』
 を利用したいと思いましたか。(○は1つ)

病児・病後児のための保育施設等を「利用したいと思った」の割合は、就学前児童で31.1%、小学生で15.9%となっている。

学齢別では、0～2歳で「利用したいと思った」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



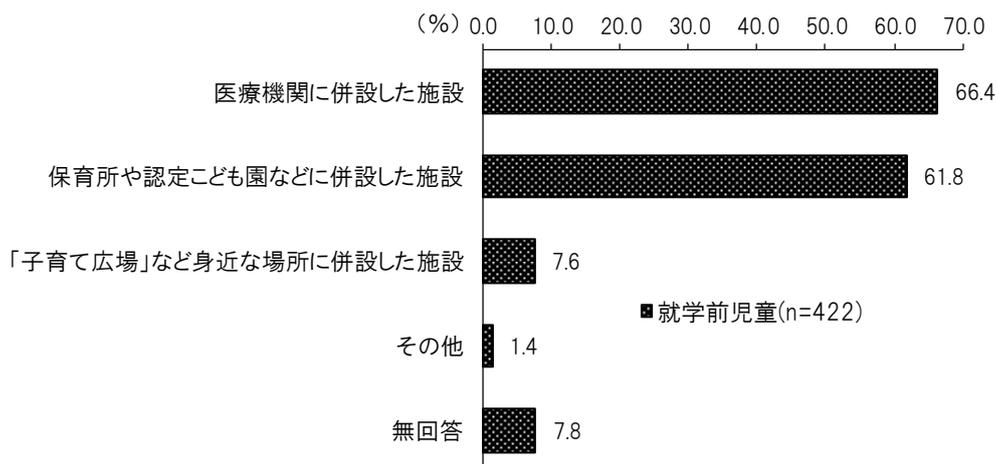
【利用希望日数】

単位(日)		年に何日程度			
		件数(n=)	平均	最小値	最大値
利用したいと思った	就学前児童	90	4.4	1.0	30.0
	小学生	38	4.8	1.0	20.0

4 病児・病後児のための保育施設等に預ける場合に希望する事業形態

就問 33 お子さんが病気やケガの時、病児・病後児のための保育施設等に預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

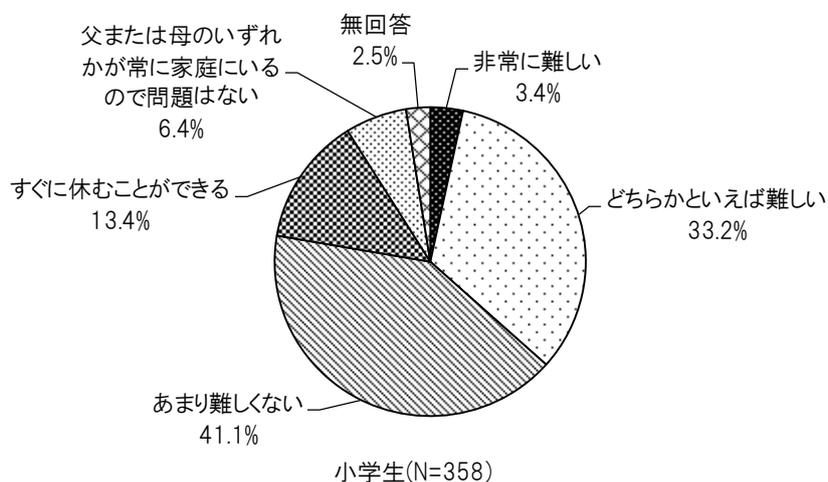
病児・病後児のための保育施設等に預ける場合に希望する事業形態については、「医療機関に併設した施設」の割合が66.4%と最も高く、ほぼ並んで「保育所や認定こども園などに併設した施設」（61.8%）が続いている。



5 子どもが病気やケガの時、仕事を休むことの難易度

小問 25 お子さんが病気やケガの時、保護者が仕事を休むことは難しいですか。（○は1つ）

子どもが病気やケガの時、仕事を休むことの難易度については、「非常に難しい」が3.4%、「どちらかといえば難しい」が33.2%、合計で36.6%が『難しい』と回答している。

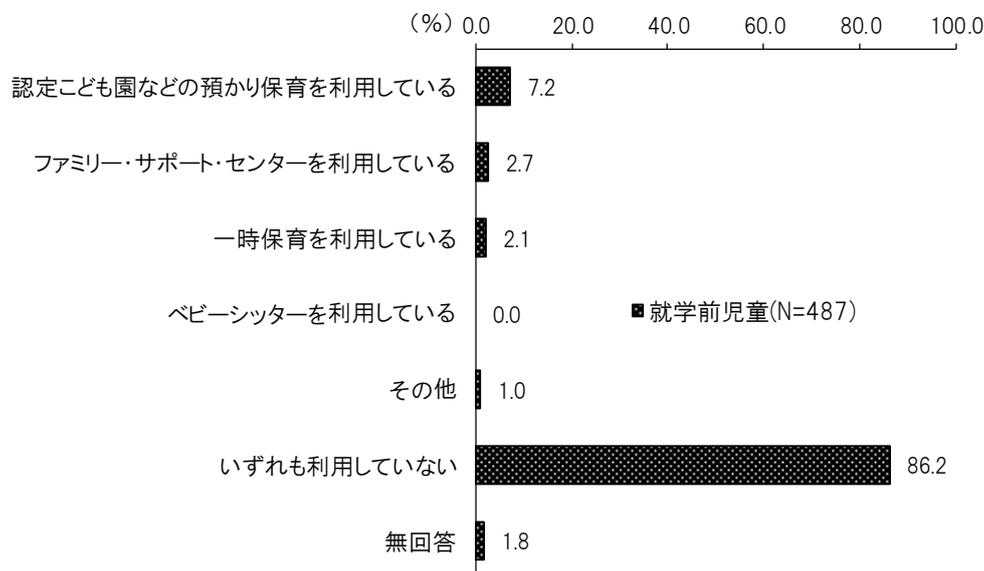


【8】一時預かりなどについて

1 一時預かりなどの利用状況

就問 34 保護者の私用や通院、突発的な仕事や冠婚葬祭などの理由で、お子さんを、一時的にどこかに預けなければならない場合、一時的に預かってもらえるサービスなどを利用していますか。利用している場合、その時の日数は1年間でおよそ何日くらいですか。（あてはまるものすべてに○）

保護者の私用や通院、突発的な仕事や冠婚葬祭などの理由で、子どもを一時的に預けなければならない場合、「認定こども園などの預かり保育を利用している」の割合が7.2%となっているが、大半（86.2%）が「いずれも利用していない」と回答している。



【利用日数】

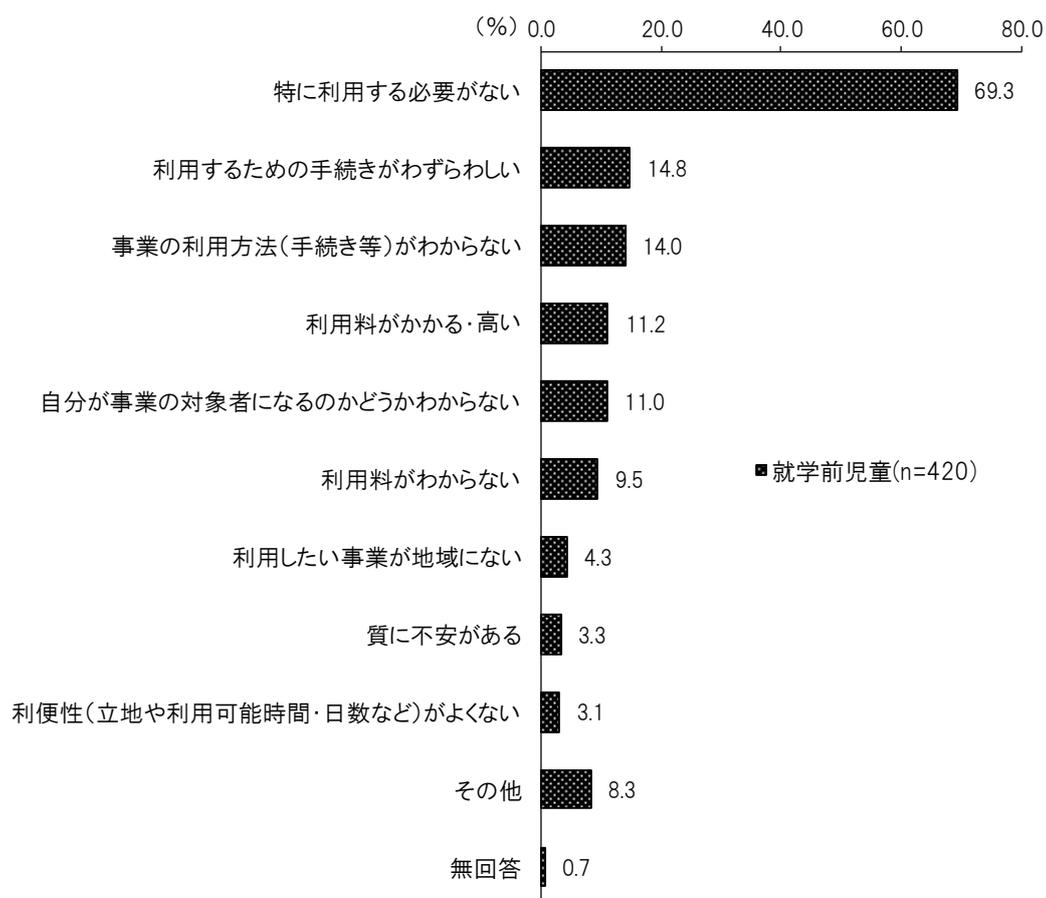
単位（日）	年当たりの日数			
	件数(n=)	平均	最小値	最大値
認定こども園などの預かり保育	28	11.4	1.0	200.0
ファミリー・サポート・センター	13	7.2	1.0	30.0
一時保育	9	17.9	2.0	96.0
ベビーシッター	0	-	-	-
その他	5	6.2	2.0	10.0

2 一時預かりなどを利用していない理由

【一時預かりなどを利用していないと回答した方におたずねします。】

就問 35 現在利用していない理由を回答してください。（あてはまるものすべてに○）

一時預かりなどを利用していない理由については、「特に利用する必要がない」の割合が69.3%と突出して最も高く、次いで「利用するための手続きがわずらわしい」(14.8%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(14.0%)、「利用料がかかる・高い」(11.2%)、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」(11.0%)が続いている。



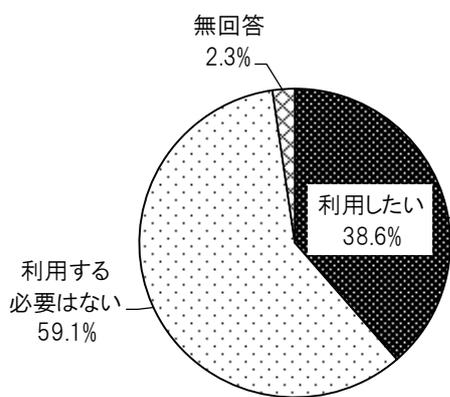
3 一時預かり事業の利用意向

就問 36 今後、お子さんを一時的に預かってもらえる事業を利用したいと思いますか。
(○は1つ)

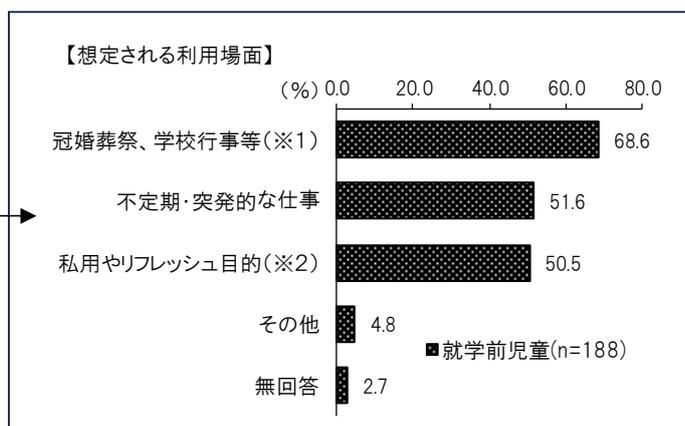
【一時預かり保育等の事業を利用したいと回答した方におたずねします。】

就問 37 一時的に預かってもらえる事業の利用には、どのような場面が想定されますか。
また、その時の日数は何日くらいと想定されますか。
(あてはまるものすべてに○)

一時預かり事業の利用意向は4割近く(38.6%)みられ、想定される利用場面としては「冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等」の割合が68.6%と最も高く、次いで「不定期、突発的な仕事」(51.6%)、「私用(買物、子どもや親の習い事等)やりフレッシュ目的」(50.5%)の順となっている。



就学前児童(N=487)



※1：冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等

※2：私用(買物、子どもや親の習い事等)やりフレッシュ目的

【利用場面別日数】

単位(日)	年当たり日数			
	件数(n=)	平均	最小値	最大値
冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等	119	7.2	1.0	200.0
不定期・突発的な仕事	91	6.7	1.0	120.0
私用(買物、子どもや親の習い事等)やりフレッシュ目的	86	9.3	1.0	200.0
その他	7	36.0	1.0	210.0

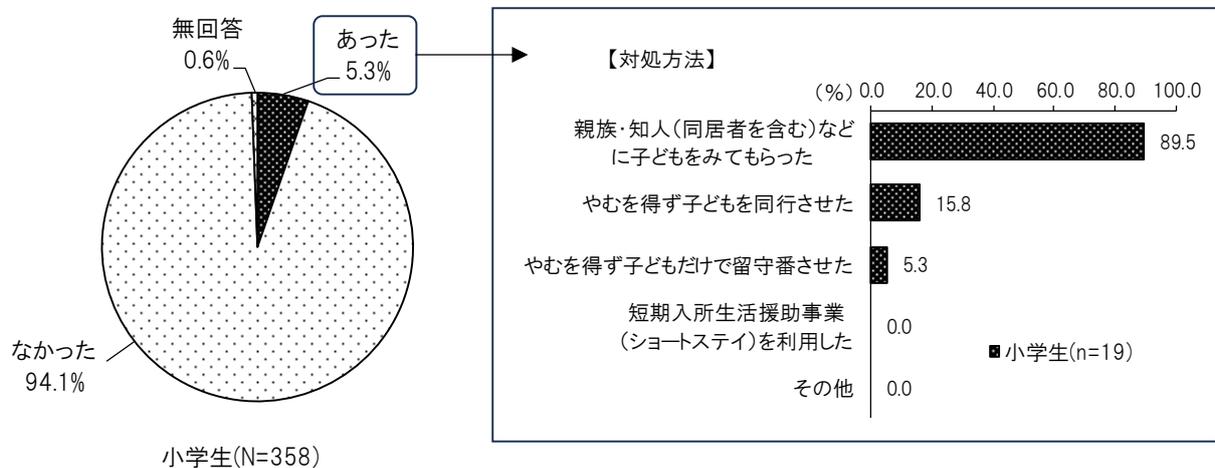
4 小学生の宿泊をともなう一時預かりの利用状況

小問 26 最近1年間に、私用や冠婚葬祭、保護者の通院や突発的な仕事などの理由で、お子さんを「泊まりがけ」で家族以外の人にみてもらわなければならないことがありましたか。(○は1つ)

【宿泊をともなう一時預かりを利用したと回答した方におたずねします。】

小問 27 その時、どのように対処されましたか。(あてはまるものすべてに○)

最近1年間に、保護者の私用や冠婚葬祭、通院や突発的な仕事などの理由で、泊まりがけで家族以外の人にみてもらわなければならないことがあった割合は5.3%となっており、その大半(89.5%)が「親族・知人(同居者を含む)などに子どもをみてもらった」と回答している。

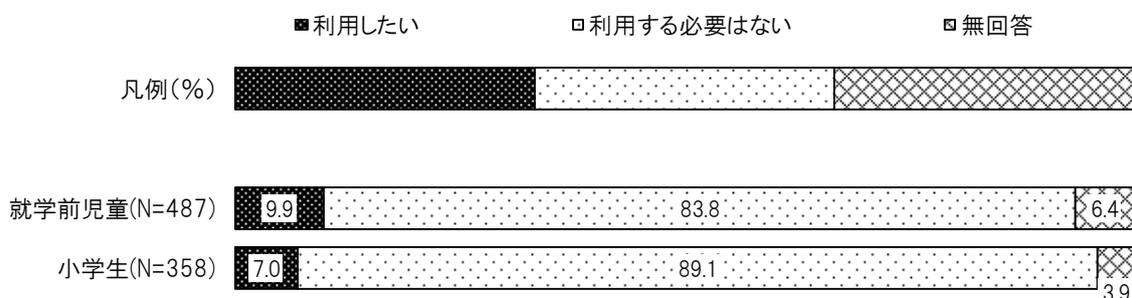


5 短期入所生活援助事業の利用意向

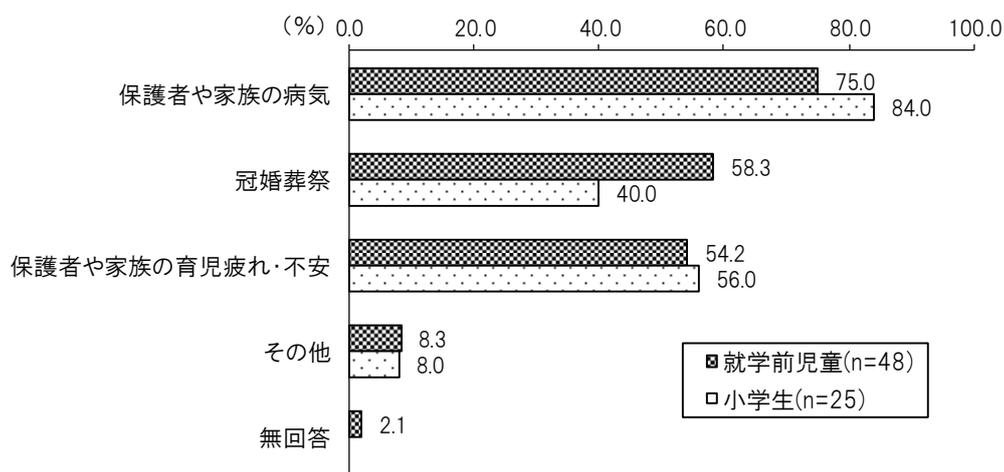
就問 38 (小問 28) 保護者の私用(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気等)により、あて名のお子さんを泊まりがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無についてお伺いします。利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□内に数字でご記入ください。(○はあてはまるものすべて)

短期入所生活援助事業を「利用したい」の割合は、就学前児童で9.9%、小学生で7.0%となっている。

利用したい状況については、就学前児童で「冠婚葬祭」、小学生で「保護者や家族の病気」の割合がそれぞれ高くなっている。



【利用したい状況】



【利用したい泊数(合計)】

単位(泊)	件数(n=)	平均	最小値	最大値
就学前児童	46	9.9	1.0	41.0
小学生	25	8.9	1.0	40.0

【9】就学前児童の小学校入学後の放課後の過ごし方について

1 小学校入学後に希望する放課後の過ごし方

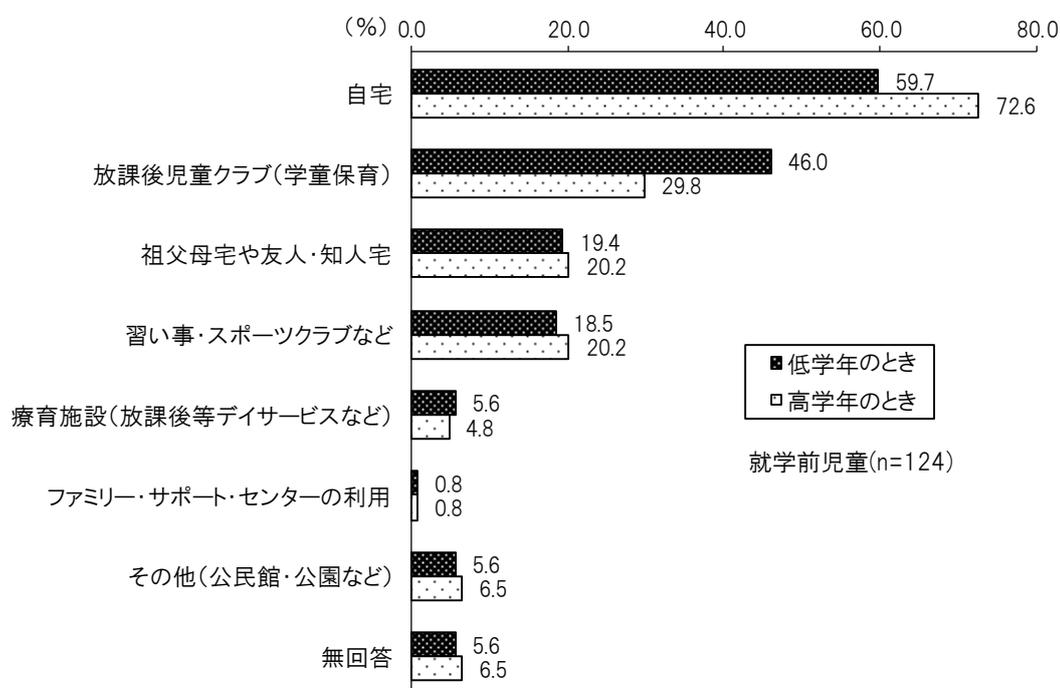
【現在、お子さんの年齢が5歳以上の方におたずねします。】

就問 39 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（おおむね16時以降）の時間を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

就問 40 その後、小学校高学年（4～6年生）になった場合はいかがですか。現在お持ちのイメージでお答えください。（あてはまるものすべてに○）

就学前児童の小学校入学後の放課後の過ごし方について、低学年（1～3年生）のときでは「自宅」（59.7%）に次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（46.0%）の割合が高く、高学年（4～6年生）のときでは「自宅」（72.6%）が突出して高くなっている。



【小学校低学年時に過ごさせたい場所】

単位（日）	週当たりの日数				下校時から何時まで
	件数(n=)	平均	最小値	最大値	
自宅	61	4.1	1.0	7.0	-
放課後児童クラブ（学童保育）	52	4.2	1.0	6.0	16時台 1.8% 17時台 42.1% 18時台 43.9% 19時台 1.8%
祖父母宅や友人・知人宅	21	3.7	1.0	5.0	-
習い事・スポーツクラブなど	20	1.4	1.0	2.0	-
療育施設（放課後等デイサービスなど）	4	2.5	1.0	5.0	-
ファミリー・サポート・センターの利用	1	1.0	1.0	1.0	-
その他（公民館・公園など）	4	3.0	1.0	5.0	-

【小学校高学年時に過ごさせたい場所】

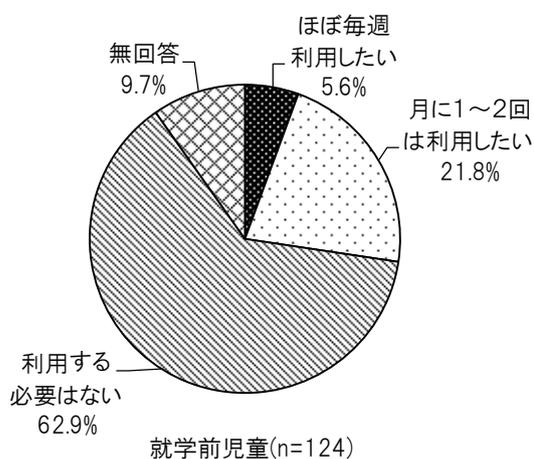
単位（日）	週当たりの日数				下校時から何時まで
	件数(n=)	平均	最小値	最大値	
自宅	71	4.3	1.0	7.0	-
放課後児童クラブ（学童保育）	34	4.1	1.0	6.0	17時台 37.8% 18時台 48.6% 19時台 2.7%
祖父母宅や友人・知人宅	20	3.1	1.0	5.0	-
習い事・スポーツクラブなど	23	1.6	1.0	3.0	-
療育施設（放課後等デイサービスなど）	4	2.3	1.0	5.0	-
ファミリー・サポート・センターの利用	1	1.0	1.0	1.0	-
その他（公民館・公園など）	6	2.7	1.0	5.0	-

2 放課後児童クラブの利用意向

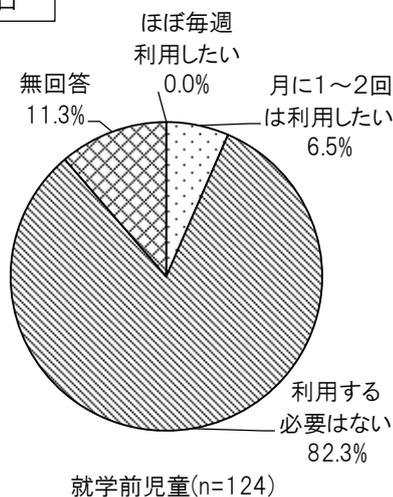
就問 41 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休みの期間中に、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと思いませんか。
 (○は1つずつ)

放課後児童クラブの土曜日・日曜日の利用意向（「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」の合計）は、土曜日が27.4%、日曜日が6.5%となっており、祝日の利用意向（「ほぼ毎回利用したい」「年に数回は利用したい」の合計）は12.1%となっている。また、長期休業中については、過半数（55.6%）が「ほぼ毎日利用したい」と回答している。

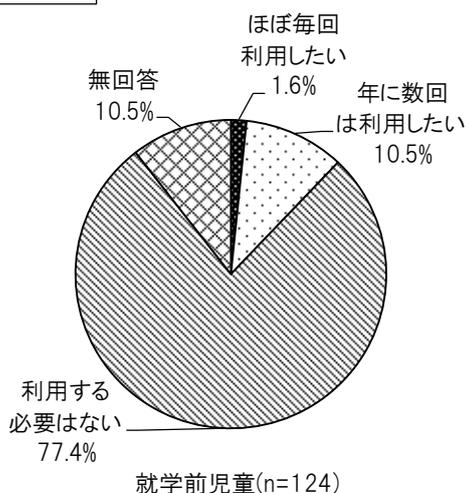
土曜日



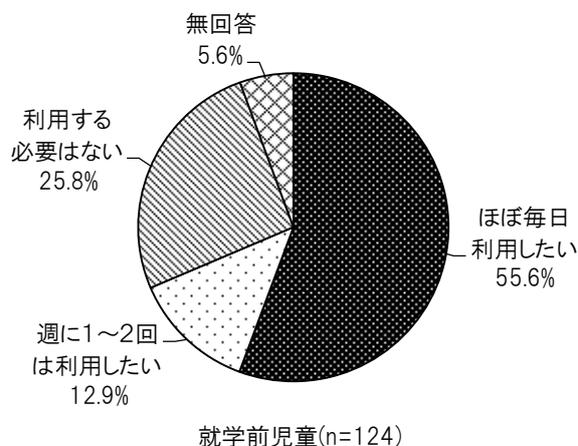
日曜日



祝日



長期休業中



【利用希望時間帯】

	件数(n=)	利用したい時間帯			
		開始時間		終了時間	
土曜日	34	～7時台	32.4%	12時台	2.9%
		8時台	41.2%	14時台	5.9%
		9時台	14.7%	16時台	5.9%
		13時台	2.9%	17時台	47.1%
				18時台	29.4%
日曜日	8	～7時台	12.5%	14時台	12.5%
		8時台	50.0%	16時台	12.5%
		9時台	37.5%	17時台	37.5%
				18時台	37.5%
祝日	15	～7時台	26.7%	14時台	6.7%
		8時台	40.0%	16時台	6.7%
		9時台	20.0%	17時台	40.0%
				18時台	33.3%
長期休業中	85	～7時台	28.2%	12時台	2.4%
		8時台	57.6%	14時台	2.4%
		9時台	8.2%	15時台	3.5%
				16時台	10.6%
				17時台	34.1%
				18時台	40.0%
				19時台	1.2%

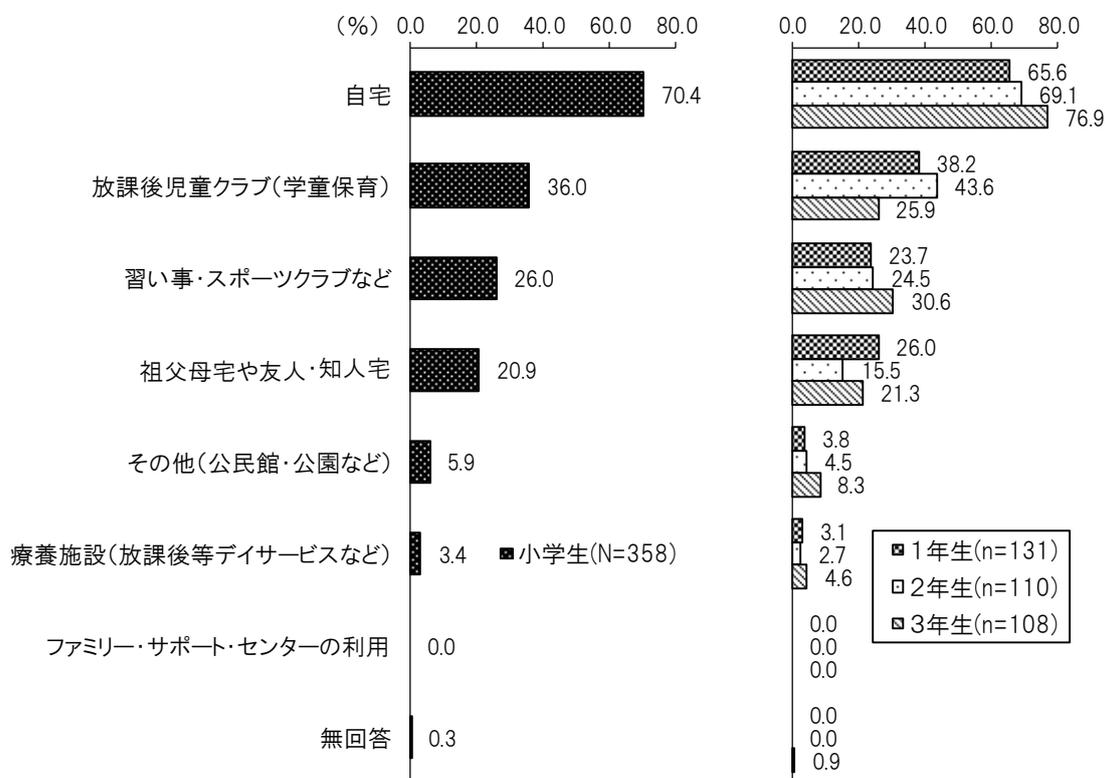
【10】小学生の放課後の過ごし方について

1 放課後の時間を過ごす場所

小問 29 お子さんは、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

放課後の時間を過ごす場所については、7割（70.4%）が「自宅」と回答しており、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（36.0%）、「習い事・スポーツクラブなど」（26.0%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（20.9%）の順となっている。

学年別では、2年生以下で「放課後児童クラブ（学童保育）」、3年生で「自宅」の割合がそれぞれ高くなっている。



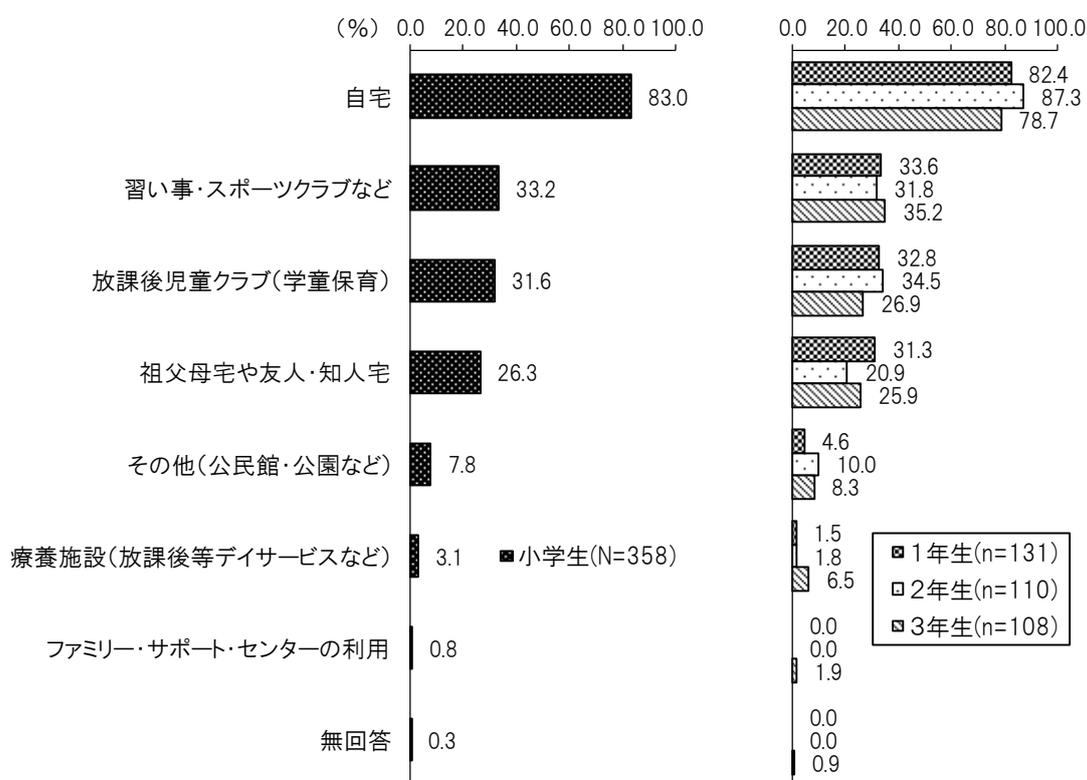
2 放課後の時間を過ごさせたい場所

【お子さんが4年生以上になった時のことについておうかがいします。】

小問 30 4年生以上になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

4年生以上になった時に放課後の時間を過ごさせたい場所については、大半（83.0%）が「自宅」と回答しており、次いで「習い事・スポーツクラブなど」（33.2%）、「放課後児童クラブ（学童保育）」（31.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（26.3%）の順となっている。

学年別では、1年生で「祖父母宅や友人・知人宅」の割合がやや高くなっている。



【11】 育児休業について

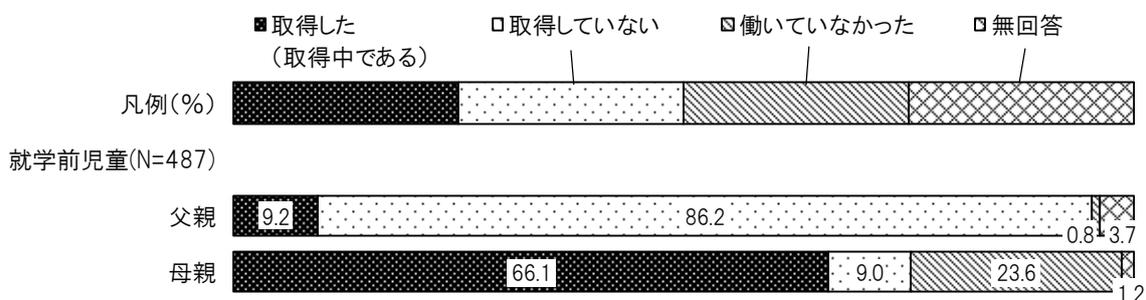
1 育児休業取得状況

就問 42 お子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。

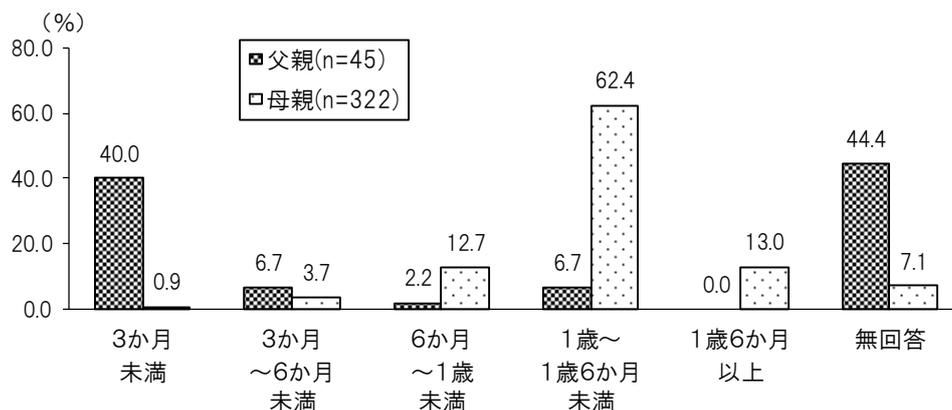
就問 45 お子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。(○は1つ)

母親が育児休業を「取得した(取得中である)」の割合は6割以上(66.1%)を占めるが、父親の育児休業取得率は9.2%となっている。

母親の育児休業取得期間は、「1歳～1歳6か月未満」が62.4%と最も高く、次いで「1歳6か月以上」(13.0%)、「6か月～1歳未満」(12.7%)が続いている。一方、父親の育児休業取得期間は、「3か月未満」が4割を占めている。



【育児休業取得期間】

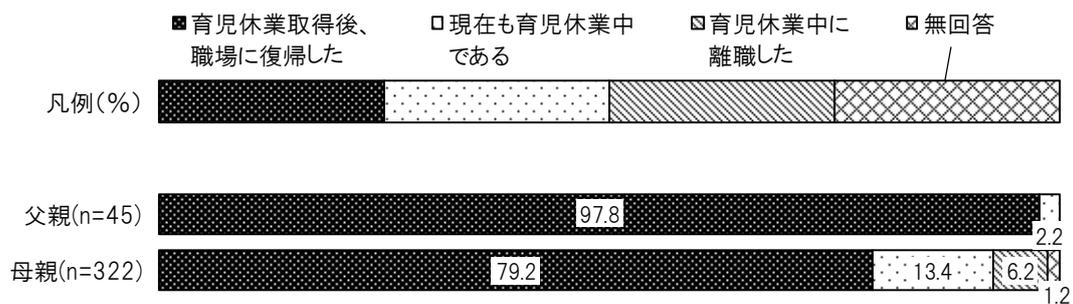


2 育児休業取得後の職場復帰状況

【育児休業を取得した方におたずねします。】

就問 43（就問 46） 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つ）

育児休業取得後の職場復帰状況については、父親はほぼ全員（97.8%）、母親で8割近く（79.2%）が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答している。



3 育児休業を取得しなかった理由

【育児休業を取得していないと回答した方におたずねします。】

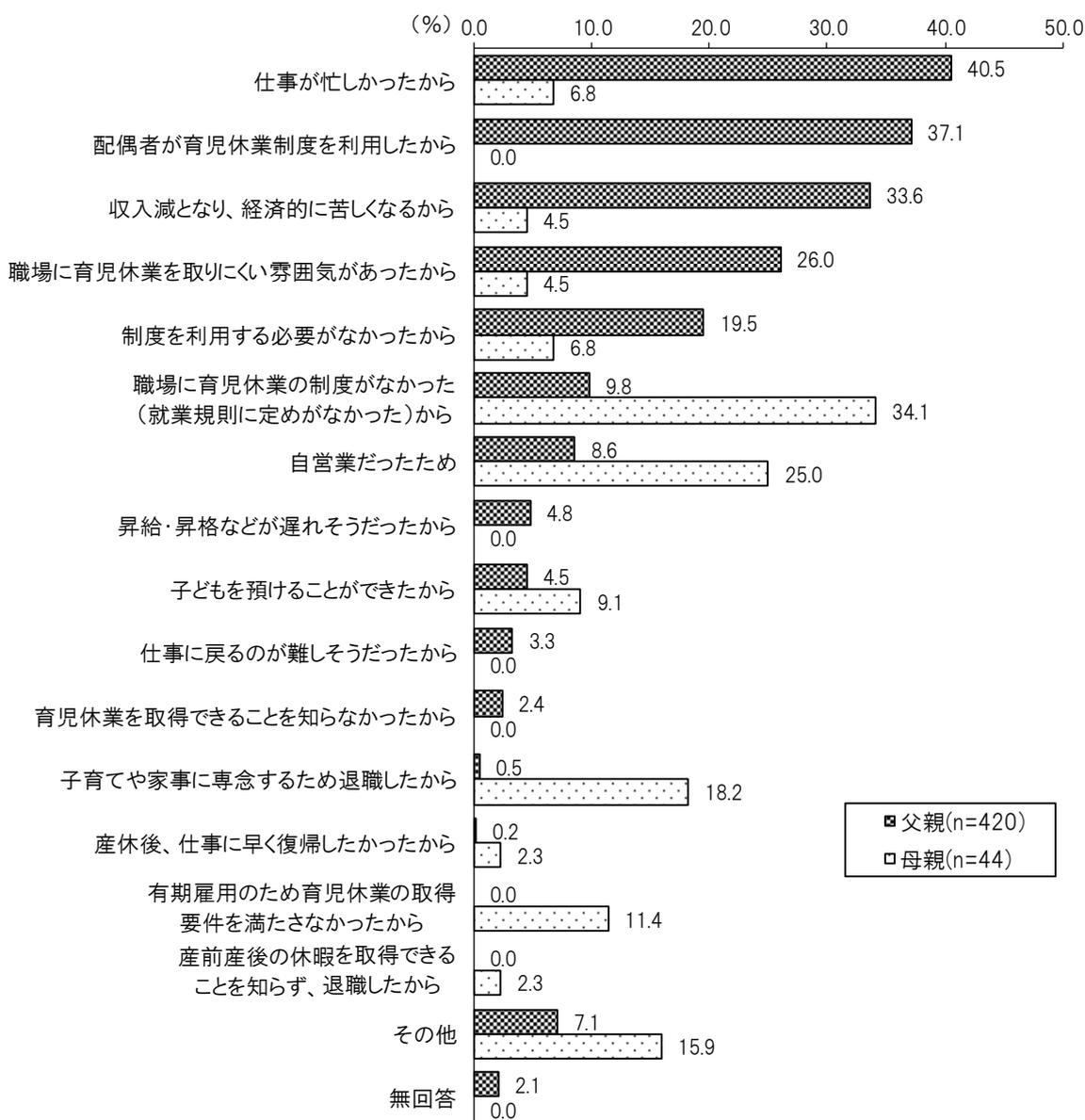
就問 44 父親が育児休業を取得しなかったのは、どのような理由からですか。

就問 47 母親が育児休業を取得しなかったのは、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

育児休業を取得しなかった理由について、父親は「仕事が忙しかったから」の割合が40.5%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用したから」(37.1%)、「収入減となり、経済的に苦しくなるから」(33.6%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから」(26.0%)の順となっている。

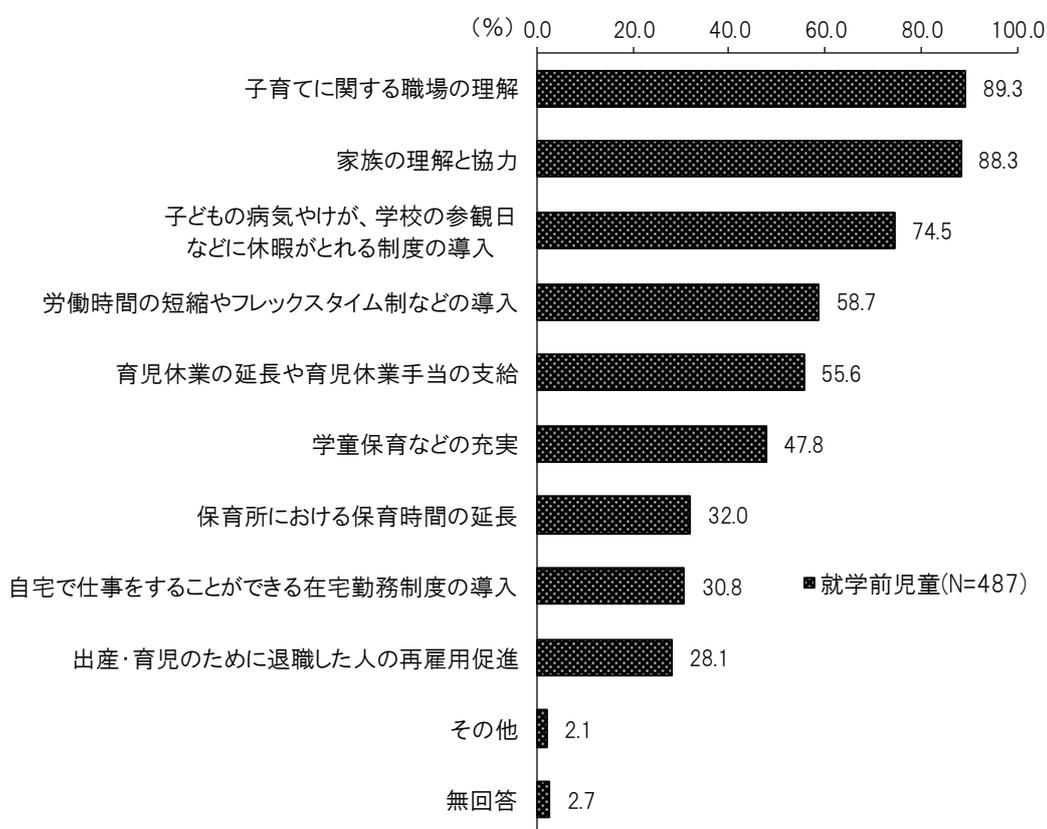
一方、母親は「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)から」の割合が34.1%と最も高く、次いで「自営業だったため」(25.0%)、「子育てや家事に専念するため退職したから」(18.2%)が続いている。



4 仕事と子育てを両立させるために必要なこと

就問 48 仕事と子育てを両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

仕事と子育てを両立させるために必要なことについては、「子育てに関する職場の理解」の割合が89.3%と最も高く、次いで「家族の理解と協力」(88.3%)、「子どもの病気やけが、学校の参観日などに休暇がとれる制度の導入」(74.5%)、「労働時間の短縮やフレックスタイム制などの導入」(58.7%)、「育児休業の延長や育児休業手当の支給」(55.6%)の順となっている。



【12】子育て全般について

1 妊娠・出産に関する新見市の情報提供や相談体制の満足度

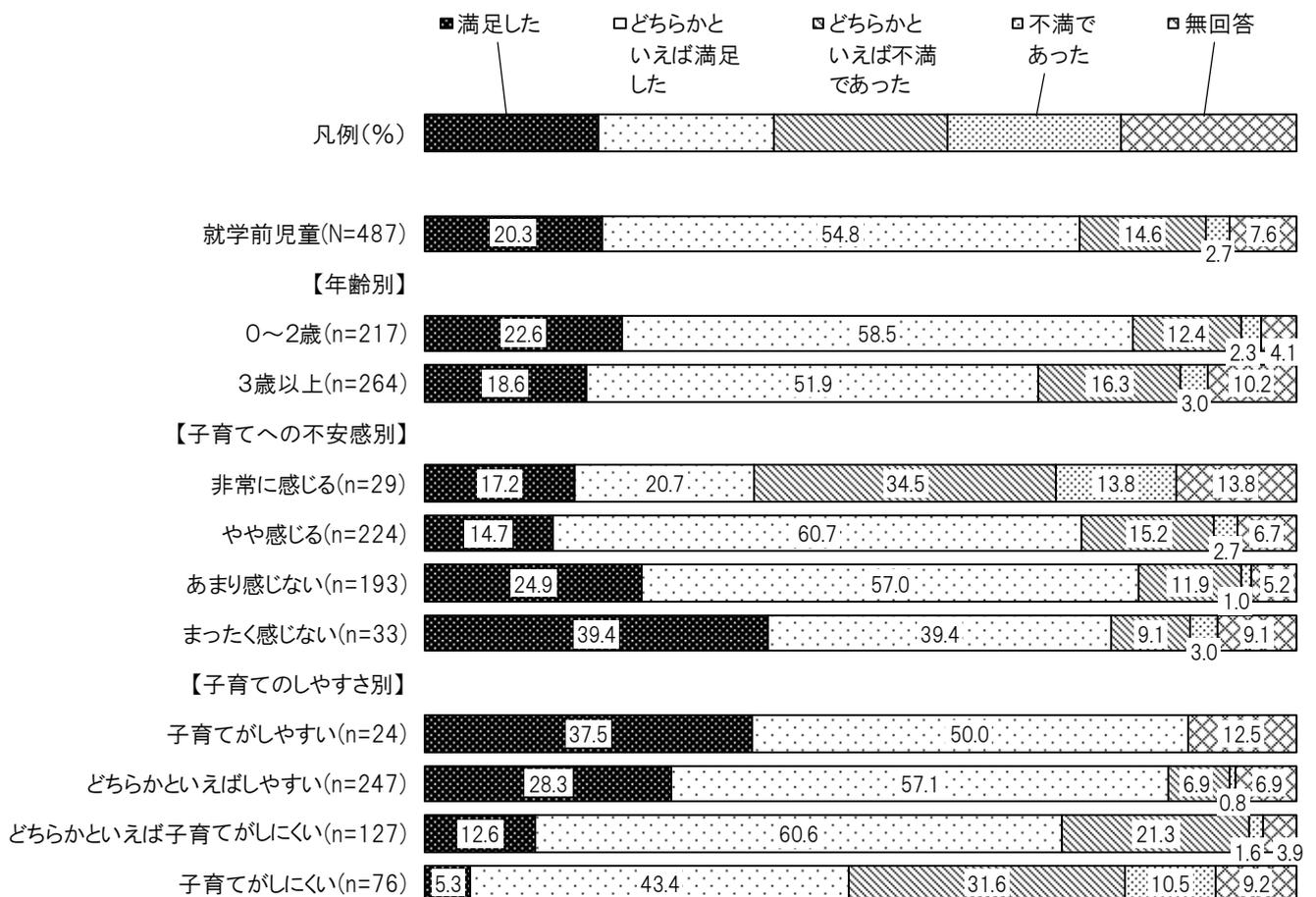
就問 49 お子さんの母親は、お子さんの妊娠中や出産の際に新見市の情報提供や相談体制について満足されましたか。(〇は1つ)

妊娠・出産に関する新見市の情報提供や相談体制の満足度については、「満足」が20.3%、「どちらかといえば満足した」が54.8%、合計で75.1%が『満足』と回答している。

年齢別では、0～2歳で「どちらかといえば満足した」、3歳以上で「どちらかといえば不満であった」の割合がそれぞれ高くなっている。

子育てへの不安感別(就問 51)では、不安を非常に感じる層で「どちらかといえば不満であった」の割合が他の層に比べて高くなっている。

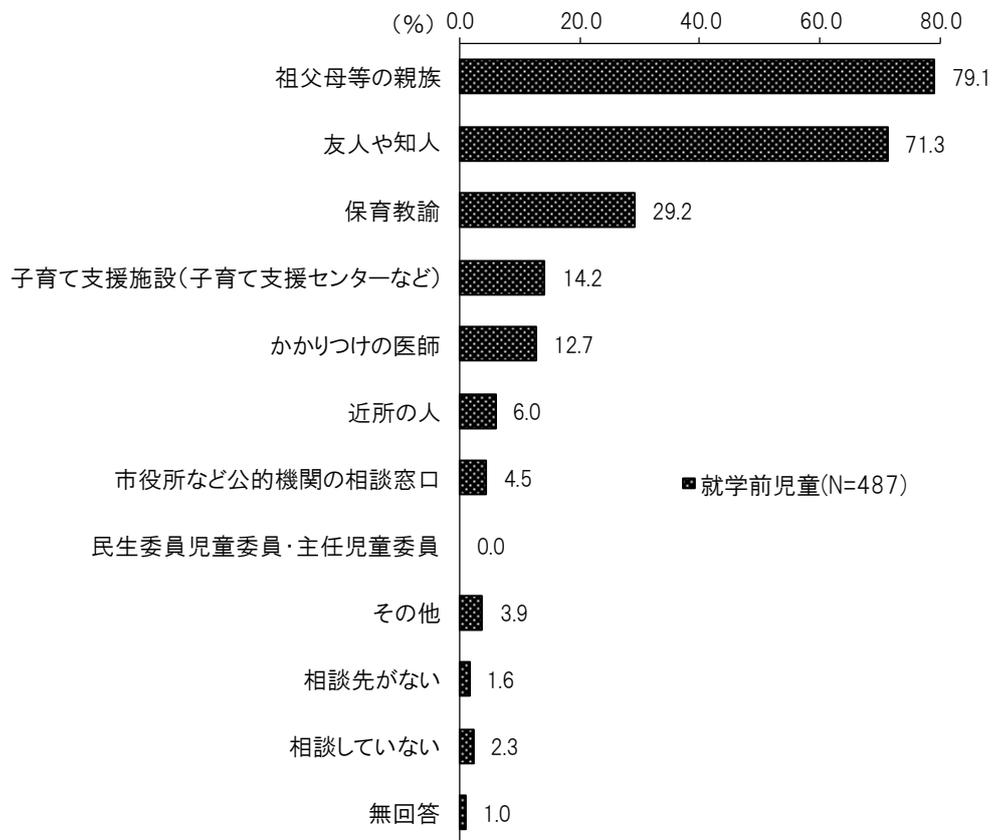
子育てのしやすさ別(就問 60)では、しやすいと感じる層ほど満足度が高い傾向にある。



2 就学前児童保護者の子育てに関する相談先

就問 50 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

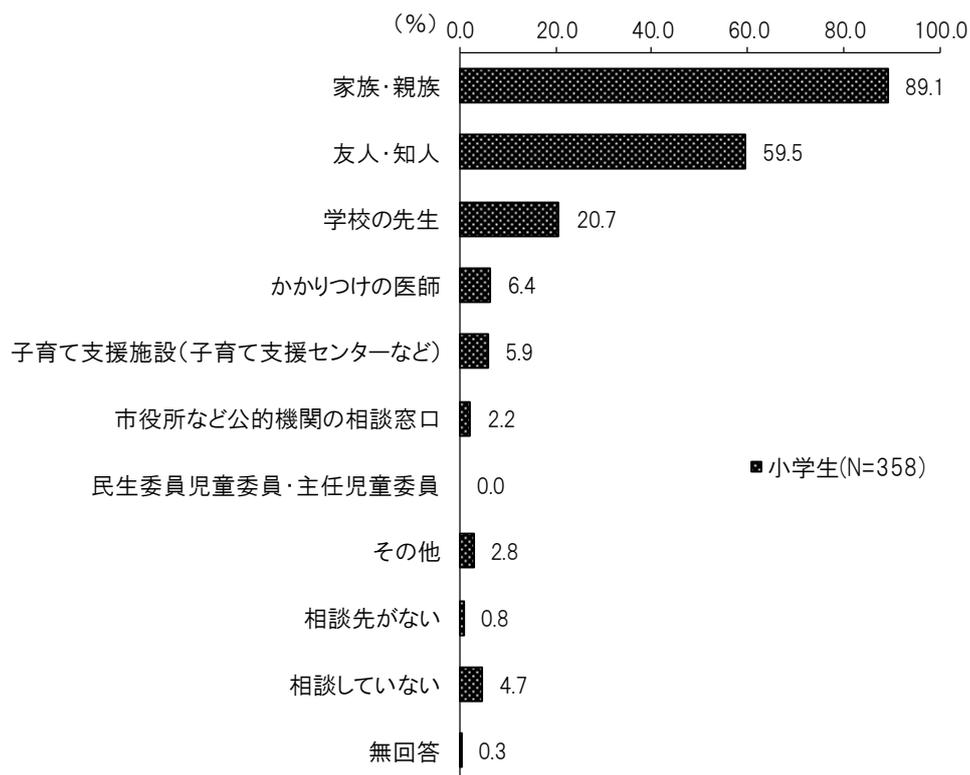
就学前児童保護者の子育てに関する相談先については、「祖父母等の親族」の割合が79.1%と最も高く、次いで「友人や知人」(71.3%)、「保育教諭」(29.2%)、「子育て支援施設(子育て支援センターなど)」(14.2%)、「かかりつけの医師」(12.7%)の順となっている。



3 小学生保護者の日常生活に関する相談先

小問 33 あなたの世帯では、日常生活のことで困っていることや悩みごとは、どこに（誰に）相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

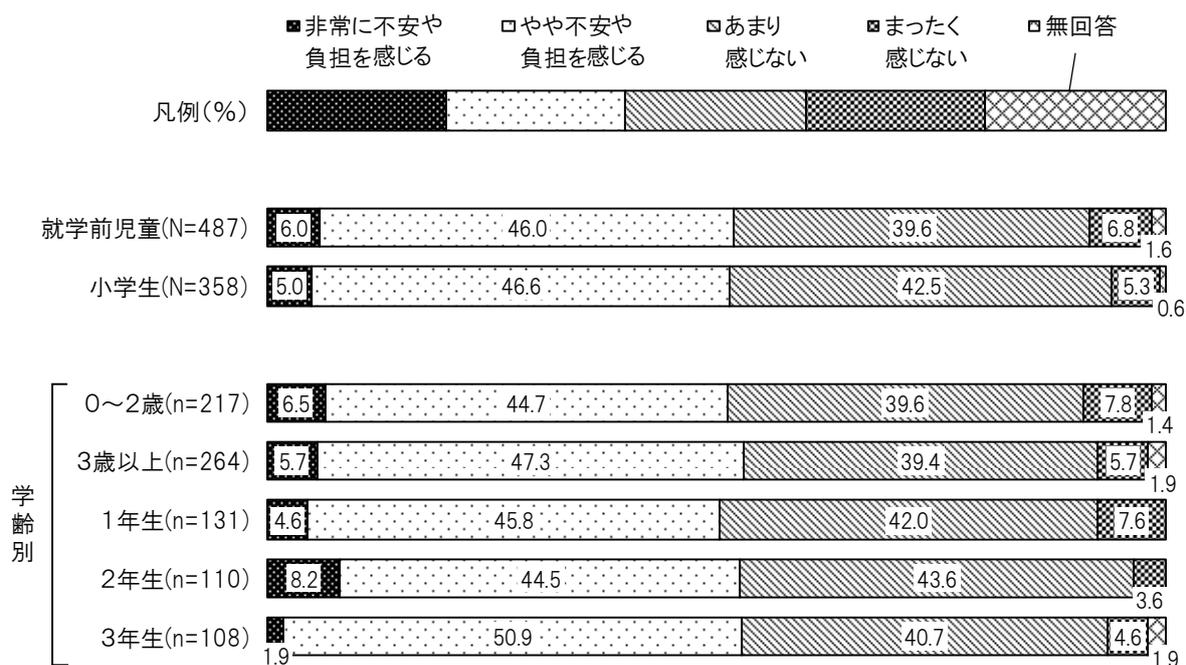
小学生保護者の日常生活に関する相談先については、「家族・親族」の割合が89.1%と最も高く、次いで「友人・知人」（59.5%）、「学校の先生」（20.7%）の順となっている。



4 子育てに関する不安や負担感

就問 51 (小問 31) 子育てに関して、不安や負担を感じることがありますか。
(○は1つ)

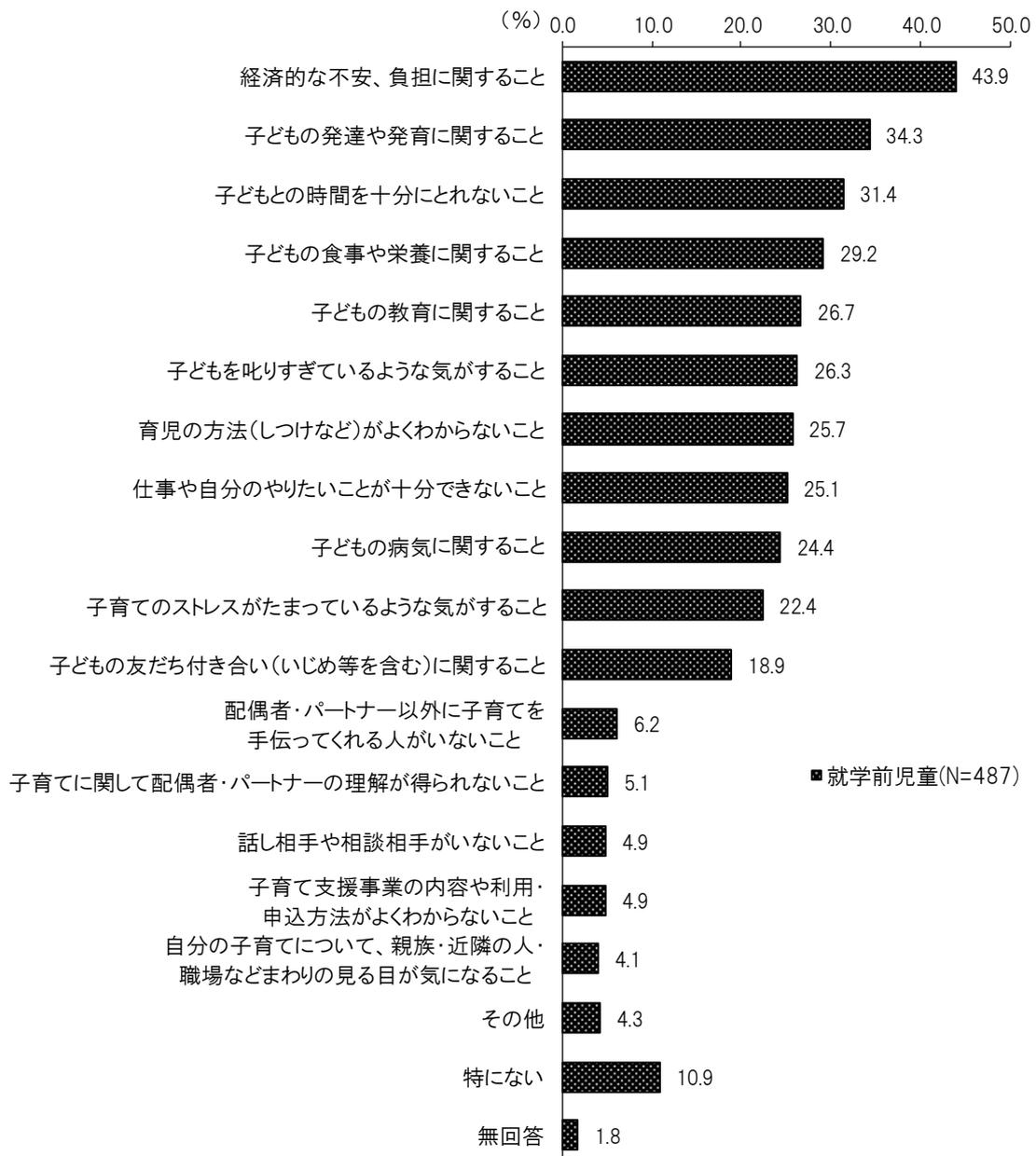
子育てに関して不安や負担を感じる割合(「非常に不安や負担を感じる」「やや不安や負担を感じる」の合計)は、就学前児童保護者で52.0%、小学生保護者で51.6%となっており、学齢別では大きな差はみられない。



5 就学前児童保護者の子育てに関する悩み

就問 52 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

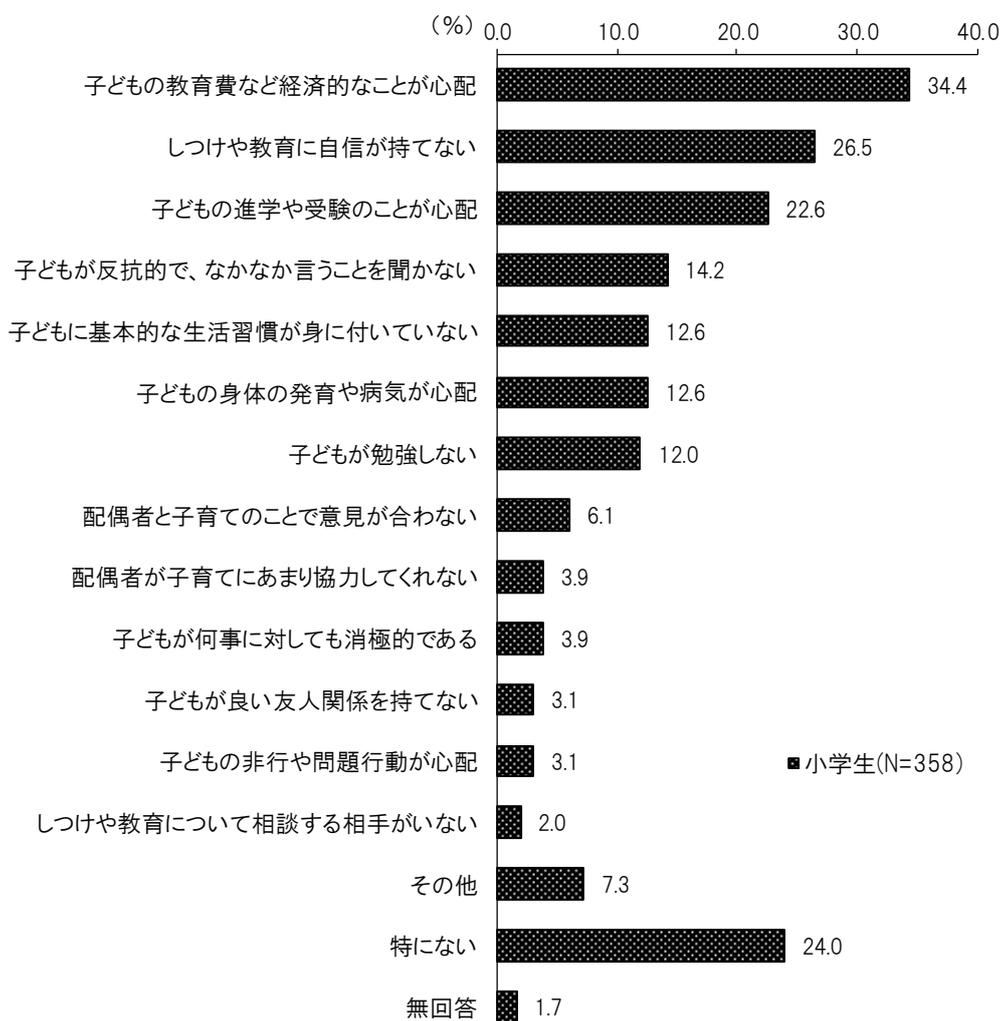
就学前児童保護者の子育てに関する悩みについては、「経済的な不安、負担に関すること」の割合が43.9%と最も高く、次いで「子どもの発達や発育に関すること」（34.3%）、「子どもとの時間を十分にとれないこと」（31.4%）、「子どもの食事や栄養に関すること」（29.2%）、「子どもの教育に関すること」（26.7%）の順となっている。



6 小学生保護者の子どもに関する悩み

小問 32 お子さんのことについて、現在悩んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

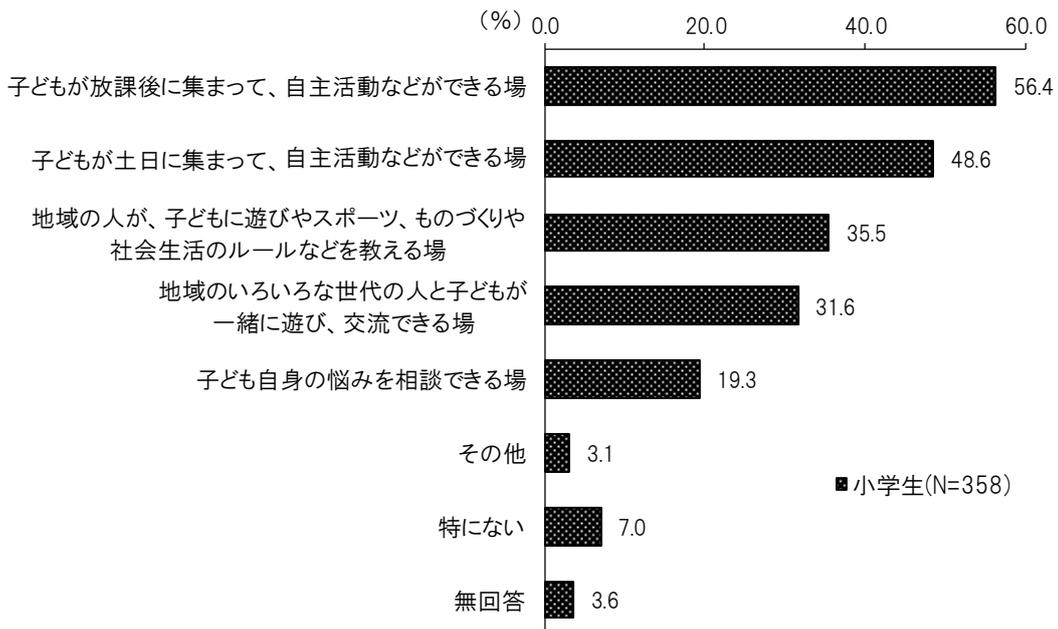
小学生保護者の子どもに関する悩みについては、「子どもの教育費など経済的なことが心配」の割合が34.4%と最も高く、次いで「しつけや教育に自信が持てない」(26.5%)、「子どもの進学や受験のことが心配」(22.6%)、「子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない」(14.2%)、「子どもに基本的な生活習慣が身に付いていない」「子どもの身体の発育や病気が心配」(各12.6%)の順となっている。



7 子ども同士で過ごさせたい場所

小問 34 身近な地域で、子ども同士が過ごす場所として、どのような場があればよいと思いますか。（○は3つまで）

子ども同士で過ごさせたい場所については、「子どもが放課後に集まって、自主活動などができる場」の割合が56.4%と最も高く、次いで「子どもが土日に集まって、自主活動などができる場」（48.6%）、「地域の人や、子どもに遊びやスポーツ、ものづくりや社会生活のルールなどを教える場」（35.5%）、「地域のいろいろな世代の人と子どもと一緒に遊び、交流できる場」（31.6%）の順となっている。



地区別では、新見南で「子どもが土日に集まって、自主活動などができる場」、草間台や塩城で「子ども自身の悩みを相談できる場」、刑部や矢神で「地域のいろいろな世代の人と子どもと一緒に遊び、交流できる場」、矢神で「子どもが放課後に集まって、自主活動などができる場」「地域の人が、子どもに遊びやスポーツ、ものづくりや社会生活のルールなどを教える場」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

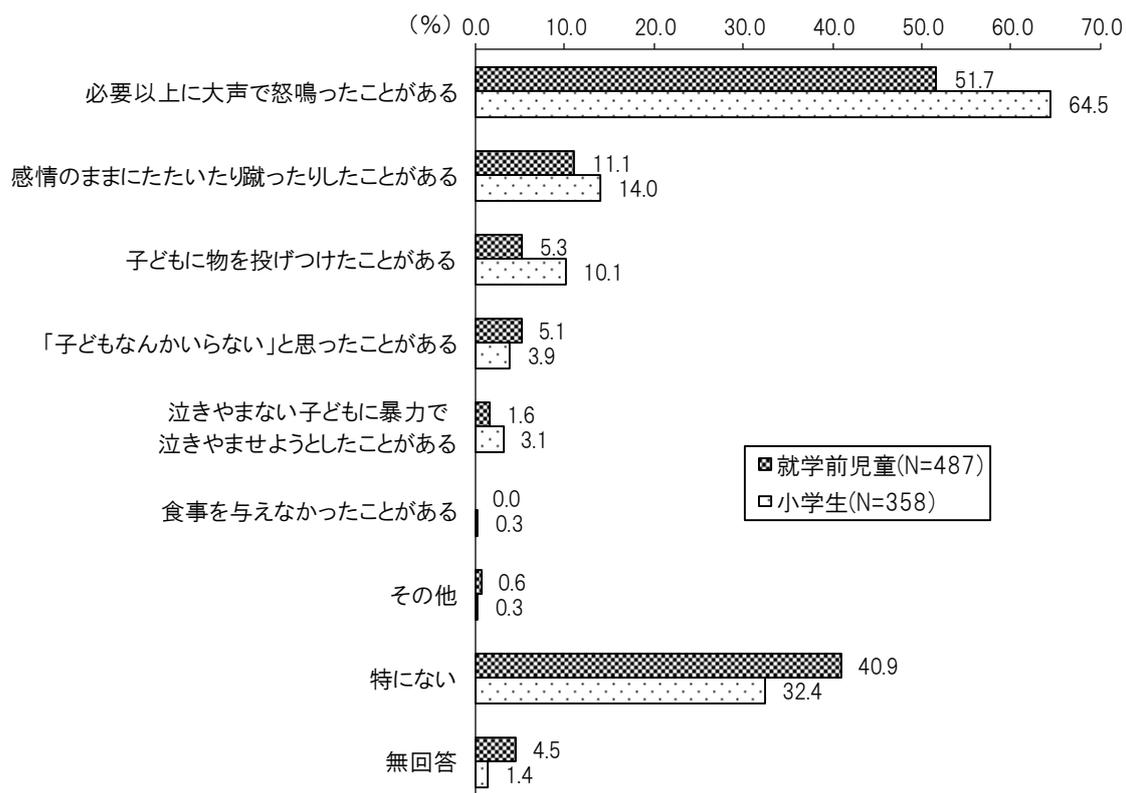
単位 (%)	子どもが放課後に集まって、自主活動などができる場	子どもが土日に集まって、自主活動などができる場	地域の人が、子どもと一緒に遊びやスポーツ、ものづくりや社会生活のルールなどを教える場	地域のいろいろな世代の人と一緒に遊び、交流できる場	子ども自身の悩みを相談できる場	その他	特になし
小学生(N=358)	56.4	48.6	35.5	31.6	19.3	3.1	7.0
【地区別】							
思誠(n=105)	60.0	56.2	39.0	29.5	22.9	1.0	4.8
高尾(n=16)	56.3	50.0	18.8	31.3	18.8	0.0	12.5
新見南(n=55)	60.0	58.2	40.0	30.9	16.4	1.8	9.1
草間台(n=11)	54.5	36.4	18.2	27.3	27.3	18.2	0.0
塩城(n=11)	45.5	36.4	36.4	27.3	27.3	18.2	0.0
上市(n=24)	58.3	54.2	29.2	33.3	12.5	4.2	8.3
西方(n=23)	47.8	47.8	30.4	34.8	26.1	4.3	8.7
千屋(n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
刑部(n=29)	58.6	48.3	31.0	44.8	17.2	3.4	3.4
神郷北(n=6)	66.7	16.7	16.7	50.0	33.3	0.0	16.7
神代(n=5)	80.0	40.0	60.0	40.0	0.0	0.0	20.0
本郷(n=27)	40.7	33.3	25.9	25.9	18.5	3.7	14.8
新砥(n=9)	55.6	22.2	44.4	11.1	22.2	11.1	0.0
矢神(n=11)	63.6	36.4	54.5	45.5	9.1	0.0	0.0
野馳(n=14)	57.1	57.1	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（地区別など）において最も高い割合を示している。
 但し、件数（n）が10未満、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

8 子どもへの不適切な言動の経験

就問 53 (小問 40) あなたは今までに、自分の子どもに対し、次のようなことをしたことや感じたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもへの不適切な言動の経験については、就学前児童、小学生保護者ともに、「必要以上に大声で怒鳴ったことがある」の割合が最も高く、特に小学生保護者で6割以上(64.5%)となっている。

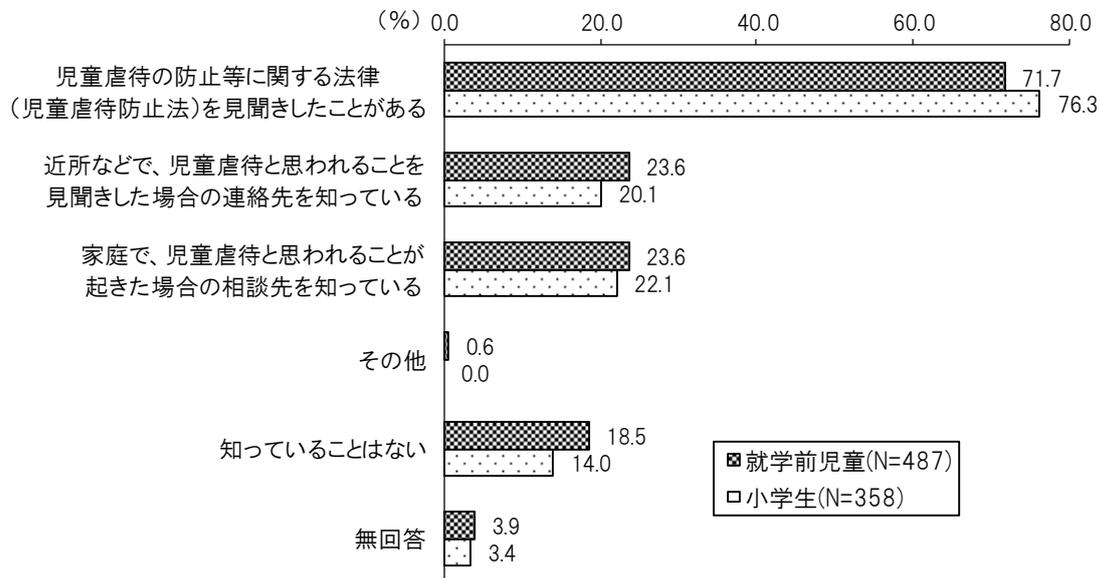


9 児童虐待の認知状況

就問 54 (小問 41) 次にあげる、児童虐待について知っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

児童虐待の認知状況については、就学前児童、小学生保護者ともに、「児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）を見聞きしたことがある」の割合が突出して高く、次いで「近所などで、児童虐待と思われることを見聞きした場合の連絡先を知っている」「家庭で、児童虐待と思われることが起きた場合の相談先を知っている」が約2割を占めている。

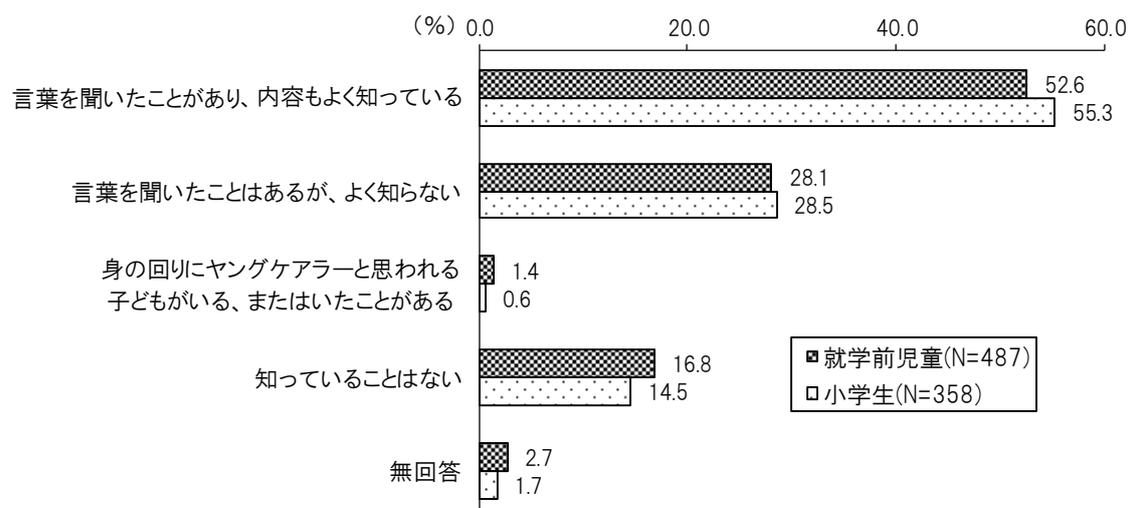
一方、就学前児童保護者で18.5%が「知っていることはない」と回答している。



10 ヤングケアラーの認知状況

就問 55 (小問 42) 「ヤングケアラー」について知っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

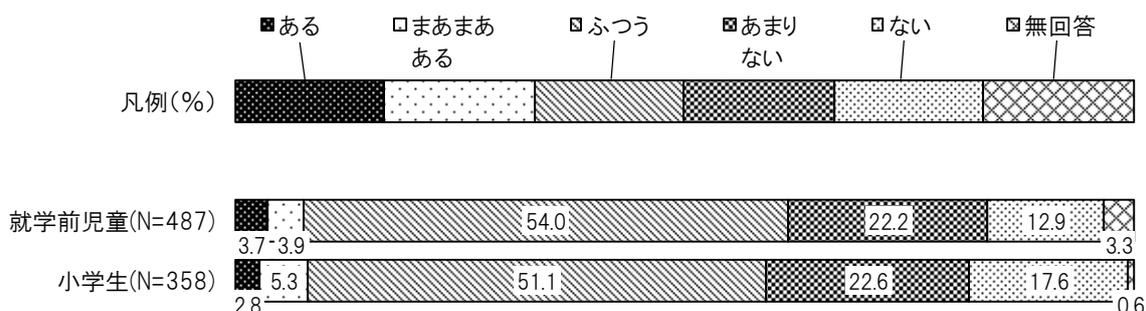
ヤングケアラーについて「言葉を聞いたことがあり、内容もよく知っている」の割合は、就学前児童、小学生保護者ともに、約半数を占めており、「言葉を聞いたことはあるが、よく知らない」は約3割となっている。一方、「知っていることはない」の割合は就学前児童保護者で16.8%、小学生保護者で14.5%となっている。



11 経済的なゆとり

就問 56 (小問 35) あなたの世帯では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか。
(○は1つ)

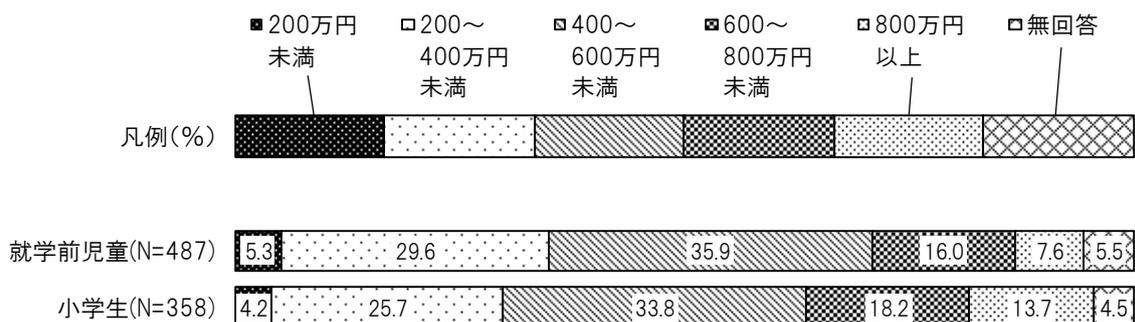
経済的なゆとりについて『ない』の割合(「あまりない」「ない」の合計)は、就学前児童保護者で35.1%、小学生保護者で40.2%となっている。



12 年間収入

就問 57 (小問 36) 昨年1年間(令和5年1月1日~12月31日)の保護者の方の年間収入(税込み)は、およそいくらでしたか。(○は1つ)

年間収入については、就学前児童、小学生保護者ともに、「400~600万円未満」の割合が最も高く、小学生保護者は就学前児童保護者に比べて600万円以上の割合が高くなっている。

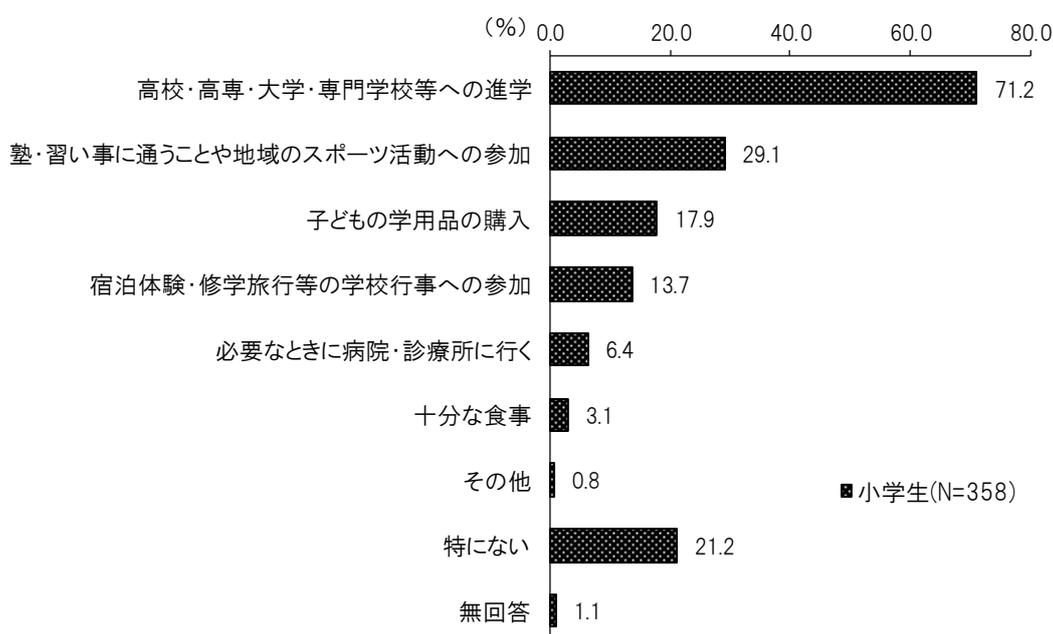


13 経済的な不安を感じること

小問 37 あなたの家庭では、次のような環境・モノについて、経済的な不安を感じるものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

経済的な不安を感じることについては、「高校・高専・大学・専門学校等への進学」の割合が71.2%と最も高く、次いで「塾・習い事に通うことや地域のスポーツ活動への参加」（29.1%）、「子どもの学用品の購入」（17.9%）、「宿泊体験・修学旅行等の学校行事への参加」（13.7%）の順となっている。

経済的なゆとり別では、おおむねゆとりがない層ほど、「高校・高専・大学・専門学校等への進学」「塾・習い事に通うことや地域のスポーツ活動への参加」「子どもの学用品の購入」「宿泊体験・修学旅行等の学校行事への参加」の割合が高くなっている。



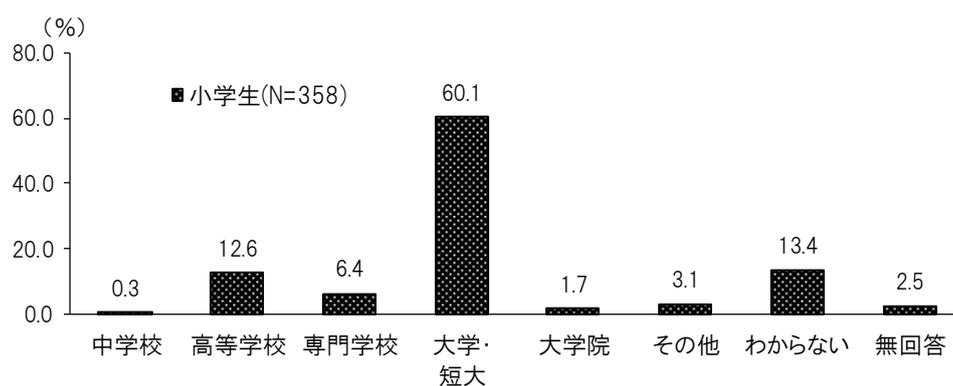
単位 (%)	高校等への進学	地域の塾・習い事に通うことや	子どもの学用品の購入	宿泊体験・修学旅行等の	必要ときに病院・診療	十分な食事	その他	特にない
小学生(N=358)	71.2	29.1	17.9	13.7	6.4	3.1	0.8	21.2
【経済的なゆとり別】								
ある(n=29)	34.5	10.3	3.4	6.9	3.4	0.0	0.0	62.1
ふつう(n=183)	65.6	15.8	6.0	3.3	3.8	0.5	0.5	29.0
あまりない(n=81)	90.1	46.9	37.0	24.7	13.6	7.4	1.2	0.0
ない(n=63)	82.5	54.0	34.9	33.3	6.3	6.3	1.6	7.9

14 理想とする子どもの最終進路

小問 38 理想としては、お子さんに将来どの学校まで進んでほしいと思いますか。
(○は1つ)

理想とする子どもの最終進路については、「大学・短大」の割合が60.1%と突出して高くなっている。

経済的なゆとり別では、ゆとりがない層で「高等学校」の割合が他の層に比べて高くなっている。

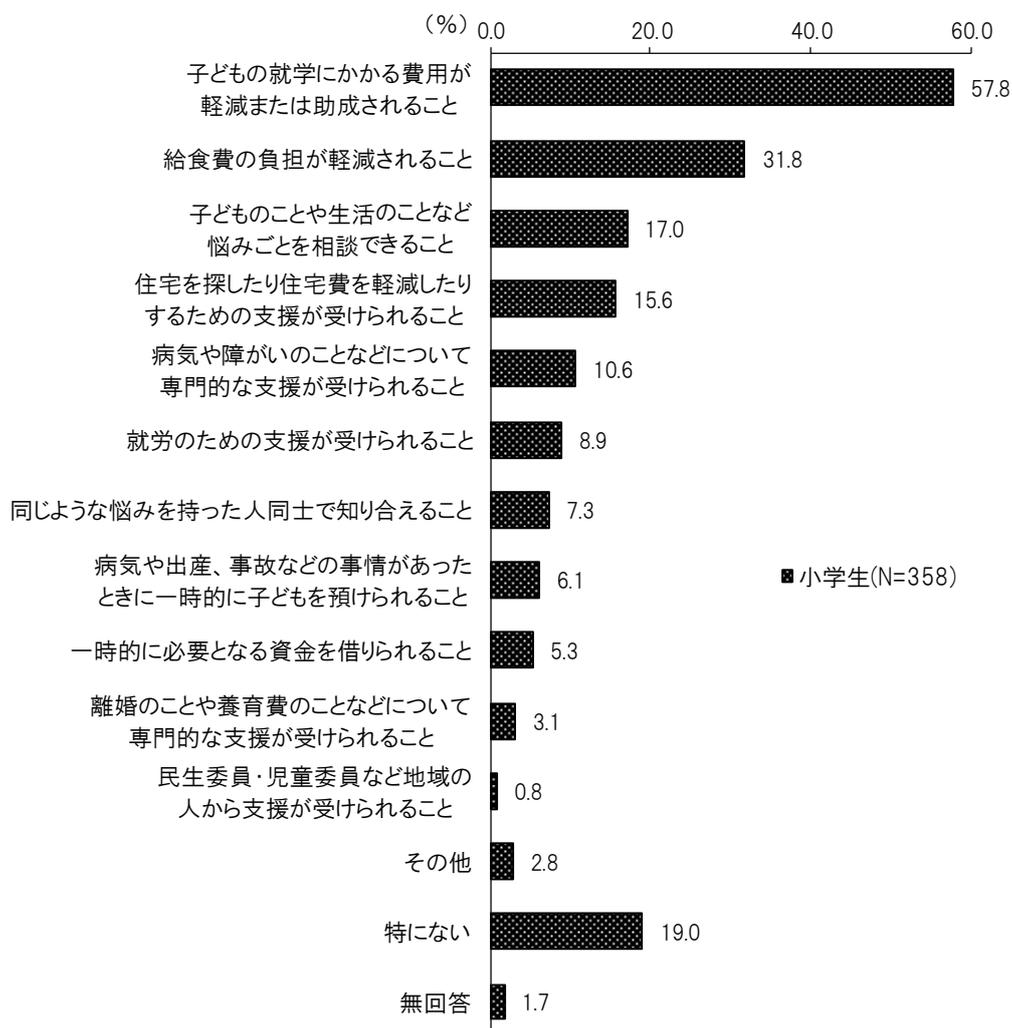


単位 (%)	中学校	高等学校	専門学校	大学・短大	大学院	その他	わからない
小学生(N=358)	0.3	12.6	6.4	60.1	1.7	3.1	13.4
【経済的なゆとり別】							
ある(n=29)	0.0	0.0	10.3	65.5	10.3	0.0	13.8
ふつう(n=183)	0.5	9.8	5.5	63.4	1.1	3.3	15.3
あまりない(n=81)	0.0	17.3	7.4	59.3	1.2	2.5	9.9
ない(n=63)	0.0	20.6	6.3	50.8	0.0	4.8	12.7

15 現在必要としている支援

小問 39 あなたの世帯にとって現在必要としている、または重要だと思う支援は、どのようなことですか。（○は3つまで）

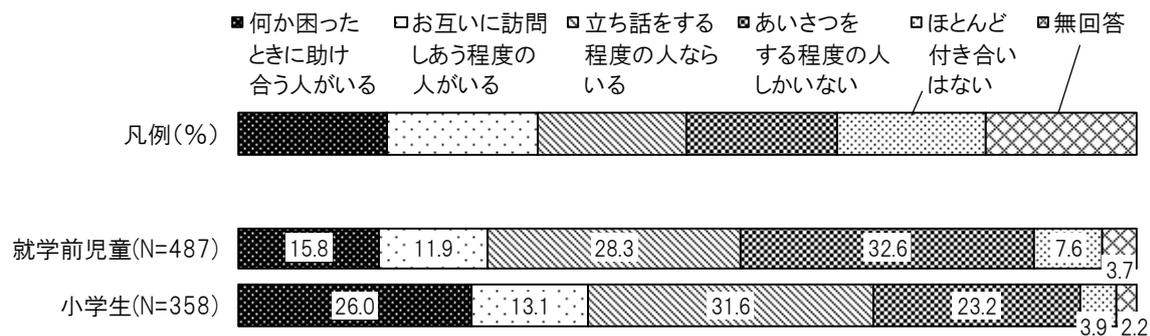
現在必要としている支援については、「子どもの就学にかかる費用が軽減または助成されること」の割合が57.8%と最も高く、次いで「給食費の負担が軽減されること」(31.8%)、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」(17.0%)、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」(15.6%)の順となっている。



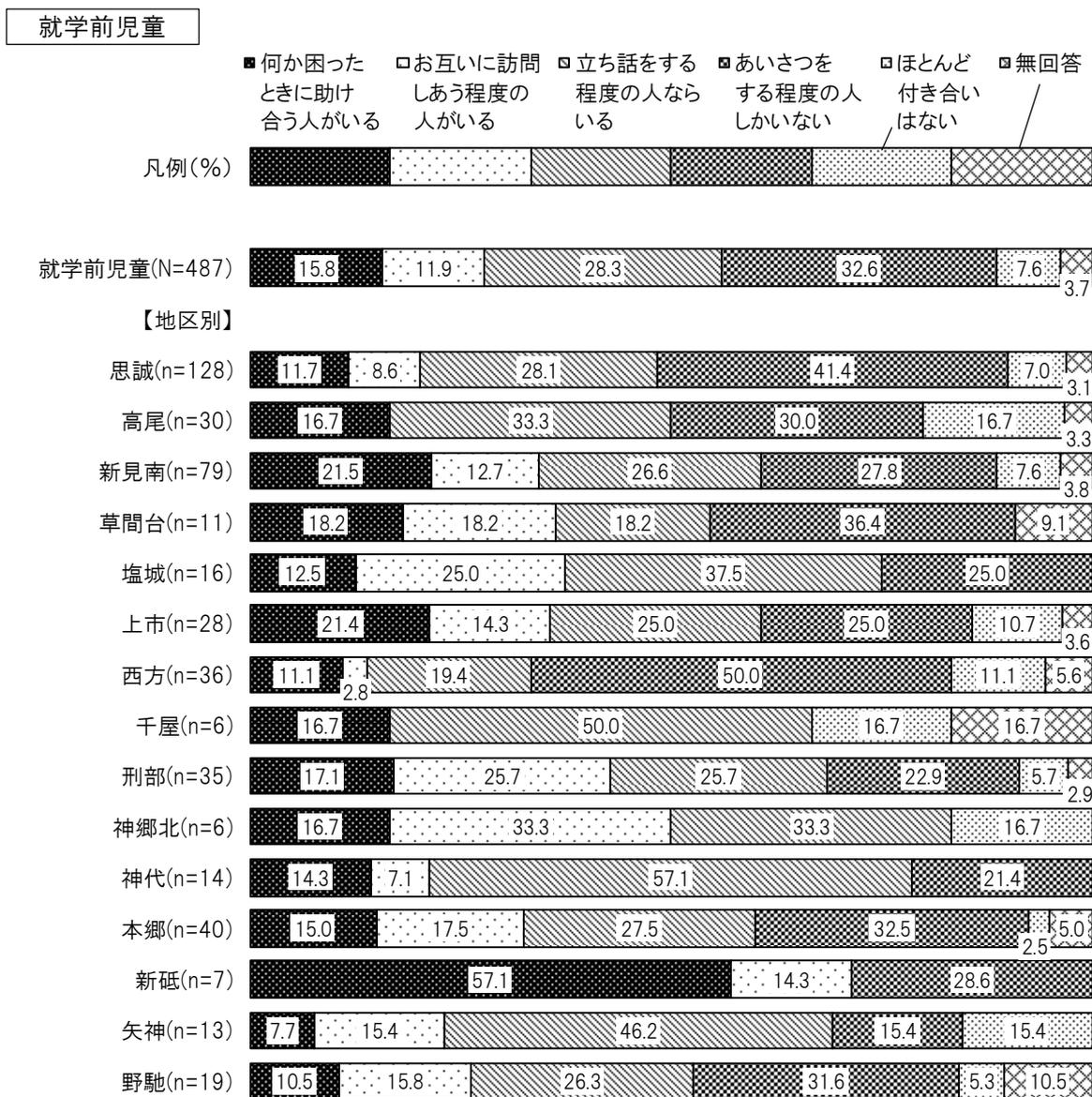
16 近所の人との付き合い程度

就問 58 (小問 43) お子さんのご家族は、ご近所の人とどの程度付き合いがありますか。
(○は1つ)

近所の人との付き合い程度について、就学前児童保護者は「あいさつをする程度の人しかいない」の割合が32.6%と最も高く、小学生保護者は就学前児童保護者に比べて「何か困ったときに助け合う人がいる」の割合(26.0%)が高くなっている。



就学前児童について地区別でみると、新見南や上市で「何か困ったときに助け合う人がいる」、塩城や刑部で「お互いに訪問しあう程度の人がいる」の割合が高く、思誠や西方で「あいさつをする程度の人しかいない」、高尾や矢神で「ほとんど付き合いはない」の割合がそれぞれ他の地区を上回っている。



注：地区別の「千屋」「神郷北」「新砥」については、件数（n）が少ないため参考値として参照

小学生について地区別でみると、草間台、塩城、本郷及び野馳で「何か困ったときに助け合う人がいる」、刑部や矢神で「お互いに訪問しあう程度の人がいる」の割合が高く、草間台や西方で「あいさつをする程度の人しかいない」の割合が他の地区を上回っている。

小学生



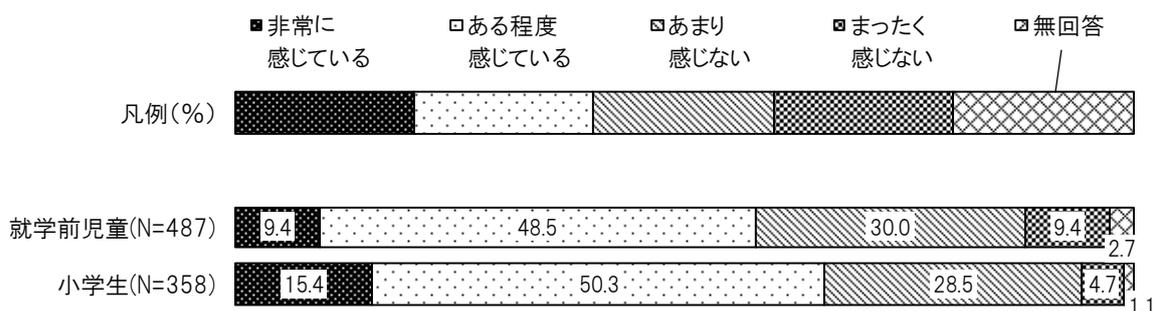
注：地区別の「千屋」「神郷北」「神代」「新砥」については、件数（n）が少ないため参考値として参照

17 地域の人や社会からの支援意識

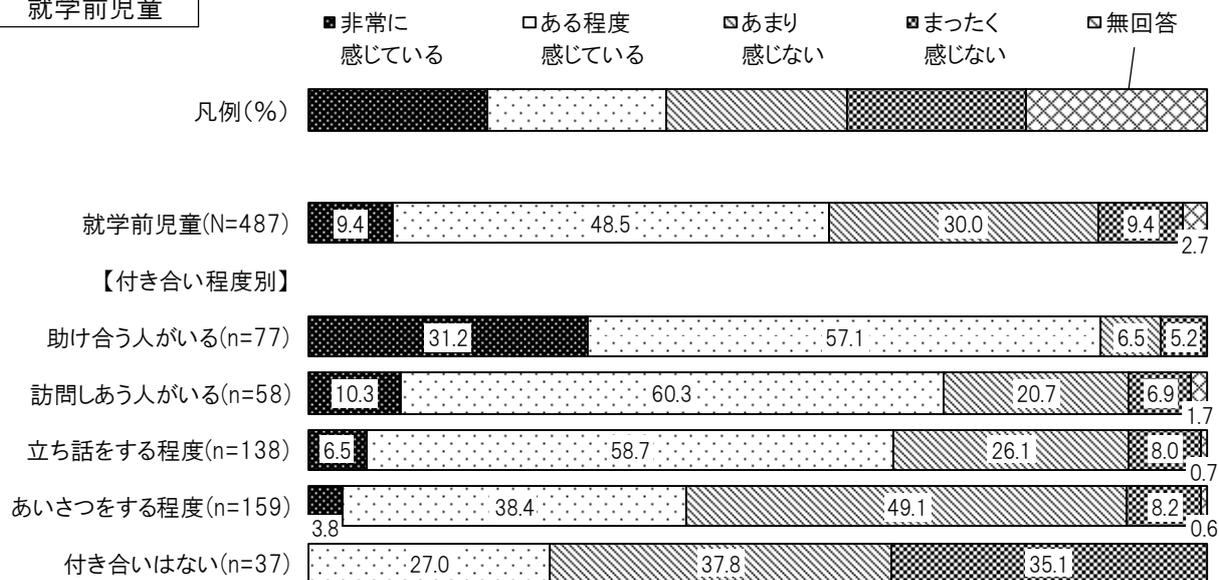
就問 59 (小問 44) 自分自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。(○は1つ)

地域の人や社会からの支援を感じる割合(「非常に感じている」「ある程度感じている」の合計)は、就学前児童保護者で57.9%、小学生保護者で65.7%となっている。

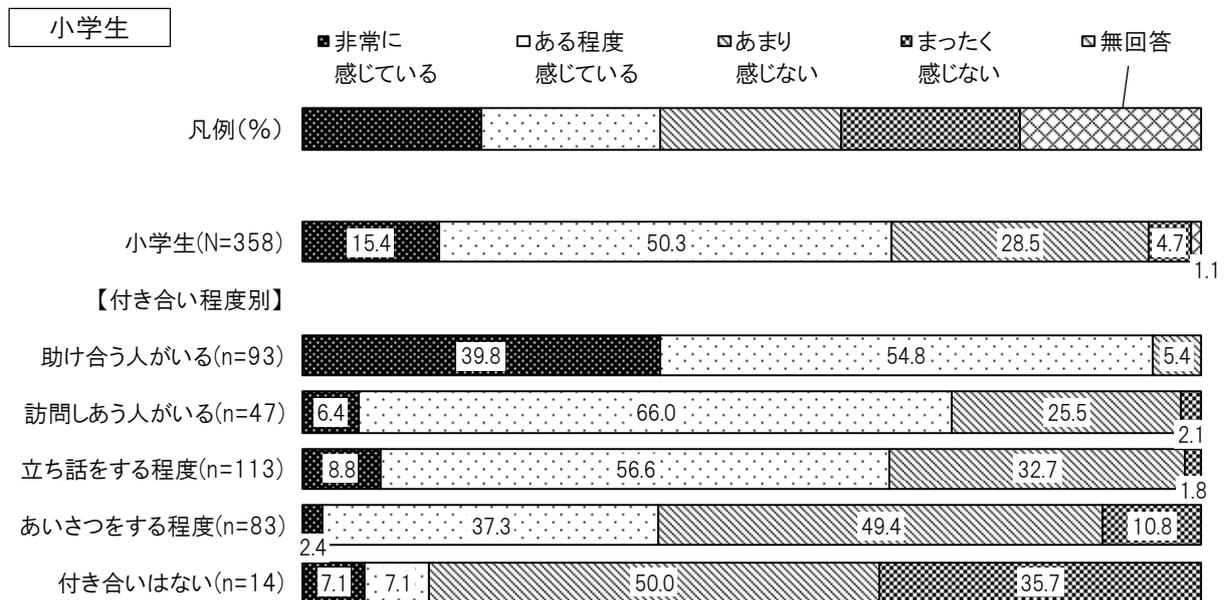
就学前児童について付き合い程度別(就問 58)で見ると、助け合う人がある層で「非常に感じている」の割合が他の層を大きく上回っている。



就学前児童



小学生について付き合い程度別（小問 43）で見ると、助け合う人がある層で「非常に感じている」の割合が他の層を大きく上回っている。



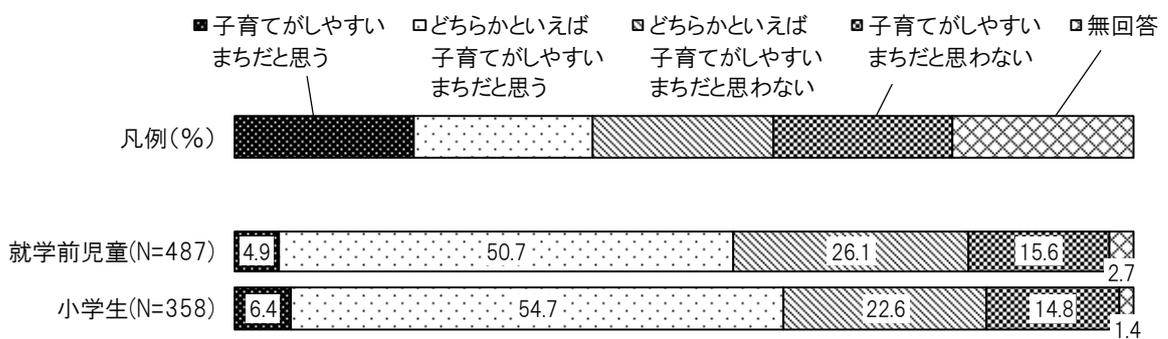
18 子育てのしやすさ

就問 60 (小問 45) 新見市は、子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

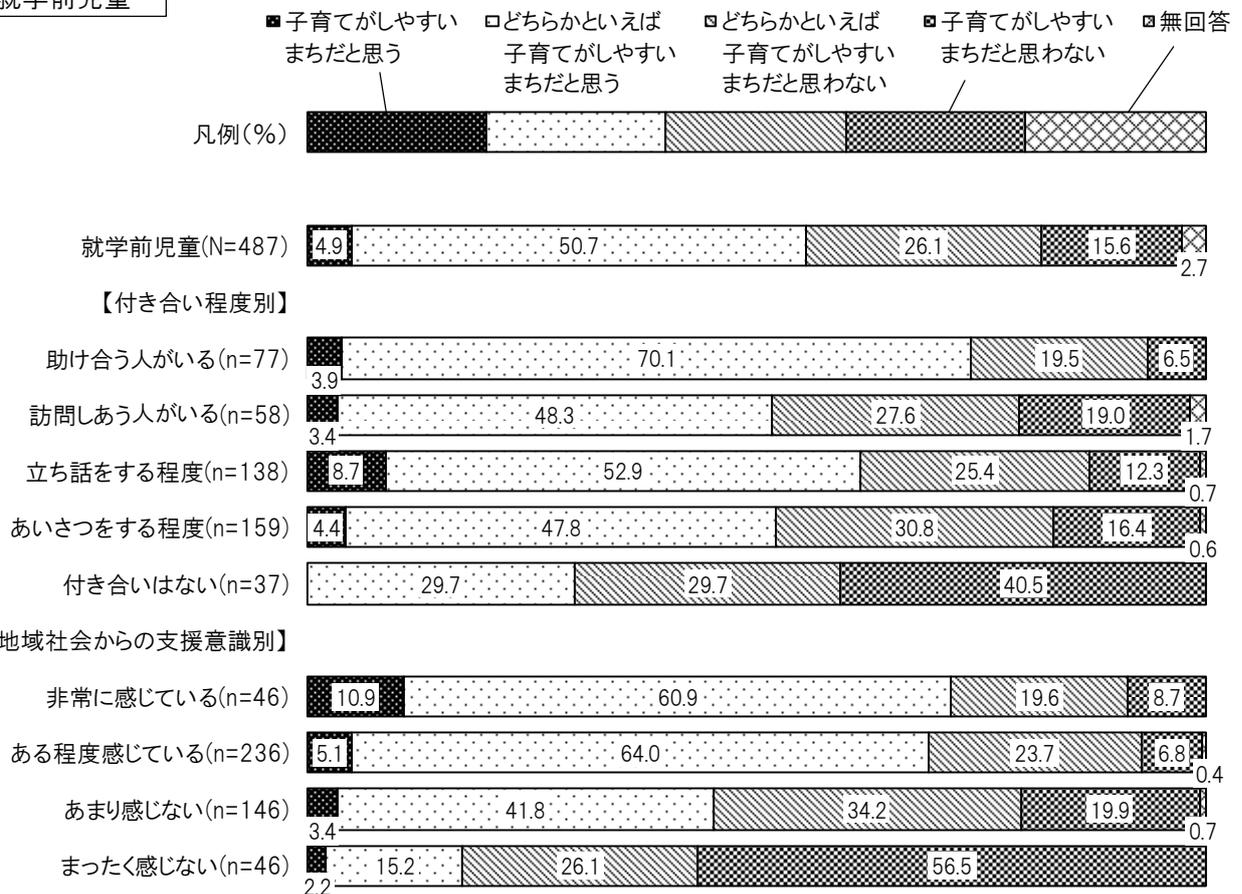
子育てをしやすいと感じる割合(「子育てがしやすいまちだと思う」「どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思う」の合計)は、就学前児童保護者で55.6%、小学生保護者で61.1%となっている。

就学前児童について付き合い程度別(就問 58)で見ると、助け合う人がいる層で「どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思う」の割合が他の層を大きく上回っている。

地域社会からの支援意識別(就問 59)では、支援をまったく感じない層で「子育てがしやすいまちだと思わない」の割合が他の層を大きく上回っている。



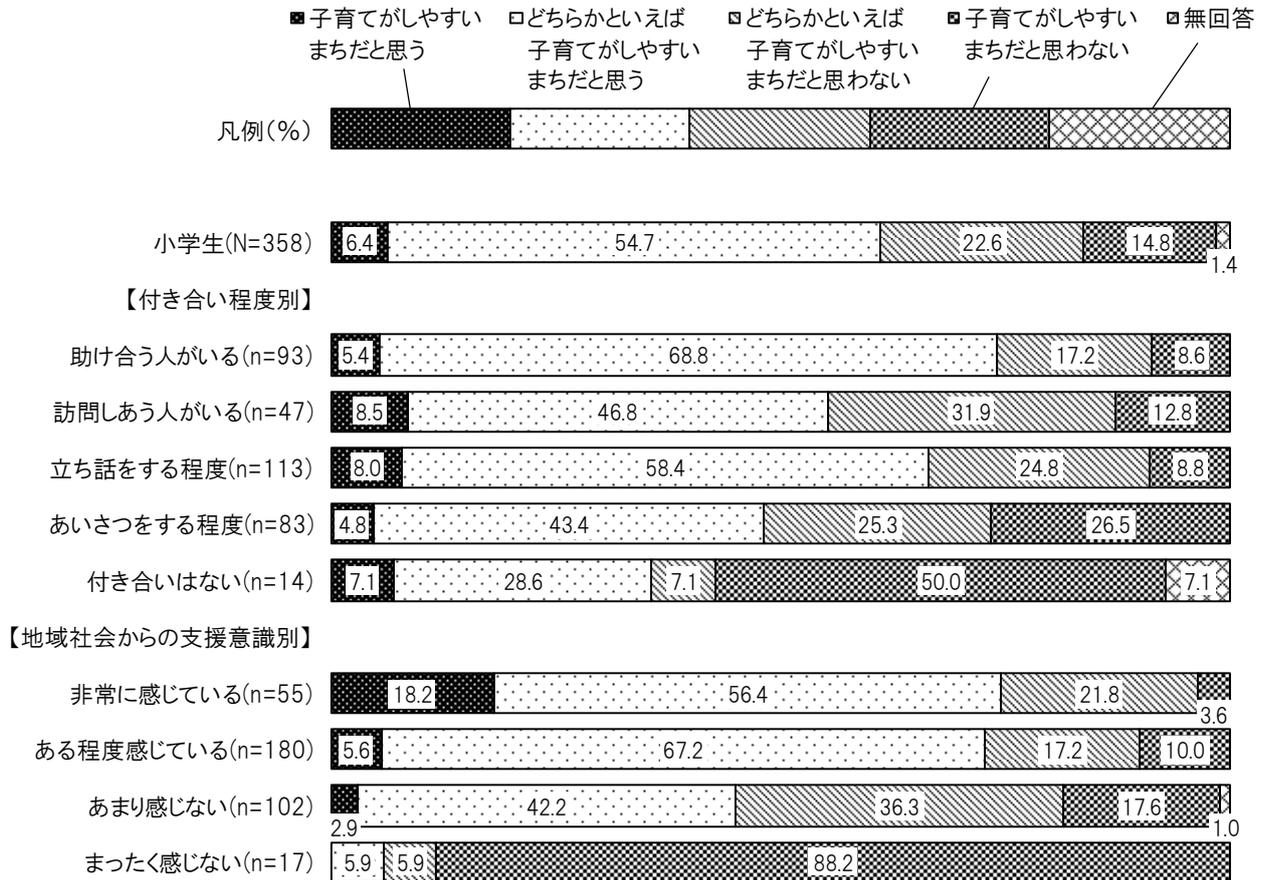
就学前児童



小学生について付き合い程度別（小問 43）でみると、助け合う人がいる層で「どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思う」の割合が他の層を大きく上回っている。

地域社会からの支援意識別（小問 44）では、支援をまったく感じない層で「子育てがしやすいまちだと思わない」の割合が他の層を大きく上回っている。

小学生

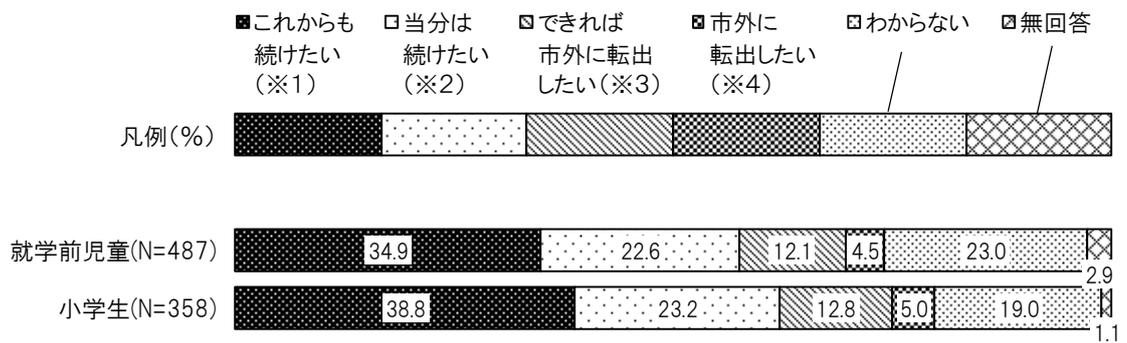


19 新見市での子育て継続意向

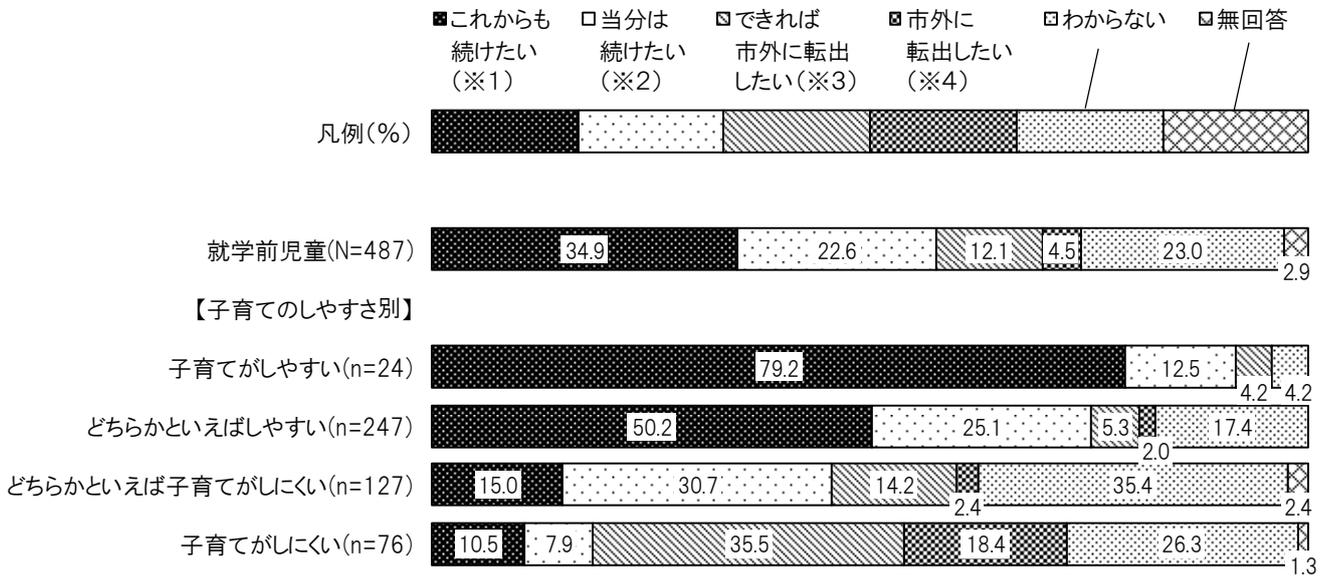
就問 61 (小問 46) あなたは、これからも新見市で子育てを続けたいと思いますか。
(○は1つ)

新見市での子育て継続意向(「これからも新見市で子育てを続けたい」「当分は新見市で子育てを続けたい」の合計)は、就学前児童保護者で57.5%、小学生保護者で62.0%となっている。

就学前児童について子育てのしやすさ別(就問60)では、子育てがしやすいと回答した層ほど「これからも新見市で子育てを続けたい」の割合が高くなっている。



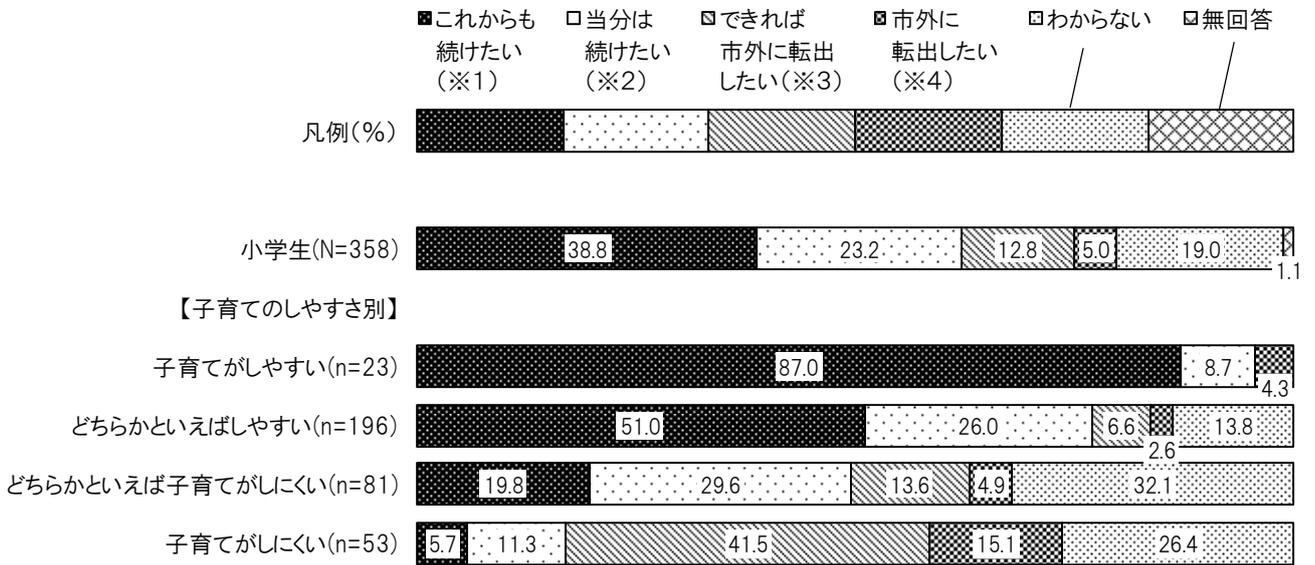
就学前児童



- ※1：これからも新見市で子育てを続けたい
- ※2：当分は新見市で子育てを続けたい
- ※3：できれば市外に転出して子育てしたい
- ※4：市外に転出して子育てしたい

小学生について子育てのしやすさ別（小問 45）では、子育てがしやすいと回答した層ほど「これからも新見市で子育てを続けたい」の割合が高くなっている。

小学生



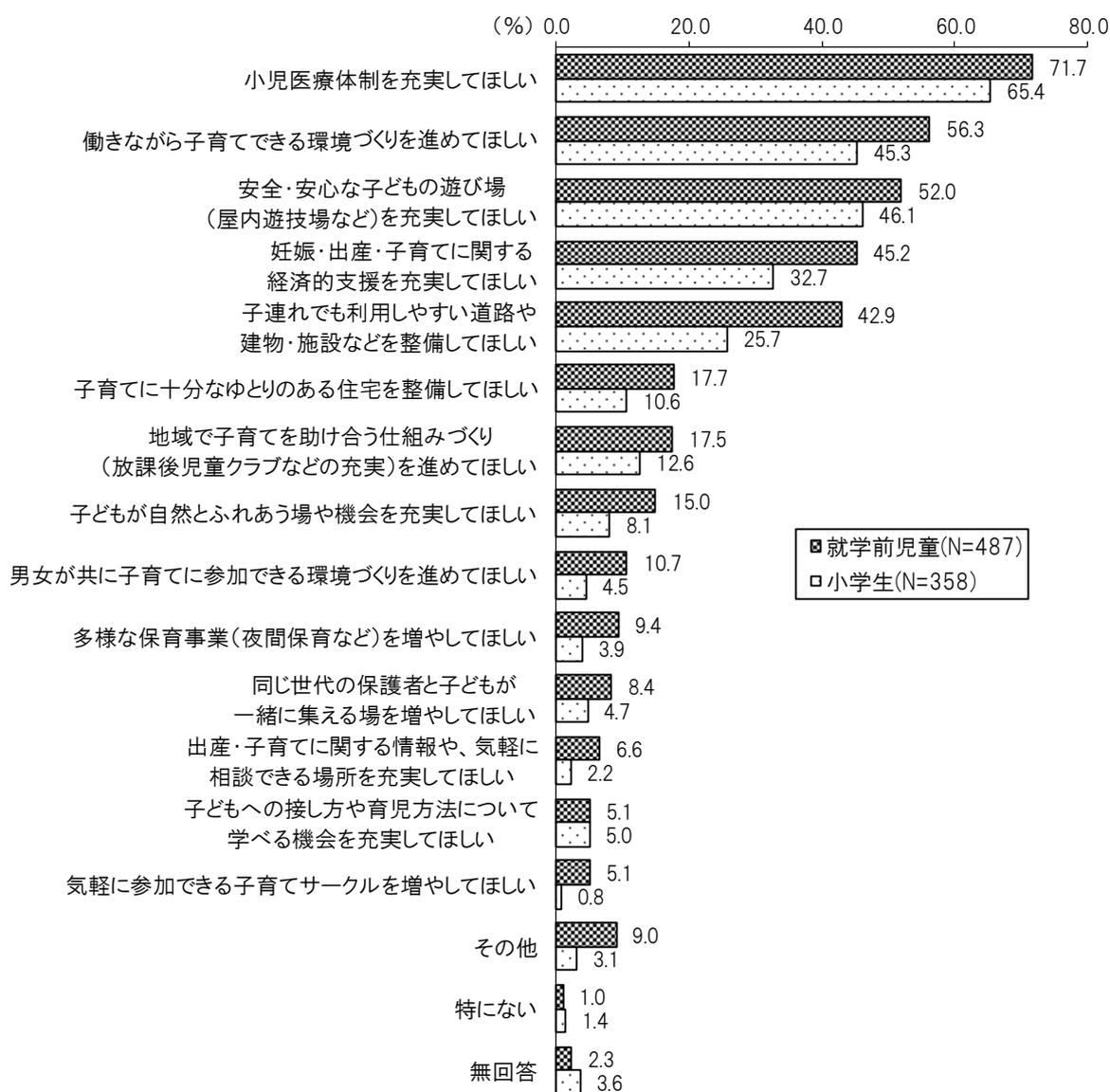
- ※1：これからも新見市で子育てを続けたい
- ※2：当分は新見市で子育てを続けたい
- ※3：できれば市外に転出して子育てしたい
- ※4：市外に転出して子育てしたい

20 子育てしやすい社会にするために必要だと思う支援

就問 62 (小問 47) 子育てしやすい社会にするためには、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるもの3つに○)

子育てしやすい社会にするために必要だと思う支援については、就学前児童、小学生保護者ともに、「小児医療体制を充実してほしい」「働きながら子育てできる環境づくりを進めてほしい」「安全・安心な子どもの遊び場(屋内遊技場など)を充実してほしい」の割合が高くなっている。

就学前児童では、特に「妊娠・出産・子育てに関する経済的支援を充実してほしい」「子連れでも利用しやすい道路や建物・施設などを整備してほしい」の割合が小学生に比べて高くなっている。



新見市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

－ 就学前の子どものいる世帯用 －
～ 調査ご協力をお願い ～

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本市では、「新見市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、様々な子育て支援施策に取り組んでいます。

この調査は、計画の見直しにあたって、市民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などをおうかがいし、今後、取り組むべき施策を検討する上での基礎的な資料とさせていただきますことを目的として実施するものです。

調査票は個人情報及びプライバシー保護のため無記名としているほか、回答は統計的に集計し、本調査の目的以外に使用することはありません。なお、集計結果は新見市ホームページで公表させていただきます。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年2月

新見市長 戎 斉

～ ご記入にあたってのお願い ～

- この調査は、就学前のお子さんのうち一番下のお子さんを対象とした調査です。
- 回答は、封筒の宛名のお子さんについて、ご記入ください。
- お子さんの身の回りの世話などを主にしている保護者の方がご記入ください。
- 回答は、本調査票に直接記入してください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 数字(日数や時間など)をご記入いただく場合は、枠内に具体的な数字をご記入ください。
なお、時間については **24時間制**でご記入ください。(例：午後1時30分→13:30)
- 該当する番号に○印をつけた方だけに答えていただく設問もあります。
- ご不明な点、調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【調査のお問合せ先】

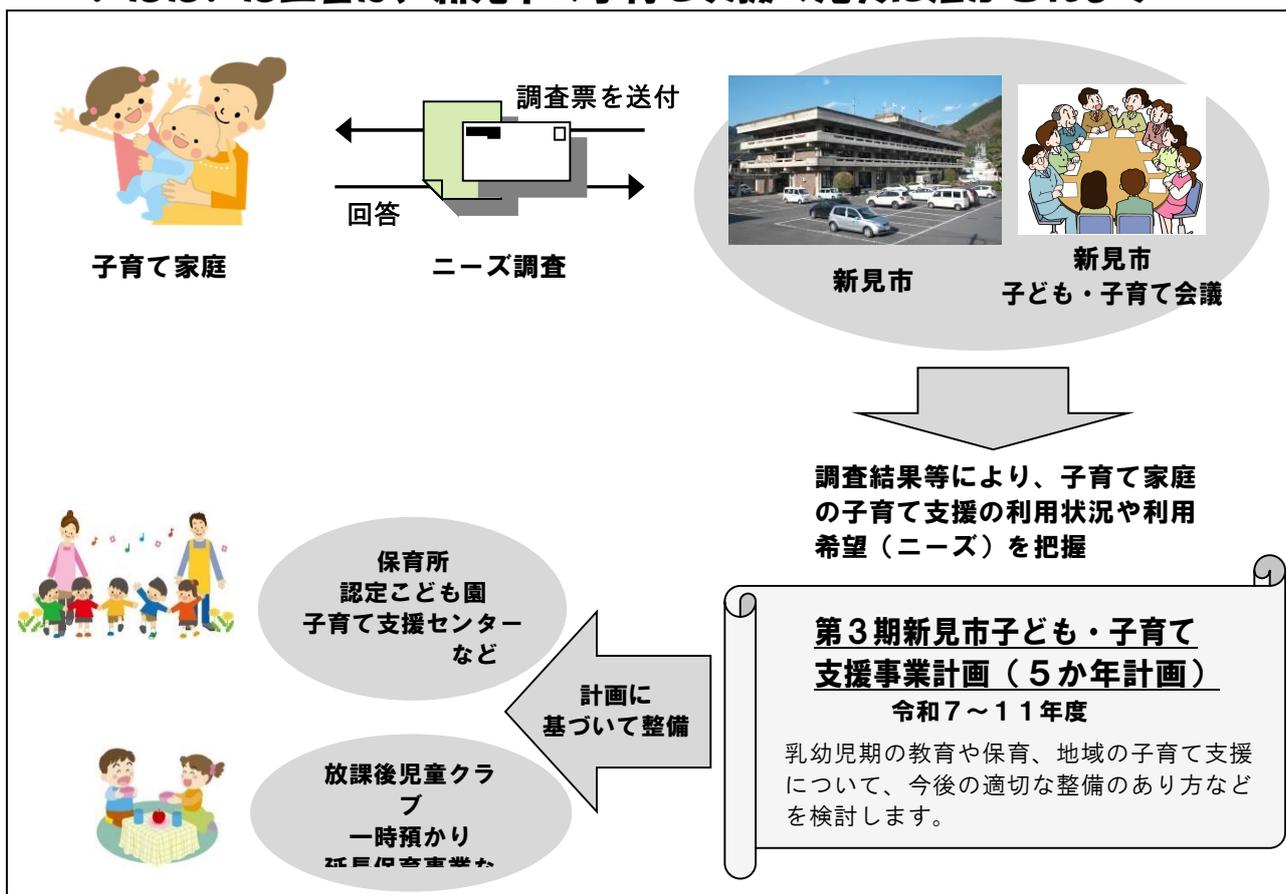
新見市役所 福祉部 子育て支援課 子育て支援係
〒718-8501 新見市新見 310-3 (電話：0867-72-6115)



～ 返送方法について ～

保育所や認定こども園 などを通じた配布の場合	アンケートが入っていた封筒に入れて(切手を貼らずに) 令和6年3月8日(金)までに施設に返却してください
郵送で届いた場合	同封の返信用封筒に入れて(切手を貼らずに) 令和6年3月8日(金)までに投函してください

～いただいた回答は、新見市の子育て支援の充実に活かされます～



【用語の定義】 この調査票における用語の定義は以下のとおりです。	
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）。
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）。
幼稚園	学校教育法に定める3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）。
ファミリー・サポート・センター	育児の援助を受けたい人（利用会員）と育児の援助を行いたい人（援助会員）が会員となり、地域の中で、有償で子育てを助け合う会員組織。
子育て支援センター	親子が集まって過ごしたり、子育ての相談をしたり、情報収集する場。【にいみ子育てカレッジ（新見公立大学内）】
一時保育	保育所などに通っていない集団保育が可能な1歳3か月から就学前までの子どもを対象とし、保育所及び認定こども園で一時的に保育を行う事業。
預かり保育	幼稚園、認定こども園（短時間保育）に通っている子どもを対象とし、通常育終了時から18時まで預かる事業。
一時預かり	一時保育と預かり保育の両方を指す呼びかた。

1 お子さんご家族の状況などについておうかがいします。

問1 あなたのお住まいの地区（小学校区）はどちらですか。（○は1つ）

1 思誠	4 草間台	7 西方	10 神郷北	13 新砥
2 高尾	5 塩城	8 千屋	11 神代	14 矢神
3 新見南	6 上市	9 刑部	12 本郷	15 野馳

※わからない場合は、住所をお書きください。（新見市 ）

問2 宛名のお子さんの満年齢をお答えください。（令和6年2月1日現在）（○は1つ）

①満年齢	1 0歳 <input type="text"/> か月	3 2歳	5 4歳	7 6歳
	2 1歳	4 3歳	6 5歳	

問3 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。（数字を記入）

お子さんの人数	() 人
---------	------------------

問4 宛名のお子さん（以下「お子さん」という。）からみて、あなた（この調査票にご回答いただく方）の続柄、年齢をお答えください。（○は1つずつ）

①あなたの続柄	1 父親	2 母親	3 その他 ()
②あなたの年齢	1 19歳以下	3 30～39歳	5 50～59歳
	2 20～29歳	4 40～49歳	6 60歳以上

問5 あなたに配偶者・パートナーはいらっしゃいますか。（○は1つ）

1 いる	2 いない
------	-------

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。

※続柄は、お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

1 父母ともに	3 主に母親	5 その他 ()
2 主に父親	4 主に祖父母	

問7 日頃、お子さんを預けられる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

1 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2 緊急時や用事がある時に祖父母等の親族に預かってもらえる
3 日常的に友人・知人に預かってもらえる
4 緊急時や用事がある時に友人・知人に預かってもらえる
5 預かってもらえる人はいない

2 お子さんの父親の就労状況についておうかがいします。

問8 お子さんの父親は、現在働いていますか。（○は1つ）

※フルタイム→1週5日程度・1日8時間程度の就労

- 1 フルタイムで働いている
- 2 フルタイムだが育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている
- 4 パート・アルバイト等（フルタイム以外）だが育休・介護休業中である
- 5 以前は働いていたが現在は働いていない → 問11へ
- 6 これまで働いたことがない → 問11へ
- 7 父親はいない → 問13へ

問9 【問8で「1～4」と回答した方に】働いている日数や時間などについておうかがいします。

(1) 1週当たりの就労日数→	約 <input type="text"/> 日	
(2) 1日の就労時間→	約 <input type="text"/> 時間	
(3) 家を出るおよその時間→	<input type="text"/> : <input type="text"/> 頃	※時間は24時間表記 (例：午後6時30分→18:30)
(4) 帰宅するおよその時間→	<input type="text"/> : <input type="text"/> 頃	

注1：就労日数や時間、家を出る時間等が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

注2：育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

注3：自営業や在宅勤務の方は、(3)の「家を出る」を「始業する」、(4)の「帰宅する」を「終業する」とそれぞれ読み換えてください。



問8で3～4（パート・アルバイト）の方は問10へ、それ以外の方は問13へお進みください

問10 【問8で「3～4」と回答した方に】今後、パート・アルバイト等から、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）へ転換したいですか。（○は1つ）

- 1 希望があり、フルタイムになれる見込みがある
- 2 希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い
- 3 希望はない（パート・アルバイト等のままで良い）
- 4 仕事をやめて子育てや家事に専念したい



次は問13へお進みください

問11 【問8で「5～6」と回答した方に】今後、働きたいとお考えですか。（○は1つ）

- 1 すぐにでも、または1年以内には働きたい
- 2 子どもがある程度大きくなったら（1年より先）働きたい→（末子が 歳になったくらい）
- 3 働く予定はない（子育てや家事などに専念したい）→ 問13へ

問 12 【問 11 で「1～2」と回答した方に】どのような形態で働きたいとお考えですか。

(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1 | フルタイムで働きたい |
| 2 | パート・アルバイト等で働きたい→(1週当たり <input type="text"/> 日で、1日当たり <input type="text"/> 時間) |

3 お子さんの母親の就労状況についておうかがいします。

問 13 お子さんの母親は、現在働いていますか。(○は1つ)

※フルタイム→1週5日程度・1日8時間程度の就労

- | | |
|---|--|
| 1 | フルタイムで働いている |
| 2 | フルタイムだが産休・育休・介護休業中である |
| 3 | パート・アルバイト等(フルタイム以外)で働いている |
| 4 | パート・アルバイト等(フルタイム以外)だが産休・育休・介護休業中である |
| 5 | 以前は働いていたが現在は働いていない → <input type="text"/> 問 16 へ |
| 6 | これまで働いたことがない → <input type="text"/> 問 16 へ |
| 7 | 母親はいない → <input type="text"/> 問 18 へ |

問 14 【問 13 で「1～4」と回答した方に】働いている日数や時間などについておうかがいします。

(1) 1週当たりの就労日数→	約 <input type="text"/> 日	
(2) 1日の就労時間→	約 <input type="text"/> 時間	
(3) 家を出るおおよその時間→	<input type="text"/> : <input type="text"/> 頃	※時間は 24 時間表記 (例: 午後 6 時 30 分→18:30)
(4) 帰宅するおおよその時間→	<input type="text"/> : <input type="text"/> 頃	

注 1: 就労日数や時間、家を出る時間等が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

注 2: 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

注 3: 自営業や在宅勤務の方は、(3)の「家を出る」を「始業する」、(4)の「帰宅する」を「終業する」とそれぞれ読み換えてください。



問 13 で 3～4 (パート・アルバイト) の方は問 15 へ、それ以外の方は問 18 へお進みください

問 15 【問 13 で「3～4」と回答した方に】今後、パート・アルバイト等から、フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)へ転換したいですか。(○は1つ)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 希望があり、フルタイムになれる見込みがある |
| 2 | 希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い |
| 3 | 希望はない(パート・アルバイト等のままで良い) |
| 4 | 仕事をやめて子育てや家事に専念したい |



次は問 18 へお進みください

問 16 【問 13 で「5～6」と回答した方に】今後、働きたいとお考えですか。（○は1つ）

- 1 すぐにでも、または1年以内には働きたい
- 2 子どもがある程度大きくなったら（1年以上先）働きたい→（末子が 歳になったくらい）
- 3 働く予定はない（子育てや家事などに専念したい）→ 問 18 へ

問 17 【問 16 で「1～2」と回答した方に】どのような形態で働きたいとお考えですか。（○は1つ）

- 1 フルタイムで働きたい
- 2 パート・アルバイト等で働きたい→（1週当たり 日で、1日当たり 時間）

4 お子さんの保育所や認定こども園などの平日の利用についておうかがいします。

問 18 お子さんは、平日、保育所や認定こども園などの子育て支援施設や一時預かりなどの事業を定期的に利用していますか。（○は1つ）

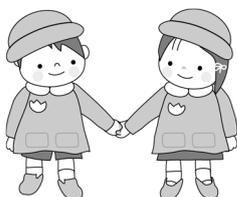
- 1 利用している → 問 20 へ
- 2 利用していない

問 19 【問 18 で2と回答した方に】現在、子育て支援施設や一時預かりなどの事業を利用していないのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 保護者が働いていないから
- 2 子どもを預かってくれる（面倒をみってくれる）人がいるから
- 3 施設に空きがなかったため（待機している）
- 4 経済的な理由で利用できない
- 5 延長・夜間等の利用する時間帯や条件が合わなかったため
- 6 施設や事業の質・場所などに納得できる事業がないから
- 7 子どもがまだ小さいため
- 8 子どもの教育や発達のことを考えて
- 9 その他（ ）



次は問 21 へお進みください



問 27 今後「市内の地域子育て支援拠点事業（「子育て広場」や「にこたん」）」を利用してみたいと思いますか。（○は1つ）※原則、利用者負担はありません。

1	今後利用したい	→	(週に <input type="text"/> 回くらい、または月に <input type="text"/> 回くらい)
2	今後利用日数を増やしたい	→	(週に <input type="text"/> 回くらい、または月に <input type="text"/> 回くらい)
3	利用しない		

6 土日や長期の休みの期間中の保育所や認定こども園などの利用希望についておうかがいします。

問 28 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、保育所や認定こども園などの子育て支援施設や、一時保育などの事業を利用したいと思いますか。（○は1つずつ）

※1 これらの子育て支援施設や事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※2 現在、新見市では実施していない事業もあります。

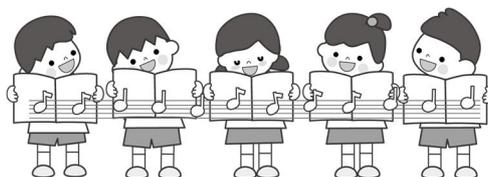
土曜日	1	ほぼ毎週利用したい	→	利用したい時間帯 (例) 8:30~18:00
	2	月に1~2回は利用したい		<input type="text"/> : <input type="text"/> から <input type="text"/> : <input type="text"/> まで
	3	利用する必要はない		
日曜日	1	ほぼ毎週利用したい	→	利用したい時間帯 (例) 8:30~18:00
	2	月に1~2回は利用したい		<input type="text"/> : <input type="text"/> から <input type="text"/> : <input type="text"/> まで
	3	利用する必要はない		
祝日	1	ほぼ毎回利用したい	→	利用したい時間帯 (例) 8:30~18:00
	2	年に数回は利用したい		<input type="text"/> : <input type="text"/> から <input type="text"/> : <input type="text"/> まで
	3	利用する必要はない		

問 29 【現在「子育て支援施設や事業」を利用している方におうかがいします（問18で「1」と回答した方で認定こども園（短時間保育）にお子さんが通っている方）。それ以外の方は問29へお進みください】お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休みの期間中に、認定こども園などの子育て支援施設や、預かり保育などの事業を利用したいと思いますか。（○は1つ）

※1 これらの子育て支援施設や事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※2 現在、新見市では実施していない事業もあります。

1	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	→	利用したい時間帯 (例) 8:30~18:00
2	休みの期間中、週に数日利用したい		<input type="text"/> : <input type="text"/> から <input type="text"/> : <input type="text"/> まで
3	利用する必要はない		



8 お子さんの一時預かりなどについておうかがいします。

問 34 保護者の私用や通院、突発的な仕事や冠婚葬祭などの理由で、お子さんを、一時的にどこかに預けなければならない場合、一時的に預かってもらえるサービスなどを利用していますか。利用している場合、その時の日数は1年間でおよそ何日くらいですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 一時保育を利用している	→	(年に約	□	日くらい)		
2 認定こども園などの預かり保育を利用している	→	(年に約	□	日くらい)		
3 ファミリー・サポート・センターを利用している	→	(年に約	□	日くらい)		
4 ベビーシッターを利用している	→	(年に約	□	日くらい)		
5 その他 ()	を利用している	→	(年に約	□	日くらい)
6 いずれも利用していない						

問 35 【問 34 で「6」と回答した方に】現在利用していない理由を回答してください。【あてはまるものすべてに○】

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がわからない
2. 利用したい事業が地域にない	7. 自分が事業の対象になるのかどうかわからない
3. 質に不安がある	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
4. 利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	9. 利用するための手続きがわずらわしい
5. 利用料がかかる・高い	10. その他 (

問 36 今後、お子さんを一時的に預かってもらえる事業を利用したいと思いますか。(○は1つ)
※これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。

1 利用したい	2 利用する必要はない
---------	-------------

問 37 【問 36 で「1」と回答した方に】一時的に預かってもらえる事業の利用には、どのような場面が想定されますか。また、その時の日数は何日くらいと想定されますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 私用(買物、子どもや親の習い事等)やリフレッシュ目的	→	(年に約	□	日くらい)	
2 冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等	→	(年に約	□	日くらい)	
3 不定期・突発的な仕事	→	(年に約	□	日くらい)	
4 その他 ()	→	(年に約	□	日くらい)



9 小学校入学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

問 39 【お子さんの年齢が5歳以上の方におうかがいします。該当しない方は、問 42 へお進みください】お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（おおむね 16 時以降）の時間を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

1	自宅	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
2	祖父母宅や友人・知人宅	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
3	習い事・スポーツクラブなど	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
4	放課後児童クラブ（学童保育） ^{注1}	→	（週に <input type="text"/> 日くらい、また、下校時から <input type="text"/> : <input type="text"/> 時まで）
5	ファミリー・サポート・センターの利用	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
6	療育施設（放課後等デイサービスなど） ^{注2}	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
7	その他（公民館・公園など）	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）

注 1：仕事などで日中保護者が家庭にいない小学生を対象に、授業終了後などに預かり、支援員の下、適切な遊びや生活の場を提供するもの（本市では 14 か所で実施）。利用には、一定の利用者負担が発生します。

注 2 放課後等デイサービスは、支援を必要とする就学児童で障がいのある子どもや発達に特性のある子どもが放課後や長期休暇に利用できる福祉サービス。

問 40 その後、小学校高学年（4～6年生）になった場合はいかがですか。現在お持ちのイメージでお答えください。（あてはまるものすべてに○）

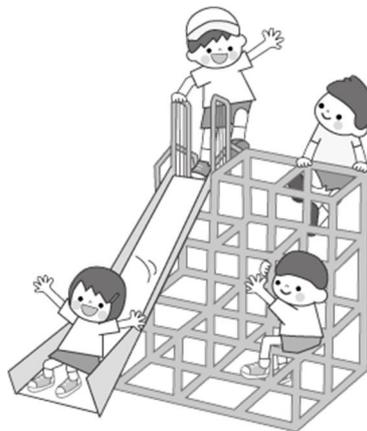
1	自宅	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
2	祖父母宅や友人・知人宅	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
3	習い事・スポーツクラブなど	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
4	放課後児童クラブ（学童保育）	→	（週に <input type="text"/> 日くらい、また、下校時から <input type="text"/> : <input type="text"/> 時まで）
5	ファミリー・サポート・センターの利用	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
6	療育施設（放課後等デイサービスなど）	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）
7	その他（公民館・公園など）	→	（週に <input type="text"/> 日くらい）



問 41 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休みの期間中に、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと思いませんか。（○は1つずつ）

※これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜日	1. ほぼ毎週利用したい → 利用したい時間帯（例）8:30～18:00 2. 月に1～2回は利用したい → : から : まで 3. 利用する必要はない
日曜日	1. ほぼ毎週利用したい → 利用したい時間帯（例）8:30～18:00 2. 月に1～2回は利用したい → : から : まで 3. 利用する必要はない
祝日	1. ほぼ毎回利用したい → 利用したい時間帯（例）8:30～18:00 2. 年に数回は利用したい → : から : まで 3. 利用する必要はない
夏休み・冬休みなどの長期休業中	1. ほぼ毎日利用したい → 利用したい時間帯（例）8:30～18:00 2. 週に1～2回は利用したい → : から : まで 3. 利用する必要はない



10 育児休業についておうかがいします。

問 42 お子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。（○は1つ）

- 1 取得した（取得中である）→（子どもが 歳 か月になるまで）
- 2 取得していない → 問 44 へ
- 3 働いていなかった → 問 45 へ

問 43 【問 42 で「1」と回答した方に】育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つ）

- 1 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2 現在も育児休業中である
- 3 育児休業中に離職した

問 44 【問 42 で「2」と回答した方に】父親が育児休業を取得しなかったのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 仕事が忙しかったから
- 2 産休後、仕事に早く復帰したかったから
- 3 仕事に戻るのが難しそうだったから
- 4 昇給・昇格などが遅れそうだったから
- 5 収入減となり、経済的に苦しくなるから
- 6 子どもを預けることができたから
- 7 配偶者が育児休業制度を利用したから
- 8 制度を利用する必要がなかったから
- 9 子育てや家事に専念するため退職したから
- 10 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）から
- 11 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから
- 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかったから
- 13 育児休業を取得できることを知らなかったから
- 14 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職したから
- 15 自営業だったため
- 16 その他（ ）

問 45 お子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。（○は1つ）

- 1 取得した（取得中である）→（子どもが 歳 か月になるまで）
- 2 取得していない → 問 47 へ
- 3 働いていなかった → 問 48 へ

問 46 【問 45 で「1」と回答した方に】育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つ）

- 1 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2 現在も育児休業中である
- 3 育児休業中に離職した



次は問 48 へお進みください

問 47 【問 45 で「2」と回答した方に】母親が育児休業を取得しなかったのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 仕事が忙しかったから
- 2 産休後、仕事に早く復帰したかったから
- 3 仕事に戻るのが難しそうだったから
- 4 昇給・昇格などが遅れそうだったから
- 5 収入減となり、経済的に苦しくなるから
- 6 子どもを預けることができたから
- 7 配偶者が育児休業制度を利用したから
- 8 制度を利用する必要がなかったから
- 9 子育てや家事に専念するため退職したから
- 10 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）から
- 11 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから
- 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかったから
- 13 育児休業を取得できることを知らなかったから
- 14 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職したから
- 15 自営業だったため
- 16 その他（ ）

問 48 仕事と子育てを両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 家族の理解と協力
- 2 子育てに関する職場の理解
- 3 育児休業の延長や育児休業手当の支給
- 4 労働時間の短縮やフレックスタイム制などの導入
- 5 自宅で仕事をすることができる在宅勤務制度の導入
- 6 子どもの病気やけが、学校の参観日などに休暇がとれる制度の導入
- 7 出産・育児のために退職した人の再雇用促進
- 8 保育所における保育時間の延長
- 9 学童保育などの充実
- 10 その他（ ）

11 子育て全般についておうかがいします。

問 49 お子さんの母親は、お子さんの妊娠中や出産の際に新見市の情報提供や相談体制について満足されましたか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 満足した | 3 どちらかといえば不満であった |
| 2 どちらかといえば満足した | 4 不満であった |

問 50 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 祖父母等の親族 | 7 市役所など公的機関の相談窓口 |
| 2 友人や知人 | 8 かかりつけの医師 |
| 3 近所の人 | 9 その他（ ） |
| 4 子育て支援施設（子育て支援センターなど） | 10 相談先がない |
| 5 保育教諭 | 11 相談していない |
| 6 民生委員児童委員・主任児童委員 | |

問 51 子育てに関して、不安や負担を感じるがありますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|------------|
| 1 非常に不安や負担を感じる | 3 あまり感じない |
| 2 やや不安や負担を感じる | 4 まったく感じない |

問 52 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1 子どもの病気に関すること |
| 2 子どもの発達や発育に関すること |
| 3 子どもの食事や栄養に関すること |
| 4 育児の方法（しつけなど）がよくわからないこと |
| 5 子どもとの時間を十分にとれないこと |
| 6 話し相手や相談相手がいないこと |
| 7 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと |
| 8 子どもの教育に関すること |
| 9 経済的な不安、負担に関すること |
| 10 子どもの友だち付き合い（いじめ等を含む）に関すること |
| 11 子育てに関して配偶者・パートナーの理解が得られないこと |
| 12 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること |
| 13 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 14 子どもを叱りすぎているような気がする |
| 15 子育てのストレスがたまっているような気がする |
| 16 子育て支援事業の内容や利用・申込方法がよくわからないこと |
| 17 その他（ ） |
| 18 特になし |

問 53 あなたは今までに、自分の子どもに対し、次のようなことをしたことや感じたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 必要以上に大声で怒鳴ったことがある
- 2 感情のままにたたいたり蹴ったりしたことがある
- 3 食事を与えなかったことがある
- 4 「子どもなんかいらぬ」と思ったことがある
- 5 泣きやまない子どもに暴力で泣きやませようとしたことがある
- 6 子どもに物を投げつけたことがある
- 7 その他（ ）
- 8 特になし

問 54 次にあげる、児童虐待について知っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）を見聞きしたことがある
- 2 近所などで、児童虐待と思われることを見聞きした場合の連絡先を知っている
- 3 家庭で、児童虐待と思われることが起きた場合の相談先を知っている
- 4 その他（ ）
- 5 知っていることはない

問 55 「ヤングケアラー」について知っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 言葉を聞いたことがあり、内容もよく知っている
- 2 言葉を聞いたことはあるが、よく知らない
- 3 身の回りにヤングケアラーと思われる子どもがいる、またはいたことがある。
- 4 知っていることはない

問 56 あなたの世帯では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|---------|------|
| 1 ある | 3 ふつう | 5 ない |
| 2 まあまあある | 4 あまりない | |

問 57 昨年1年間（令和5年1月1日～12月31日）の保護者の方の年間収入（税込み）は、およそいくらでしたか。（○は1つ）

※ 収入には、働いて得た給料だけではなく、株式配当や副収入等も含めます。
※ 但し、収入には、公的な援助手当は含めないものとします。

- 1 200万円未満
- 2 200～400万円未満
- 3 400～600万円未満
- 4 600～800万円未満
- 5 800万円以上

問 58 お子さんのご家族は、ご近所の人とどの程度付き合いがありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 何か困ったときに助け合う人がある | 4 あいさつをする程度の人しかいない |
| 2 お互いに訪問しあう程度の人がある | 5 ほとんど付き合いはない |
| 3 立ち話をする程度の人ならいる | |

問 59 自分自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 非常に感じている | 3 あまり感じない |
| 2 ある程度感じている | 4 まったく感じない |

問 60 新見市は、子育てしやすいまちだと感じますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1 子育てがしやすいまちだと思う |
| 2 どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思う |
| 3 どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思わない |
| 4 子育てがしやすいまちだと思わない |

問 61 あなたは、これからも新見市で子育てを続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 これからも新見市で子育てを続けたい | 4 市外に転出して子育てしたい |
| 2 当分は新見市で子育てを続けたい | 5 わからない |
| 3 できれば市外に転出して子育てしたい | |

問 62 子育てしやすい社会にするためには、どのような支援が必要だと思えますか。

(あてはまるもの3つに○)

- | |
|--|
| 1 働きながら子育てできる環境づくりを進めてほしい |
| 2 子どもへの接し方や育児方法について学べる機会を充実してほしい |
| 3 出産・子育てに関する情報や、気軽に相談できる場所を充実してほしい |
| 4 小児医療体制を充実してほしい |
| 5 多様な保育事業(夜間保育など)を増やしてほしい |
| 6 子育てに十分なゆとりのある住宅を整備してほしい |
| 7 子連れでも利用しやすい道路や建物・施設などを整備してほしい |
| 8 安全・安心な子どもの遊び場(屋内遊技場など)を充実してほしい |
| 9 子どもが自然とふれあう場や機会を充実してほしい |
| 10 同じ世代の保護者と子どもと一緒に集える場を増やしてほしい |
| 11 男女が共に子育てに参加できる環境づくりを進めてほしい |
| 12 地域で子育てを助け合う仕組みづくり(放課後児童クラブなどの充実)を進めてほしい |
| 13 気軽に参加できる子育てサークルを増やしてほしい |
| 14 妊娠・出産・子育てに関する経済的支援を充実してほしい |
| 15 その他() |
| 16 特になし |

問 63 子育て環境や子育て支援に関して、ご意見やご要望があればご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～



新見市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

－ 小学生児童のいる世帯用 －

～ 調査ご協力のお願い ～

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、「新見市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、様々な子育て支援施策に取り組んでいます。

この調査は、計画の見直しにあたって、市民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などをおうかがいし、今後、取り組むべき施策を検討する上での基礎的な資料とさせていただくことを目的として実施するものです。

調査票は個人情報及びプライバシー保護のため無記名としているほか、回答は統計的に集計し、本調査の目的以外に使用することはありません。なお、集計結果は新見市ホームページで公表させていただきます。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年2月

新見市長 戎 齊

～ ご記入にあたってのお願い ～

- 1 この調査は、小学校1年生から3年生のお子さんのうち一番下のお子さんを対象とした調査です。
- 2 回答は、対象のお子さんについて、ご記入ください。
- 3 お子さんの身の回りの世話などを主にしている保護者の方がご記入ください。
- 4 回答は、本調査票に直接記入してください。
- 5 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 6 数字(日数や時間など)をご記入いただく場合は、枠内に具体的な数字をご記入ください。なお、時間については **24時間制**でご記入ください。(例：午後1時30分→13:30)
- 7 該当する番号に○印をつけた方だけに答えていただく設問もあります。
- 8 ご不明な点、調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【調査のお問合せ先】

新見市役所 福祉部 子育て支援課 子育て支援係
〒718-8501 新見市新見 310-3 (電話：0867-72-6115)



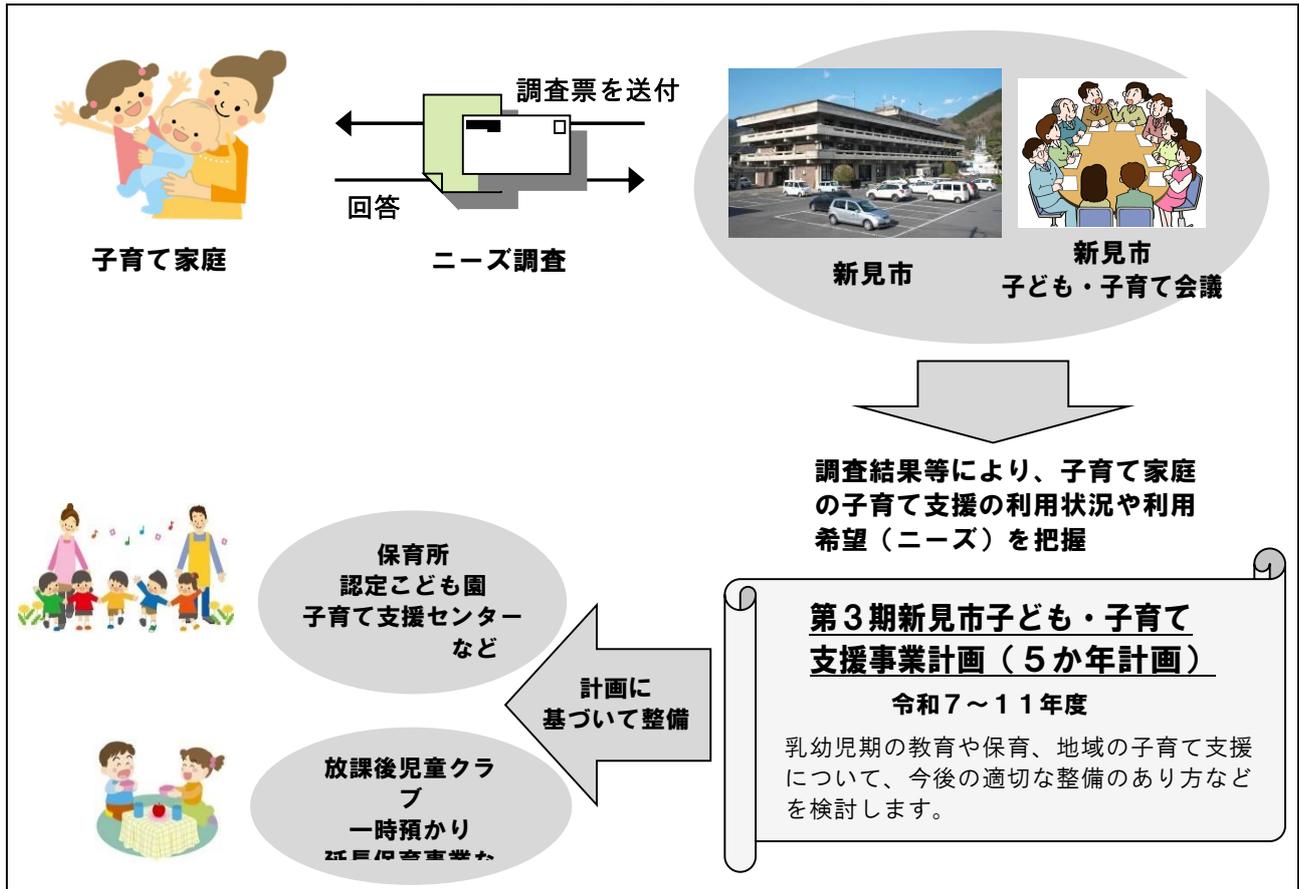
～ 返送方法について ～

アンケートが入っていた封筒に入れて(切手を貼らずに)

令和6年3月8日(金)までに小学校に返却してください

※郵送で届いた方は、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにポストへ投函してください。

～いただいた回答は、新見市の子育て支援の充実に活かされます～



【用語の定義】 この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

<p>放課後児童クラブ （学童保育）</p>	<p>仕事などで日中保護者が家庭にいない小学生を対象に、授業終了後などに預かり、支援員の下、適切な遊びや生活の場を提供するもの（本市では14か所で実施）。</p> <p>※利用には、一定の利用者負担が発生します。</p>
<p>放課後等デイサービス</p>	<p>支援を必要とする就学児童で障がいのある子どもや発達に特性のある子どもが放課後や長期休暇に利用できる福祉サービス。</p>

1 お子さんご家族の状況などについておうかがいします。

問1 あなたのお住まいの地区（小学校区）はどちらですか。（○は1つ）

1 思誠	4 草間台	7 西方	10 神郷北	13 新砥
2 高尾	5 塩城	8 千屋	11 神代	14 矢神
3 新見南	6 上市	9 刑部	12 本郷	15 野馳

※わからない場合は、住所をお書きください。（新見市 _____）

問2 1～3年生のうち1番下のお子さん（以下「お子さん」という。）は何年生ですか。（○は1つ）

1 1年生	2 2年生	3 3年生
-------	-------	-------

問3 お子さんからみて、あなた（この調査票にご回答いただく方）の続柄、年齢をお答えください。（○は1つずつ）

①あなたの続柄	1 父親	2 母親	3 その他（ _____ ）
②あなたの年齢	1 19歳以下	3 30～39歳	5 50～59歳
	2 20～29歳	4 40～49歳	6 60歳以上

問4 あなたに配偶者・パートナーはいらっしゃいますか。（○は1つ）

1 いる	2 いない
------	-------

問5 お子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。

※続柄は、お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

1 父母ともに	3 主に母親	5 その他（ _____ ）
2 主に父親	4 主に祖父母	

問6 日頃、お子さんを預けられる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

1 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2 緊急時や用事がある時に祖父母等の親族に預かってもらえる
3 日常的に友人・知人に預かってもらえる
4 緊急時や用事がある時に友人・知人に預かってもらえる
5 預かってもらえる人はいない

2 お子さんの父親の就労状況についておうかがいします。

問7 お子さんの父親は、現在働いていますか。（○は1つ）

※フルタイム→1週5日程度・1日8時間程度の就労

- 1 フルタイムで働いている
- 2 フルタイムだが産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている
- 4 パート・アルバイト等（フルタイム以外）だが産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は働いていたが現在は働いていない → 問9へ
- 6 これまで働いたことがない → 問9へ
- 7 父親はいない → 問10へ

問8 【問7で「1～4」と回答した方に】働いている日数や時間などについておうかがいします。

(1) 1週当たりの就労日数→	約 <input type="text"/> 日	
(2) 1日の就労時間→	約 <input type="text"/> 時間	
(3) 家を出るおよその時間→	<input type="text"/> : <input type="text"/> 頃	※時間は24時間表記 (例：午後6時30分→18:30)
(4) 帰宅するおよその時間→	<input type="text"/> : <input type="text"/> 頃	

注1：就労日数や時間、家を出る時間等が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

注2：産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

注3：自営業や在宅勤務の方は、(3)の「家を出る」を「始業する」、(4)の「帰宅する」を「終業する」とそれぞれ読み換えてください。



次は問10へお進みください

問9 【問7で「5～6」と回答した方に】今後、働きたいとお考えですか。（○は1つ）

- 1 すぐにでも、または1年以内には働きたい
- 2 子どもがある程度大きくなったら（1年以上先）働きたい
- 3 働く予定はない（子育てや家事などに専念したい）



3 お子さんの母親の就労状況についておうかがいします。

問 10 お子さんの母親は、現在働いていますか。（○は1つ）

※フルタイム→1週5日程度・1日8時間程度の就労

- 1 フルタイムで働いている
- 2 フルタイムだが産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイト等（フルタイム以外）で働いている
- 4 パート・アルバイト等（フルタイム以外）だが産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は働いていたが現在は働いていない → 問12へ
- 6 これまで働いたことがない → 問12へ
- 7 母親はいない → 問13へ

問 11 【問10で「1～4」と回答した方に】働いている日数や時間などについておうかがいします。

(1) 1週当たりの就労日数→	約 <input type="text"/> 日	
(2) 1日の就労時間→	約 <input type="text"/> 時間	
(3) 家を出るおよその時間→	<input type="text"/> : <input type="text"/> 頃	※時間は24時間表記 (例：午後6時30分→18:30)
(4) 帰宅するおよその時間→	<input type="text"/> : <input type="text"/> 頃	

注1：就労日数や時間、家を出る時間等が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

注2：産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

注3：自営業や在宅勤務の方は、(3)の「家を出る」を「始業する」、(4)の「帰宅する」を「終業する」とそれぞれ読み換えてください。



次は問13へお進みください

問 12 【問10で「5～6」と回答した方に】今後、働きたいとお考えですか。（○は1つ）

- 1 すぐにでも、または1年以内には働きたい
- 2 子どもがある程度大きくなったら（1年以上先）働きたい
- 3 働く予定はない（子育てや家事などに専念したい）



4 お子さんの放課後児童クラブなどの利用についておうかがいします。

問 13 お子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。（○は1つ）

1 利用している	2 利用していない → 問 17 へ
----------	--

問 14 【問 13 で 1 と回答した方に】放課後児童クラブの利用状況についておうかがいします。

※時間は 24 時間表記で（例：午後 6 時 30 分 → 18 : 30）（○は1つずつ）

平日	1 利用している --- →（週に <input type="text"/> 日程度、下校時から <input type="text"/> : <input type="text"/> 頃まで） 2 利用していない
土曜日	1 利用している --- →（月に <input type="text"/> 日程度、 <input type="text"/> : <input type="text"/> 頃から <input type="text"/> : <input type="text"/> 頃まで） 2 利用していない
日曜日 祝日	1 利用している --- →（月に <input type="text"/> 日程度、 <input type="text"/> : <input type="text"/> 頃から <input type="text"/> : <input type="text"/> 頃まで） 2 利用していない

問 15 【問 13 で 1 と回答した方に】現在利用している放課後児童クラブに対する満足度を、次にあげる項目ごとにお答えください。（○は1つずつ）

	非常に満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	非常に不満
①施設・設備について	1	2	3	4
②開設場所について	1	2	3	4
③利用料金について	1	2	3	4
④利用できる曜日や時間について	1	2	3	4
⑤利用できる学年について	1	2	3	4
⑥職員など配置状況（人員体制）について	1	2	3	4
⑦子どもへの接し方・支援内容について	1	2	3	4
⑧病気やけがの時の対応について	1	2	3	4
⑨保護者への情報伝達について	1	2	3	4
⑩事故防止や災害時避難などの安全対策について	1	2	3	4
⑪総合的な満足度について	1	2	3	4



問 20 【問 18 で 1 ～ 2 と回答した方に】今後の希望として、どの程度利用したいですか。

※時間は 24 時間表記で（例：午後 6 時 30 分→18：30）（○は 1 つずつ）

※放課後児童クラブの利用には、一定の利用者負担が発生します。

平日	1 利用したい ----->（週に <input type="text"/> 日程度、下校時から <input type="text"/> ： <input type="text"/> 頃まで） 2 利用しない
土曜日	1 利用したい ----->（月に <input type="text"/> 日程度、 <input type="text"/> ： <input type="text"/> 頃から <input type="text"/> ： <input type="text"/> 頃まで） 2 利用しない
日曜日 祝日	1 利用したい ----->（月に <input type="text"/> 日程度、 <input type="text"/> ： <input type="text"/> 頃から <input type="text"/> ： <input type="text"/> 頃まで） 2 利用しない
夏休み・冬 休みなどの 長期休業中	1 利用したい ----->（月に <input type="text"/> 日程度、 <input type="text"/> ： <input type="text"/> 頃から <input type="text"/> ： <input type="text"/> 頃まで） 2 利用しない

問 21 【問 18 で 1 ～ 2 と回答した方に】今後、放課後児童クラブを利用したいのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 現在働いているため
- 2 現在働いているが、もっと日数や時間を増やしたいため
- 3 今後、働きたいと考えているため
- 4 家族・親族などを介護しなければならないため
- 5 保護者が病気や障がいを持っているため
- 6 その他（ ）

5 お子さんが病気の時の対応についておうかがいします。

問 22 最近 1 年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。（○は 1 つ）

- 1 あった→（約 日くらい） 2 なかった → 問 25 へ

問 23 【問 22 で 1 と回答した方に】その時、どのように対処されましたか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 父親が仕事を休んだ
- 2 母親が仕事を休んだ
- 3 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった
- 4 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた
- 5 仕方なく子どもだけで留守番させた
- 6 その他（ ）



問 23 で 1 ～ 2 と回答した方は問 24 へ、それ以外の方は問 25 へお進みください

問 24 【問 23 で「1～2」と回答した方に】保護者が仕事を休んだとき、『病児・病後児のための保育施設等^注』を利用したいと思いましたが。（○は1つ）

- 1 利用したいと思った→（約 日くらい利用したかった）
- 2 利用したいと思わなかった

注：病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

問 25 お子さんが病気やケガの時、保護者が仕事を休むことは難しいですか。（○は1つ）

- 1 非常に難しい
- 2 どちらかといえば難しい
- 3 あまり難しくない
- 4 すぐに休むことができる
- 5 父または母のいずれかが常に家庭にいるので問題はない

6 お子さんの「泊まりがけ」が必要な一時預かりについておうかがいします。

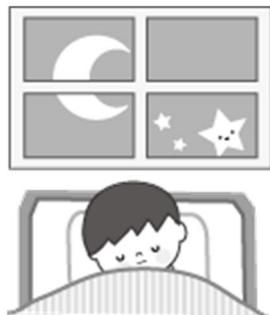
問 26 最近1年間に、私用や冠婚葬祭、保護者の通院や突発的な仕事などの理由で、お子さんを「泊まりがけ」で家族以外の人にみてもらわなければならないことがありましたか。（○は1つ）※預かり先が見つからなかった場合も含みます。

- 1 あった
- 2 なかった→ 問 28 へ

問 27 【問 26 で1と回答した方に】その時、どのように対処されましたか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 親族・知人（同居者を含む）などに子どもをみてもらった
- 2 短期入所生活援助事業（ショートステイ）^注を利用した
- 3 やむを得ず子どもを同行させた
- 4 やむを得ず子どもだけで留守番させた
- 5 その他（ ）

注：児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業



8 子育て全般についておうかがいします。

問 31 子育てに関して、不安や負担を感じるがありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------|
| 1 非常に不安や負担を感じる | 3 あまり感じない |
| 2 やや不安や負担を感じる | 4 まったく感じない |

問 32 お子さんのことについて、現在悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1 しつけや教育に自信が持てない |
| 2 しつけや教育について相談する相手がいない |
| 3 配偶者が子育てにあまり協力してくれない |
| 4 配偶者と子育てのことで意見が合わない |
| 5 子どもに基本的な生活習慣が身に付いていない |
| 6 子どもが勉強しない |
| 7 子どもの進学や受験のことが心配 |
| 8 子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない |
| 9 子どもが何事に対しても消極的である |
| 10 子どもが良い友人関係を持てない |
| 11 子どもの身体の発育や病気が心配 |
| 12 子どもの非行や問題行動が心配 |
| 13 子どもの教育費など経済的なことが心配 |
| 14 その他 () |
| 15 特にない |

問 33 あなたの世帯では、日常生活のことで困っていることや悩みごとは、どこに(誰に)相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1 家族・親族 |
| 2 友人・知人 |
| 3 子育て支援施設(子育て支援センターなど) |
| 4 学校の先生 |
| 5 民生委員児童委員・主任児童委員 |
| 6 市役所など公的機関の相談窓口 |
| 7 かかりつけの医師 |
| 8 その他 () |
| 9 相談先がない |
| 10 相談していない |

問 38 理想としては、お子さんに将来どの学校まで進んでほしいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|-----------|---------|
| 1 中学校 | 4 大学・短大 | 7 わからない |
| 2 高等学校 | 5 大学院 | |
| 3 専門学校 | 6 その他 () | |

問 39 あなたの世帯にとって現在必要としている、または重要だと思う支援は、どのようなことですか。(○は3つまで)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること |
| 2 同じような悩みを持った人同士で知り合えること |
| 3 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること |
| 4 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること |
| 5 病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること |
| 6 就労のための支援が受けられること |
| 7 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること |
| 8 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること |
| 9 子どもの就学にかかる費用が軽減または助成されること |
| 10 一時的に必要な資金を借りられること |
| 11 給食費の負担が軽減されること |
| 12 その他 () |
| 13 特にない |

問 40 あなたは今までに、自分の子どもに対して、次のようなことをしたことや感じたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1 必要以上に大声で怒鳴ったことがある |
| 2 感情のままにたたいたり蹴ったりしたことがある |
| 3 食事を与えなかったことがある |
| 4 「子どもなんかいない」と思ったことがある |
| 5 泣きやまない子どもに暴力で泣きやませようとしたことがある |
| 6 子どもに物を投げつけたことがある |
| 7 その他 () |
| 8 特にない |

問 41 次にあげる、児童虐待について知っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)を見聞きしたことがある |
| 2 近所などで、児童虐待と思われることを見聞きした場合の連絡先を知っている |
| 3 家庭で、児童虐待と思われることが起きた場合の相談先を知っている |
| 4 その他 () |
| 5 知っていることはない |

問 42 「ヤングケアラー」について知っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 言葉を聞いたことがあります、内容もよく知っている
- 2 言葉を聞いたことはあるが、よく知らない
- 3 身の回りにヤングケアラーと思われる子どもがいる、またはいたことがある。
- 4 知っていることはない

問 43 お子さんのご家族は、ご近所の人とどの程度付き合いがありますか。（○は1つ）

- 1 何か困ったときに助け合う人がある
- 2 お互いに訪問しあう程度の人がある
- 3 立ち話をする程度の人ならいる
- 4 あいさつをする程度の人しかいない
- 5 ほとんど付き合いはない

問 44 自分自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。（○は1つ）

- 1 非常に感じている
- 2 ある程度感じている
- 3 あまり感じない
- 4 まったく感じない

問 45 新見市は、子育てしやすいまちだと感じますか。（○は1つ）

- 1 子育てがしやすいまちだと思う
- 2 どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思う
- 3 どちらかといえば子育てがしやすいまちだと思わない
- 4 子育てがしやすいまちだと思わない

問 46 あなたは、これからも新見市で子育てを続けたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 これからも新見市で子育てを続けたい
- 2 当分は新見市で子育てを続けたい
- 3 できれば市外に転出して子育てをしたい
- 4 市外に転出して子育てをしたい
- 5 わからない



新見市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

発 行 者／令和6年6月
発 行 者／岡山県 新見市 福祉部 子育て支援課
〒718-8501 岡山県新見市新見 310-3
電 話 (0867) 72-6115
